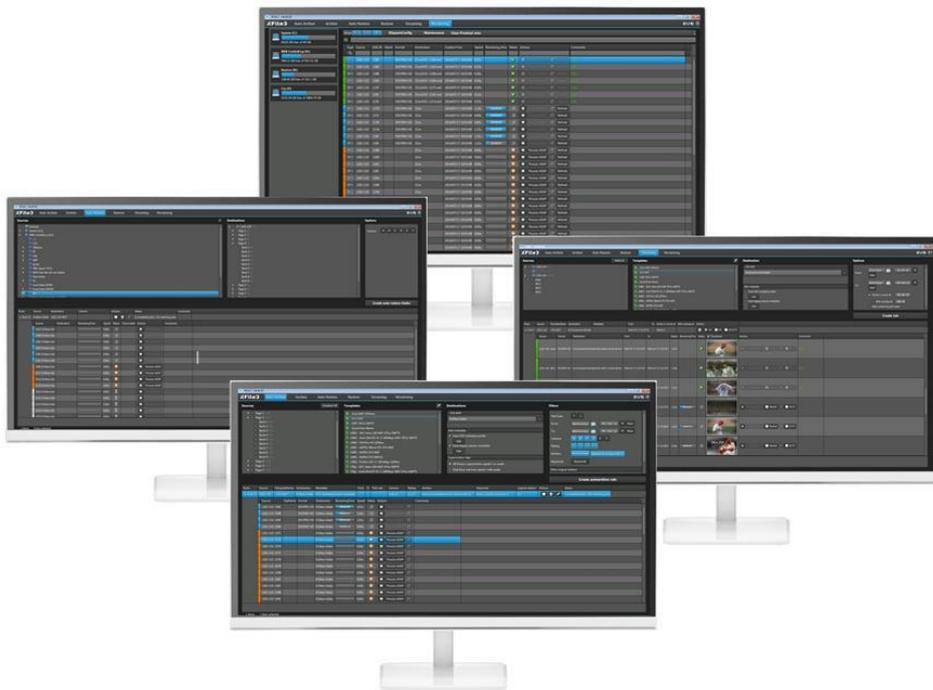




USER MANUAL

Version 5.4 – February 2020





免責事項

本マニュアルは、オリジナルマニュアルXFile3_userman_5.4.pdfの理解の補助のために作成されています。本マニュアルの内容は、予告なく変更することがあります。

本マニュアルは、正確/最新/信頼できるように注意を払い作成しておりますが、株式会社フォトロンは本マニュアルの内容/品質については如何なる保証も行っておらず、間違い/エラーおよびそれらが原因となり発生した損失や損害については一切責任を負いません。

著作権

本マニュアルは、XFile3_userman_5.4.pdfの日本語翻訳版です。
本マニュアルの著作権は、株式会社フォトロンに帰属します。

商標

すべての製品およびブランド名は、EVS、または、各所有者の商標または登録商標です。

改良要求

本マニュアルの内容に間違いがあれば、株式会社フォトロンまでご連絡下さい。
より良いマニュアル作成のために、ご協力をお願いします。



目次

目次	--003
新着情報	--009
1. 製品説明	--011
2. 開始	--013
2.1. インストール	--013
2.1.1. ハードウェアとソフトウェア要件	--013
2.1.2. ライセンス管理	--013
2.1.3. ソフトウェアのインストール	--016
2.2. XFile3の起動と終了	--024
2.2.1. XFile3の起動	--024
2.2.2. XFile3の終了	--026
2.3. Settings(設定)	--027
3. メインウィンドウ概要	--035
4. Auto Archive Rules(自動アーカイブルール)の作成と適用	--039
4.1. Auto Archiveタブの概要	--039
4.2. Auto Archive Rules(自動アーカイブルール)作成のステップ	--041
4.3. アーカイブするクリップ/プレイリストの選択	--043
4.4. ジョブTemplate(テンプレート)の選択	--045
4.5. Destination(宛先)パスの選択	--046
4.6. Supermotion Clips(スーパーモーションクリップ)タイプの設定	--049
4.7. アーカイブメディアにメタデータを割り当てる	--050
4.7.1. 序文	--050
4.7.2. EVSメタデータプロファイルからメタデータの割り当て	--050
4.7.3. Legacy Sessionメタデータからメタデータの割り当て	--054
4.8. アーカイブオプションの設定	--055
4.9. アーカイブするクリップ選択用フィルタの設定	--057
4.9.1. 序文	--057
4.9.2. Pref Camに基づくフィルタ設定方法	--058
4.9.3. Date and Timeに基づくフィルタ設定方法	--059
4.9.4. Cameraに基づくフィルタ設定方法	--060
4.9.5. Ratingに基づくフィルタ設定方法	--061
4.9.6. Archive Flagに基づくフィルタ設定方法	--062
4.9.7. Keywordsに基づくフィルタ設定方法	--063
4.9.8. Filters Logical Relation(フィルタ間の論理関係)の設定方法	--065
4.10. ジョブのモニタリング	--066
4.10.1. Auto Archiveタブ内のJobs枠	--066
4.10.2. ルールの管理	--069



5. Archive(アーカイブ)ジョブの作成と適用	--073
5.1. Archiveタブの概要	--073
5.2. メディアのアーカイブのステップ	--075
5.3. メディアソースの選択	--078
5.3.1. Sources枠の概要	--078
5.3.2. アーカイブするクリップ/プレイリストの選択	--080
5.3.3. クリップ/ファイルのプレビュー	--081
5.4. ジョブTemplate(テンプレート)の選択	--083
5.5. Destination(宛先)パスの選択	--084
5.6. アーカイブオプションの設定	--087
5.7. ジョブのモニタリング	--089
6. Auto Restore Rules(自動リストアルール)の作成と適用	--091
6.1. Auto Restoreタブの概要	--091
6.2. 自動リストアルール作成のステップ	--093
6.3. リストア用のフォルダソースの選択	--094
6.4. Destination(宛先)サーバー位置の選択	--095
6.5. リストアするクリップ選択用のフィルタの設定	--097
6.6. ネットワークドライブの資格証明の設定	--098
6.7. ジョブのモニタリング	--099
6.7.1. Auto Archiveタブ内のJobs枠	--099
6.7.2. ルールの管理	--102
7. Restore(リストア)ジョブの作成と適用	--103
7.1. Restoreタブの概要	--103
7.2. クリップのリストアのステップ	--105
7.3. メディアソースの選択	--106
7.3.1. Sources枠の概要	--106
7.3.2. リストアするクリップの選択	--108
7.3.3. ソースフォルダにショートカットを作成する	--109
7.3.4. クリップ/ファイルのプレビュー	--110
7.4. Destination(宛先)サーバー位置の選択	--111
7.4.1. Destinations枠の概要	--111
7.4.2. 宛先サーバー位置の選択方法	--113
7.5. リストアするクリップ選択用のフィルタの設定	--115
7.6. リストアOptions(オプション)の設定	--116
7.7. ジョブのモニタリング	--118



8. Streaming(ストリーミング)ジョブの設定とストリームの収録	--121
8.1. Streamingタブの概要	--121
8.2. ストリーム収録のステップ	--123
8.3. StorageデバイスとDestinationsパスの選択	--124
8.4. ジョブテンプレートの選択	--126
8.4.1. ジョブテンプレートの選択	--126
8.4.2. ストリームファイルの冗長性	--127
8.5. Auto Filenameの設定	--128
8.6. レコーダーチャンネルの選択と表示	--131
8.6.1. サーバリストとチャンネルエリアの概要	--131
8.6.2. レコーダーチャンネルの選択	--134
8.6.3. タイムコードリファレンス用に使用するサーバーの選択	--136
8.7. ストリームの収録	--137
8.7.1. 序文	--137
8.7.2. ストリーム収録コマンド	--138
8.7.3. 標準モードでのストリーム収録	--142
8.7.4. セグメントモードでのストリーム収録	--145
8.7.5. ストリーム収録の手動停止	--148
8.8. レコーダーの独立グループからのストリーム収録	--151
9. メディアの管理	--153
9.1. 概要	--153
9.2. Media Managerタブの概要	--154
9.3. ドライブフォルダ上で可能な動作	--160
9.4. メディアのコンテキストメニュー	--161
9.5. メディアのプレビュー/編集/エクスポート	--163
9.5.1. 序文	--163
9.5.2. ファイル、XTクリップのプレビュー	--164
9.5.3. ファイルの編集	--166
9.5.4. ファイルのエクスポート	--169
9.6. 1つのストレージから他のストレージへファイルを転送する	--170
9.7. 2つの位置間のメディアの違いの管理	--172
9.7.1. 両方のリストに同じフィルタを適用する	--172
9.7.2. 2つのメディアリストを比較する	--173
9.7.3. 2つのリスト間のメタデータ不一致を解決する	--175
9.8. ジョブのモニタリング	--176
9.8.1. Media managerタブ内のJobs枠	--176
9.8.2. ジョブのフィルタリング	--179
10. メディアの検索	--181
10.1. 概要	--181
10.2. カラムのオーガナイズ	--182
10.3. グリッド内の項目の検索	--183



11. テンプレートの管理	--186
11.1. 序文	--186
11.2. Template Managerツールからテンプレートの選択	--189
11.3. テンプレートの作成/編集	--191
11.4. テンプレートのリストをデフォルトにリセットする	--193
11.5. ユーザテンプレートの削除	--194
11.6. ユーザテンプレートのインポート	--195
11.7. ユーザテンプレートのエクスポート	--197
12. ジョブのモニタリング	--200
12.1. 序文	--200
12.2. Monitoringタブ	--201
12.3. ジョブの管理	--204
12.4. ジョブのフィルタリング	--206
13. アーカイブされたクリップのストーリーボードの作成	--208
13.1. 概要	--208
13.2. ストーリーボードの作成方法	--210
13.3. ストーリーボードフィールド説明	--211
14. Auto Archive and Manual Restoreモード	--212
14.1. 製品説明	--212
14.2. Auto Archiveタブの概要	--215
14.3. Restoreタブの概要	--217
14.4. Auto Archive Rules(自動アーカイブルール)作成のステップ	--219
14.5. クリップのリストアのステップ	--220
15. Streamingモード	--222
15.1. 製品説明	--222
15.2. Streamingタブの概要	--223
15.3. ストリーム収録のステップ	--225



16. C-Next Contributionモード	--226
16.1. C-Next Contributionワークフロー	--226
16.2. EVSサーバーから遠隔位置へのメディアのアーカイブ	--227
16.2.1. C-Nextモードの区別される特徴	--227
16.2.2. Auto Archiveタブの概要	--229
16.2.3. Archiveタブの概要	--232
16.3. 遠隔位置からEVSサーバーへのメディアのリストア	--234
16.3.1. C-Nextモードの区別される特徴	--234
16.3.2. Auto Restoreタブの概要	--236
16.3.3. Restoreタブの概要	--238
16.4. メディアの転送	--240
16.4.1. C-Nextモードの区別される特徴	--240
16.4.2. Media Managerタブの概要	--242
16.5. C-Nextで管理されるジョブのモニタリング	--244
16.5.1. C-Nextモードの区別される特徴	--244
16.5.2. Monitoringタブの概要	--245





新着情報

XFile3 5.4の新しい/更新された機能を反映する更新は、以下になります。

ソフトウェア要件

Windows 7は、サポートされません。





1. 製品説明

XFile3は、制作中に、EVSサーバーから/へのメディアファイルを移動/変換する最速の方法です。

どんな形式でも、複数の宛先からでも、コンテンツのバックアップ/転送/リストアを行い、直接、可搬メディアやリモートプロダクション用に接続された回線へ、ネイティブ形式で、各コンテンツのアングルを配布できます。

C-Next Connected Agentを経由したC-Next Contributionのインテグレーションにより、遠隔地へのファイルアーカイブとリストアが使用可能になります。

オペレータは、1つの簡単なインターフェースで、ライフサイクル全体に渡ってコンテンツの完全な制御と可視性を提供され、全てのファイル転送をモニタリング/管理できます。

XFile3の主な機能は、以下です：

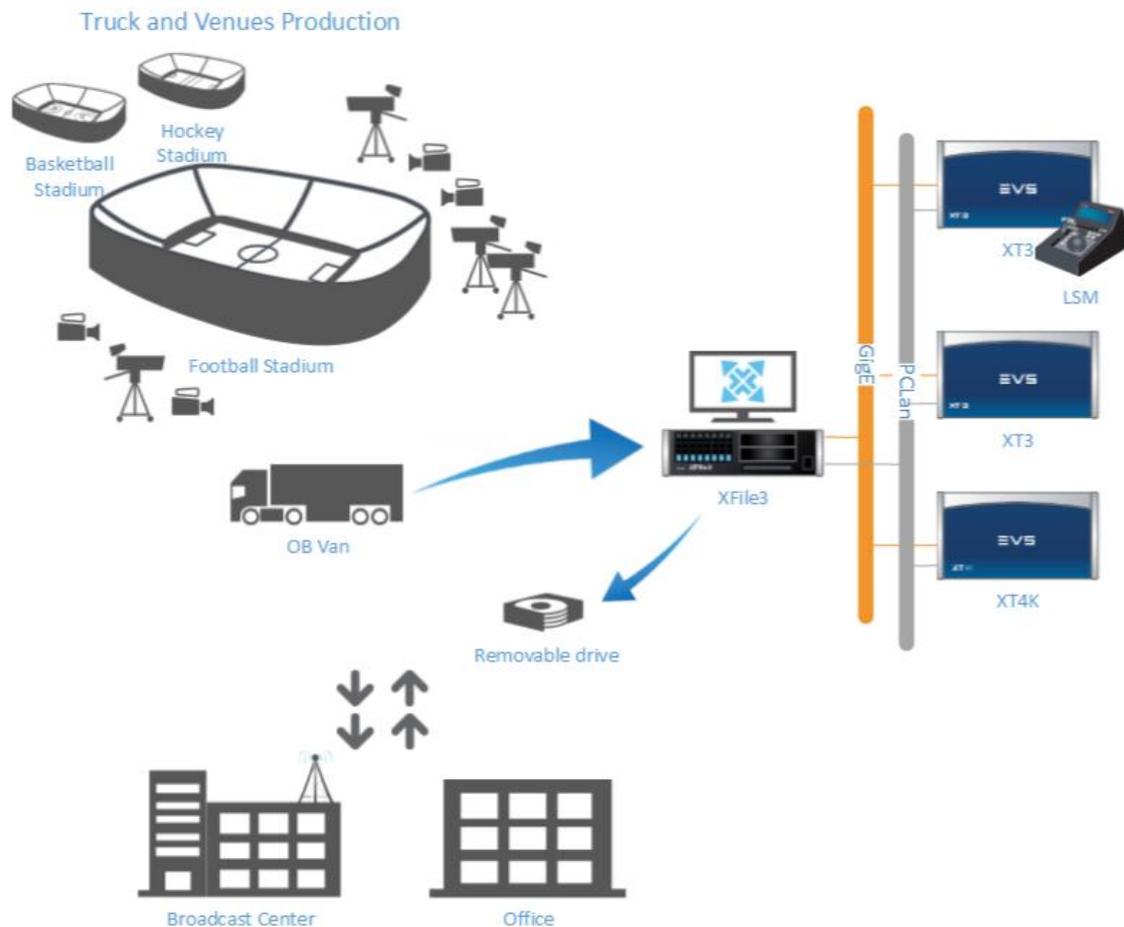
- EVSサーバーと可搬ファイル間のメディアファイルのAuto-ArchiveとAuto-Restore
- ArchiveとRestoreワークフロー経由でのサーバーから/への手動転送
- Media Managerエリア経由でのファイル管理
- 全てのファイル転送のモニタリング
- メディアファイルから工業規格ファイルラッパー、メタデータ、コーデックへのオンザフライランスコード
- C-Nextで可能なConnected Liveワークフロー

XFile3のメインユーザーは、以下です：

- LSM オペレータ
- プロデューサーとLSMオペレータアシスタント
- テクニカルトラックエンジニア
- メディアマネージャー

専用のライセンスコードにより、特定のモードを使用できます：

- Streaming onlyモード（これは、XFlyStreamer製品の後継です）
- Automatic Archive and Manual Restore onlyモード（これは、Xtract製品の後継です）
- Media Manager onlyモード（XFile Lite Media Managerモードとも呼ばれます）





2. 開始

2.1. インストール

2.1.1. ハードウェアとソフトウェア要件

ハードウェア要件

XFile3は、以下のハードウェア上にインストールできます：

- XFile3ハードウェア（参考：XF3-2U-4、XF3-2U-2、XF3-3U-2）

オペレーティングシステム

- Windows 10 64 bits
- Windows Server 2008 R2 SP1 64 bits

ワークフロー要件

- XFile3ソフトウェアの起動前に、Xsquareサービスが全て動作している事の確認をお勧めします。

2.1.2. ライセンス管理

ライセンスリスト

XFile3ライセンスコード

ライセンスキーは、XSecureにインポートされなければなりません。

使用可能なライセンスのリストは、以下です。

アプリケーション	モジュール	概要
10 XFile	10 - Full Package	XFile3アプリケーションのフルバージョン
10 XFile	20 - Streaming only	Streamingタブのみ表示されます。
10 XFile	30 - AutoArchive and Manual Restore only	Auto ArchiveタブとRestoreタブのみが表示されます。
10 XFile	50 - XFile Lite: Media Manager only	Media Managerタブのみが表示されます。



XFile3動作モード

XFile3は、XSecure内のライセンスコードに基づき、異なるモードに従い動作します。

XFile3 full packageの機能のいくつかは、制限されたモード内では使用できません。これについては、マニュアルの対応するセクション内に記載してあります。

Full Packageモード

もし、キー 10があり有効なら、XFile3起動時にフルパッケージがロードされます。
(キー 20と30が共存しても、しなくても)

Streaming Onlyモード

もし、キー 20のみがあり有効なら、Streamingタブのみが表示されます。



注意

もし、以前XFlyStreamerで使用していたコード(170-10)が、パーマネントでインポートされていたら、アクティブなままです。

AutoArchive and Manual Restore Onlyモード

もし、キー 30のみがあり有効なら、Auto ArchiveタブとRestoreタブのみが表示されます。



注意

もし、キー 20と30の両方があり有効なら、使用時に作業するモードを尋ねられます。

XFile Lite: Media Manager Onlyモード



注意

Xsquareがインストールされているワークステーション上に、XFile Liteはインストールできません。

もし、キー 50のみがあり有効なら、Media Managerタブのみが表示されます。



XSecure内のライセンスのアクティベート

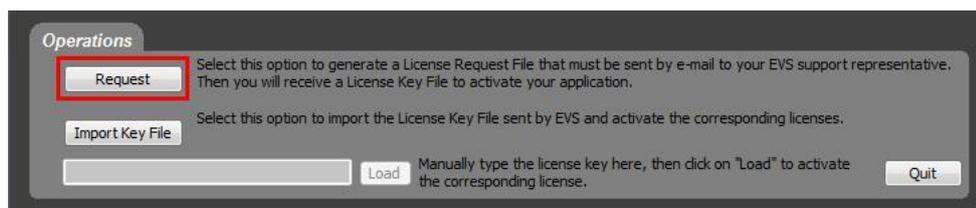
XSecureアプリケーションは、インストールパッケージ内に含まれていて、まだインストールされていなければ、インストールされます。

XSecure内のXFile3ライセンスをアクティベートするには、以下を行います：

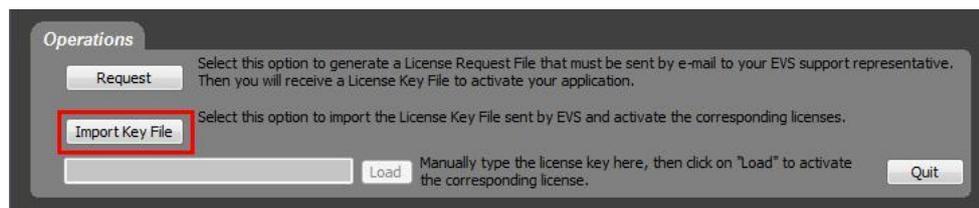
1. Startメニュー内で、**Evs Broadcast Equipment > XSecure > XSecure Manager**を選択して、XSecureアプリケーションを起動します：



2. XSecure内で、メインウィンドウの下の**Operations**エリア内で、**Request**ボタンをクリックします。



3. XSecureが作成したxmlファイルを、デスクトップ上に保存して、そのファイルをフォトロンに送って下さい
4. フォトロンからライセンスキーを含むライセンスファイルを受け取ったら、XSecureを起動し、**Operations**エリア内の**Import Key File**ボタンをクリックします。



5. ライセンスファイルを選択し、**Open**をクリックします。

XSecure内にライセンスキー番号がインポートされ、XSecureの**License List**エリア内に、新しいライセンスモジュールが表示されます。

2.1.3. ソフトウェアのインストール

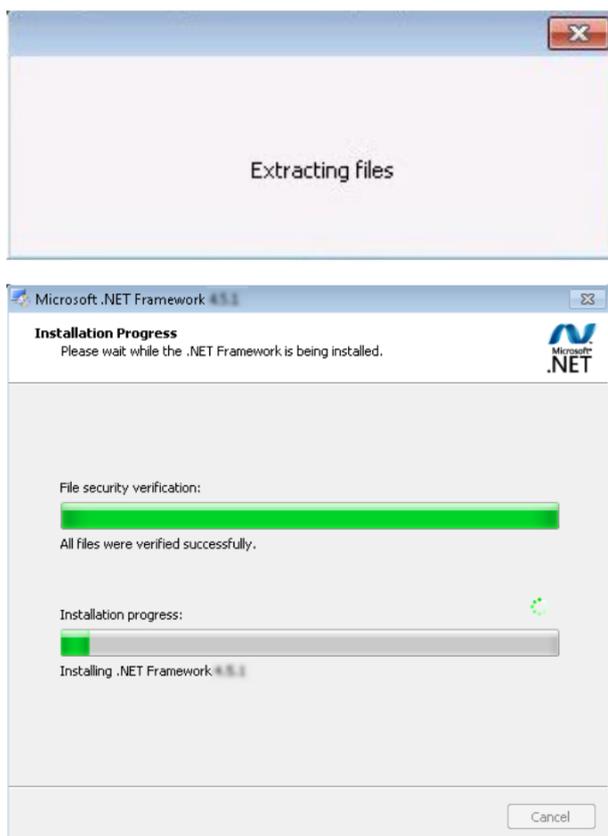
Microsoft .NET Frameworkのインストール

1. XFile3インストールパッケージを開始します。

- もし、Microsoft .NET Framework 4.6.1がインストール済であれば、手順は直接XFile3インストールへ移動します。
- そうでなければ、XFile3アプリケーションのインストールの前に、Microsoft .NET Framework 4.6.1が、インストールされます。



2. **Install** をクリックして、Microsoft .NET Frameworkインストールを進め、インストールが完了するまで、数秒待ちます。



3. 以下のメッセージに **OK** をクリックして、手動でコンピュータを再起動して、XFile3インストールを進めます。



XFile3のインストール



XFile3 バージョン5.0は、64ビットの最初のバージョンです。

- バージョン5.xは、以前の32ビットバージョンと互換ではありません。

XFile3 32ビットバージョン (4.15 と以前)と64ビットバージョン (≥ 5.0) は、同じワークステーション上にインストールしてはいけません。

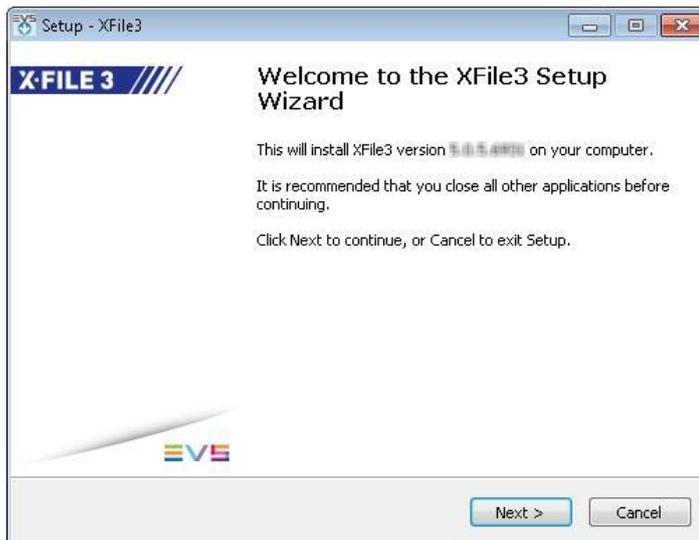
- XFile3 バージョン5.xインストーラは、新しいバージョンのインストール前に、最初にXFile3の以前のバージョンと依存関係を削除します。
- もし、XFile3の古いバージョンにダウングレードしたければ、XFile3 バージョン5.xをアンインストールしなければなりません。

これを行うには、

- a. 最初にXTAccess、XSquare、XFile3アプリケーションを閉じます。
- b. そして、Windowsアンインストールプログラムオプションを使用して、XFile3 バージョン5.xをアンインストールします。
- c. XFile3の古いバージョンをインストールします。

XFile3をインストールするには、

1. XFile3インストールパッケージを起動します。
XFile3 セットアップウィザードが開きます。
2. Welcomeウィンドウ内で、**Next**をクリックします。

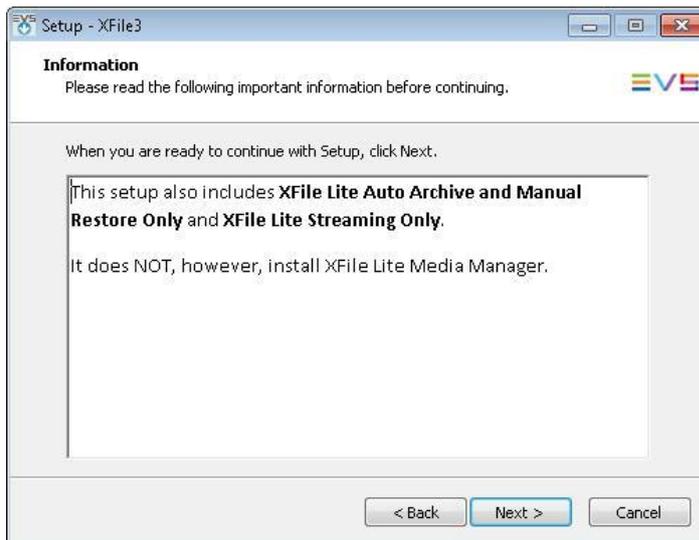


3. License Agreementウィンドウ内で、
 - a. **I accept the agreement** を選択します。

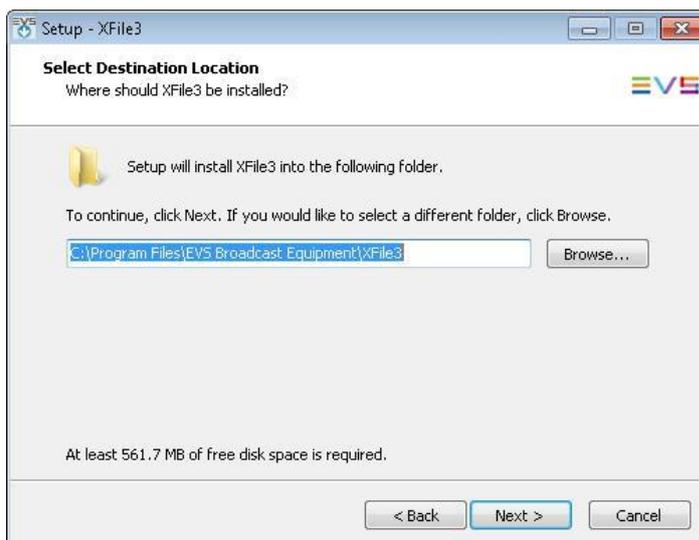


- b. **Next** をクリックします。

4. Informationウィンドウ内で、**Next**をクリックします。

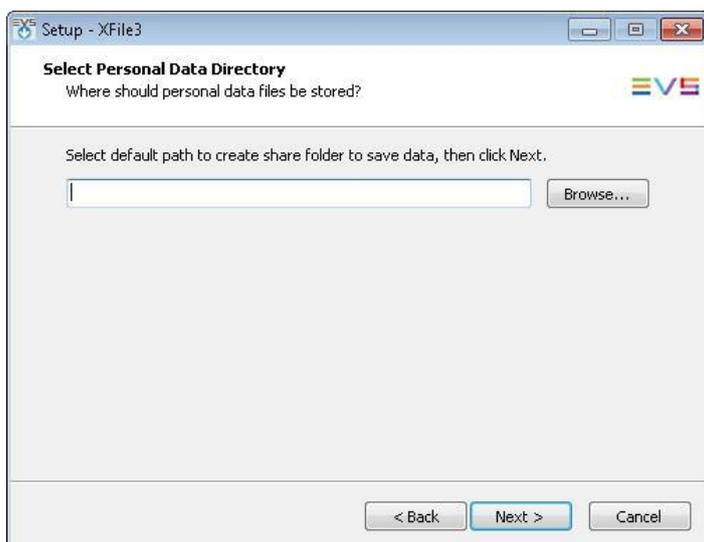


5. Select Destination Locationウィンドウ内で、インストーラはインストール用のデフォルトパスを勧めます：
C:\Program Files\EVS Broadcast Equipment\XFile3



- a. (オプション) **Browse**をクリックして、新しいソフトウェアアプリケーションをインストールする別の宛先フォルダを選択します。
- b. **Next**をクリックします。

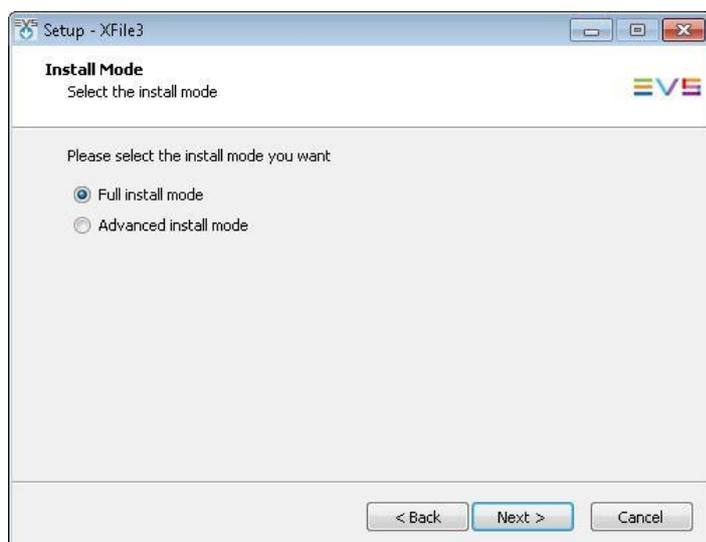
6. Select Personal Data Directoryウィンドウ内で、



- a. (オプション) **Browse** をクリックして、デフォルトで、ストリームファイルが保存されるパスを選択します
- b. **Next**をクリックします。

7. Install Modeウィンドウ内で、

- a. インストールモードを選択します：
 - フルインストール、サイレントモード（ステップ9へ）
 - アドバンスインストール、手動選択（ステップ8へ）

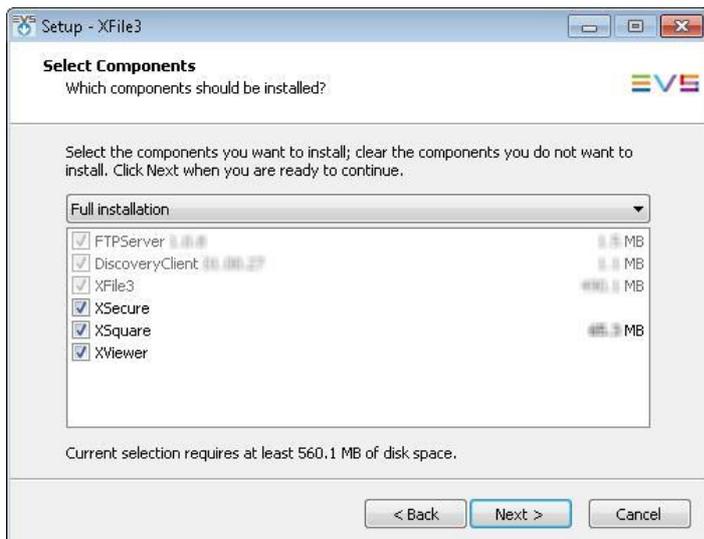


- b. **Next**をクリックします。



8. Advanced installモード内で、

- a. Select Componentsウィンドウから、インストールするコンポーネントを選択します：

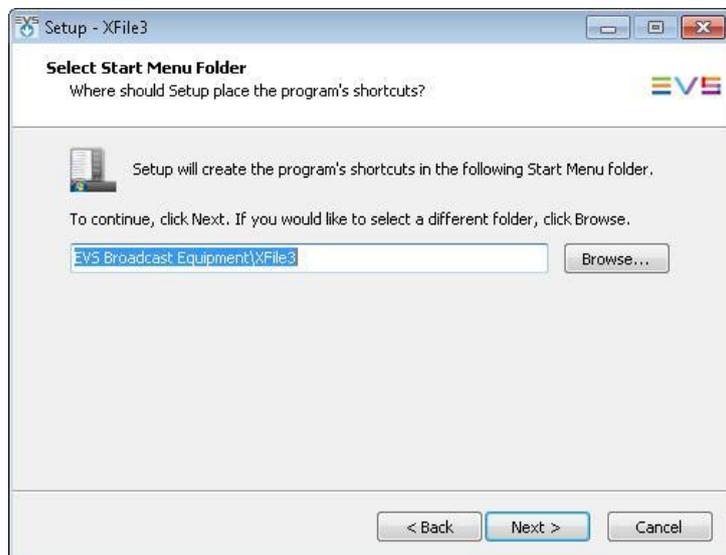


XFile3のみをアップデートしたければ、他のコンポーネントの選択をクリアします。

- b. **Next**をクリックします。

9. Select Start Menu Folderウィンドウ内で、インストーラはインストール用のデフォルトパスを勧めます：

¥EVSBroadcast Equipment¥XFile3

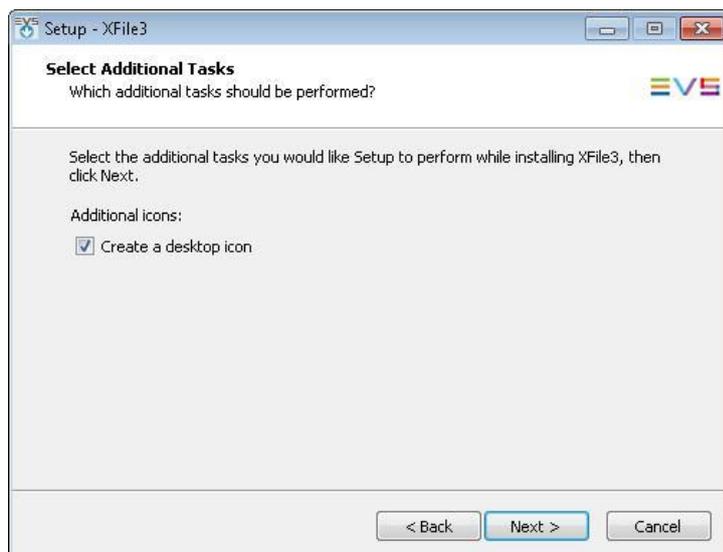


- a. (オプション) **Browse**をクリックして、XFile3ショートカットが保存される別のフォルダを選択します。

- b. **Next**をクリックします。



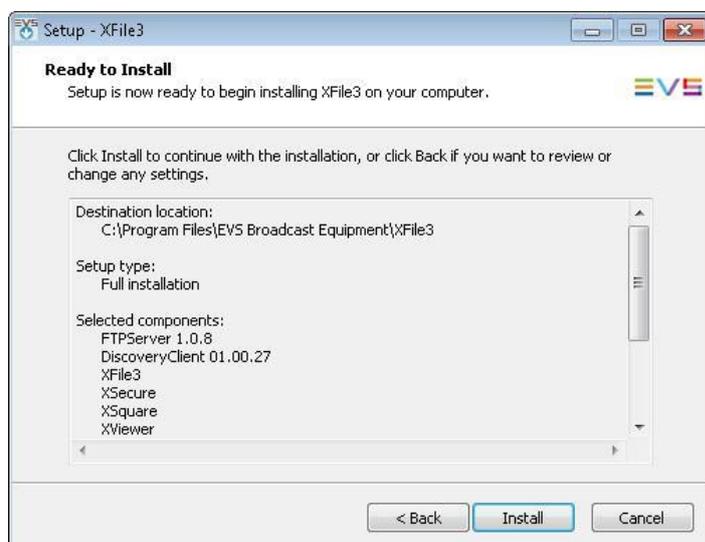
10. Select Additional Tasksウィンドウ内で、
- Create a desktop icon**を選択して、デスクトップ上にショートカットを作成します。



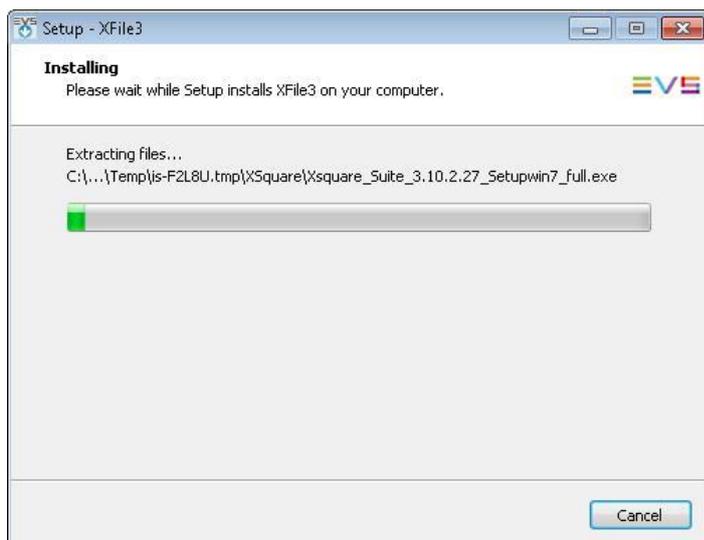
もし、選択しなければ、デスクトップ上にショートカットは表示されません。

- Next**をクリックします。

11. Ready to Installウィンドウ内で、**Install**をクリックします。

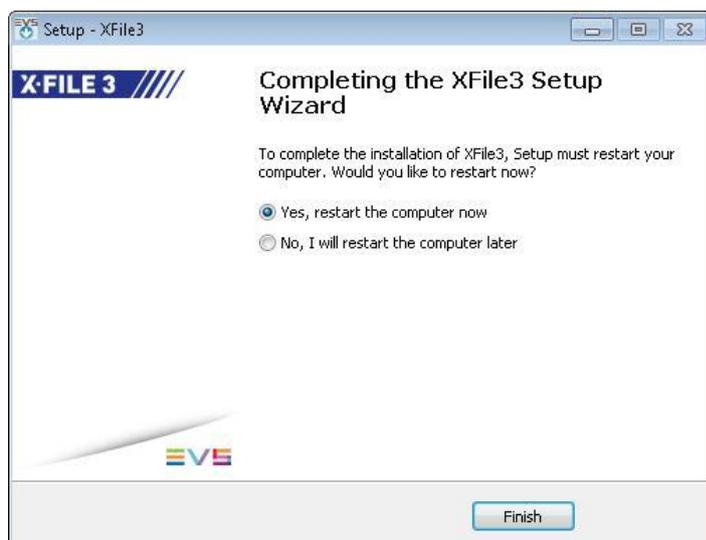


インストールが起動します：



12. XFile3インストールを完了するために、コンピュータを再起動する必要があります。

a. **Yes**を選択します。



b. **Finish**をクリックします。



2.2. XFile3の起動と終了

2.2.1. XFile3の起動

XFile3の起動方法

XFile3を起動するには、デスクトップ上のXFile3ショートカットアイコンをダブルクリックします。



起動シーケンスは、バックグラウンドのXsquareサービスのステータスをチェックします。

最初の起動時に、XFile3ホストコンピュータと同じネットワークからEVSサーバーが検出されます。その後は、前のセッションで、Settings -> Server Discoveryタブ内で選択した全てのサーバーが表示されます。

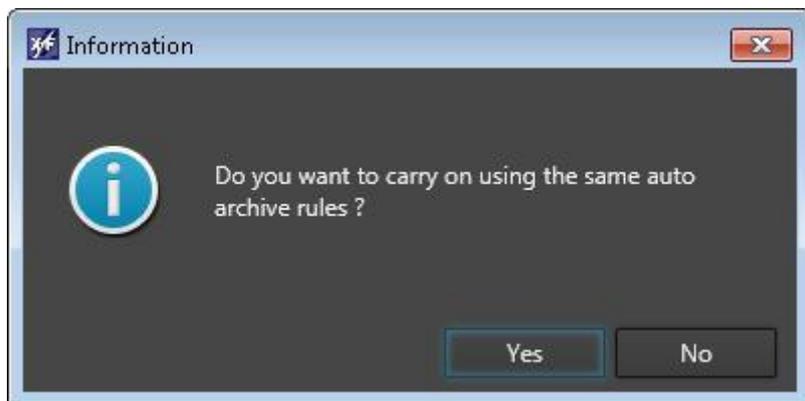
ローカルXTaccessがローカルXsquareに関連付けされていない場合には、XFile3の起動時に関連付けが自動的に作成されます。

Full Packageモードでは、起動時には、デフォルトで、Auto Archiveタブが選択されます。

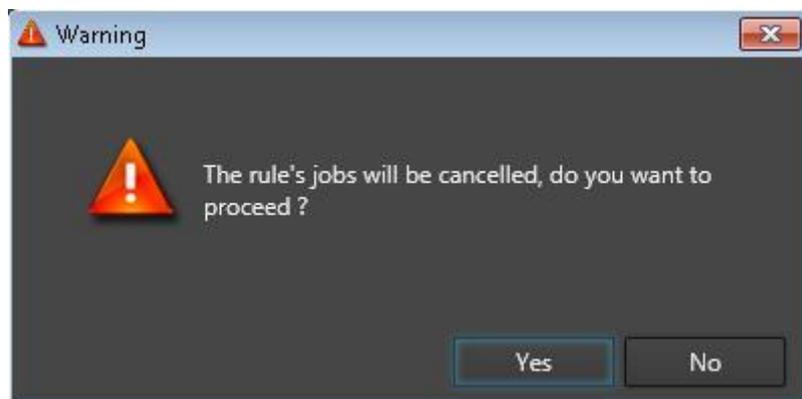


AutoArchive Rules(自動アーカイブルール)がすでに作成されている場合には

Full Packageモードでは、前のセッションでauto-archive rules作成後に、XFile3を起動すると、次のメッセージが表示されます:



- Yesをクリックして、作成済みauto archive rulesを使用します。
ルールは、一時停止しています。
- No をクリックして、作成済みauto archive rulesをクリアし、ルールなしで起動します。
 - ルールによりジョブが実行されていない/予定されていない場合には、既存のauto archive rulesは削除されます。
 - ルールによりジョブが実行されている/予定されている場合には、以下のメッセージが表示されます:



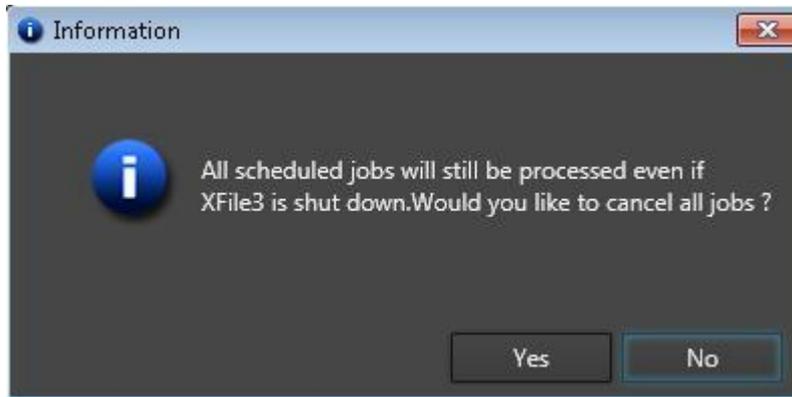
Yesをクリックして、全ての既存のジョブとルールをキャンセルし、XFile3を起動します。
Noをクリックして、XFile3を起動し、古いジョブとルールが残っています。



2.2.2. XFile3の終了

 をクリックして、XFile3を終了します。

ジョブが実行中/予定されている場合には、以下のメッセージが表示されます：



- Yesをクリックして、全てのジョブをキャンセルします。
- Noをクリックすると、予定されている/実行中のジョブは、終了後もバックグラウンドで処理されます。



2.3. Settings(設定)

Settingsウィンドウへのアクセス

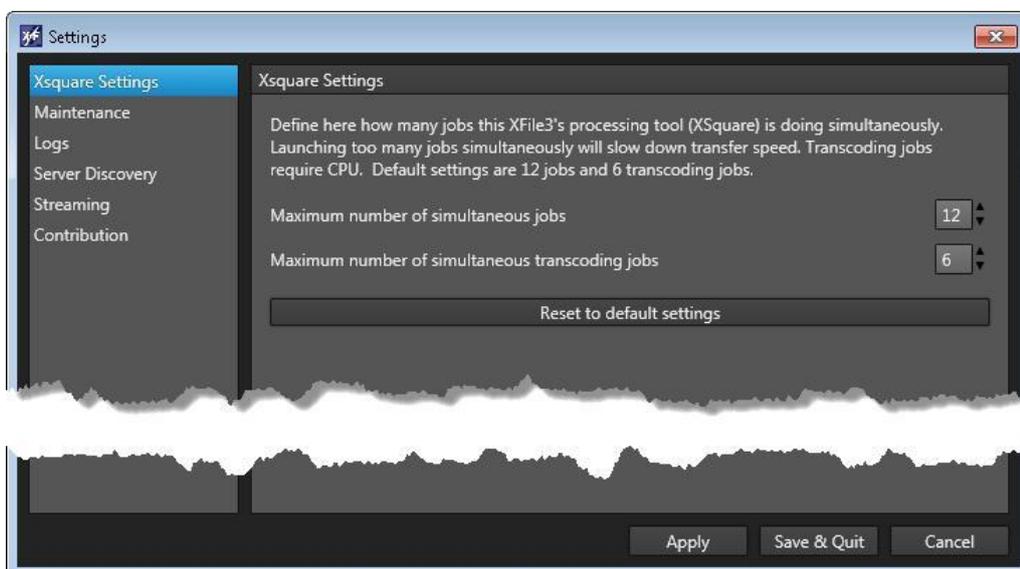
Settingsウィンドウにアクセスするには、XFile3ウィンドウの右上にある  をクリックします。

Settingsウィンドウには、複数のタブがあります。

設定を行ったら、保存します：

- **Apply**をクリックして、保存して、Settingsウィンドウ内に留まります。
- **Save & Quit**をクリックして、保存して、Settingsウィンドウを閉じます。

Xsquare Settings: Xsquare設定



Maximum Number of Simultaneous Jobs: 同時ジョブの最大数

Xsquareの同時処理可能ジョブ数を設定します。

デフォルト値: 12。

Maximum Number of Simultaneous Transcoding Jobs: 同時トランスコードジョブの最大数

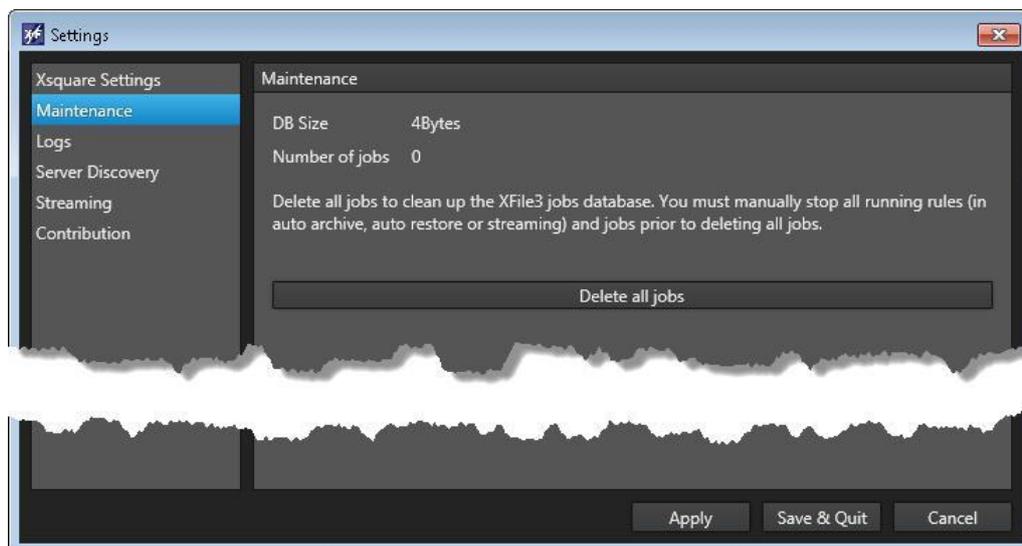
Xsquareの同時処理可能トランスコードジョブ数を設定します。

デフォルト値: 6。



Maintenance: メンテナンス

このタブは、データベースのサイズと実行されたジョブの数を表示します。
また、XFile3データベースから全てのジョブの削除に使用します。

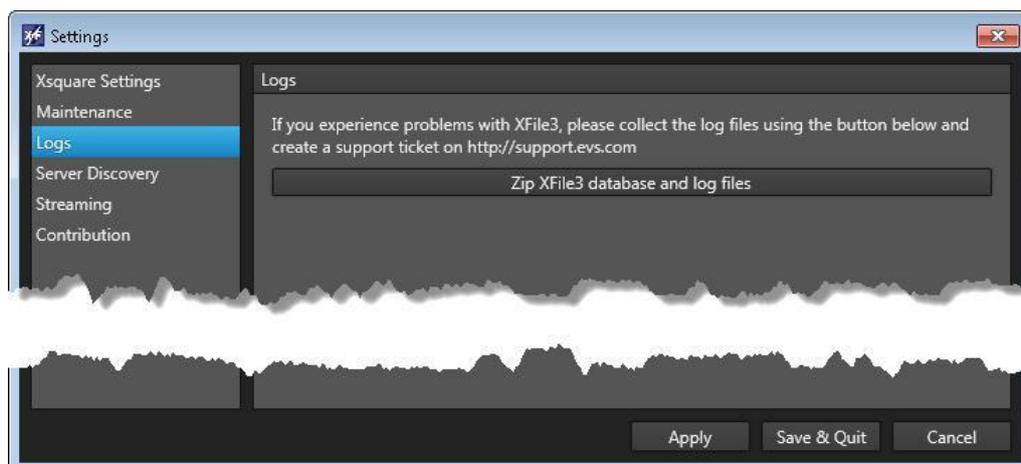


XFile3は、全てのジョブの削除後に、再起動します。

Auto Archiveタブ/Auto Restoreタブ/Streamingタブ内でルールが使用されている時には、XFile3は、全てのジョブを削除することはできません。
全てのジョブを削除する前に、3つのタブ内の全てのルールを手動で停止しなければなりません。

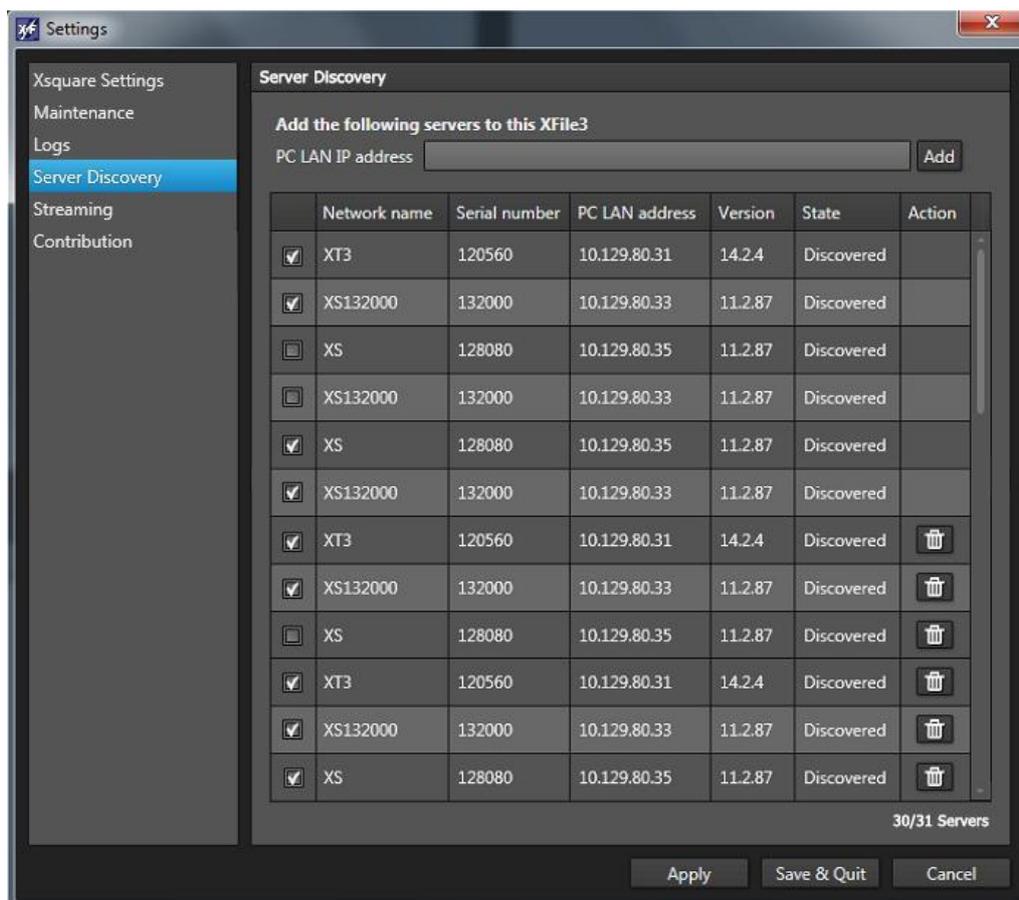
Logs: ログ

このタブは、問題が発生したときに、フォトロンへログファイルを提出するための、ログファイルの作成に使用します。





Server Discovery: サーバー検索



XFile3と同じVLAN内のEVSサーバーは、自動的に、LinXプロトコルで発見され、Servers Discoveryタブ内に表示されます。

しかし、手動で、IPアドレス範囲外のEVSサーバーを発見できます。

LinXプロトコルは31サーバーのみしか発見できませんが、Servers Discoveryタブ内に、31より多いサーバーを表示できます。

そのため、XFile3タブ内で見たいサーバーを選択しなければなりません。

31を超えるサーバーの選択は許可されません。



手動でサーバーを発見する方法

XFile3と異なるVLAN内のサーバーを、手動で発見するには、

1. PC LAN IP Addressフィールド内で、発見したいサーバーのIPアドレスを入力します。
2. Addをクリックします。

サーバーが、Serverリスト内に、リスト表示されます。

XFile3内で作業するサーバーの選択方法

XFile3タブの異なるServerリスト内で見たいサーバーを選択するには、

1. サーバー名横のチェックボックスをチェックします。
これは、自動発見されたサーバーと手動追加されたサーバーの混在になります。
2. Save & Quitをクリックします。

リストから手動で追加したサーバーの削除方法

追加されたサーバーのリストはローカルに保存されていて、XFile3設定からサーバーを削除するまで、XFile3の起動時に毎回呼び出します。

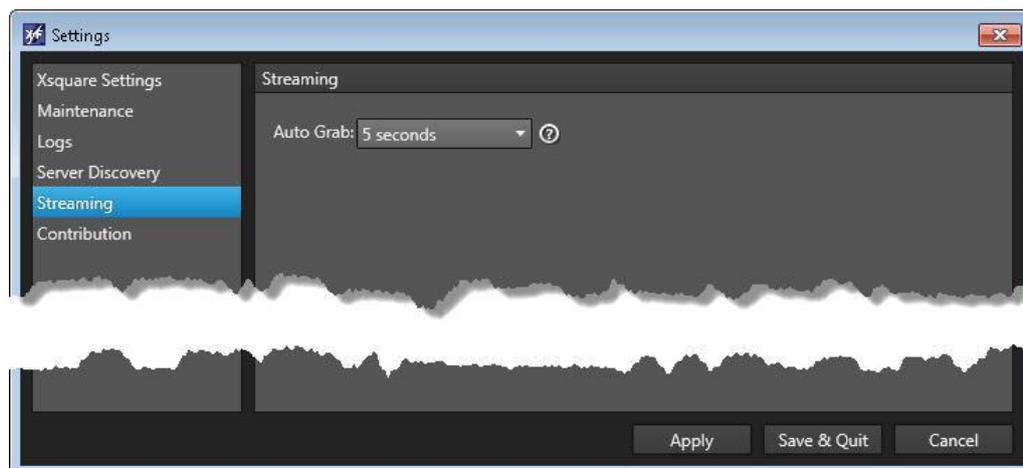
自動発見されたサーバーは、Server Discoveryタブのリストから、削除できません。

リストから、手動追加されたサーバーを削除するには、

1. Servers Manually Added to this XFile3 list内のサーバー横の  をクリックして、削除します。
2. Save & Quitをクリックします。



Streaming: ストリーミング



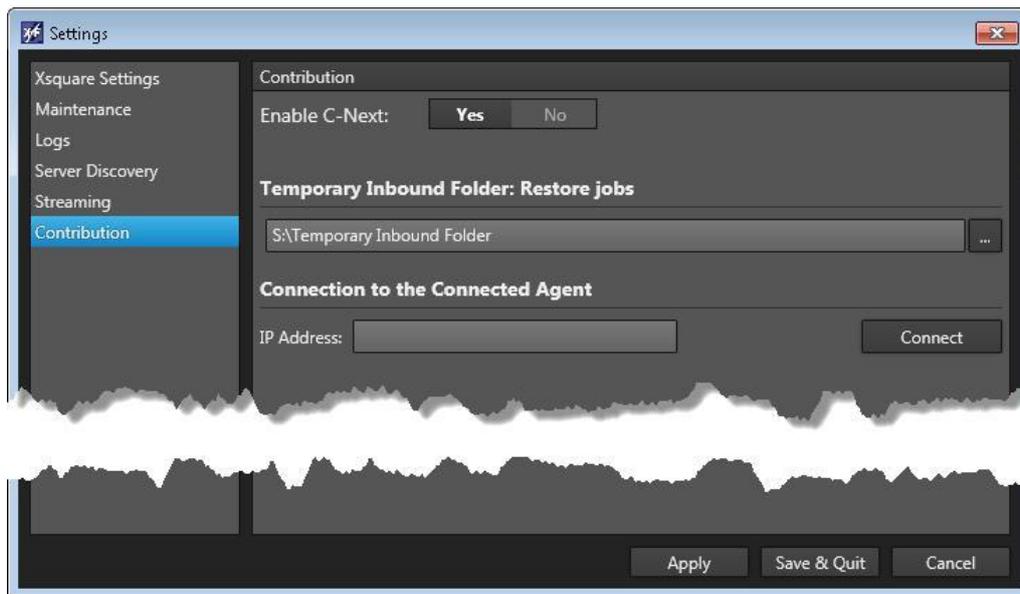
ストリーミング中にサムネイルを表示するために、XFile3は、一定の間隔で、レコーダーのフレームを取り込みます

このタブは、取り込みの周期設定に使用します。

この機能は、CPUパワーを必要とし、パフォーマンスを低下させます。

可能値: **Disable Auto Grab**、5 seconds、10 seconds、60 seconds

Contribution



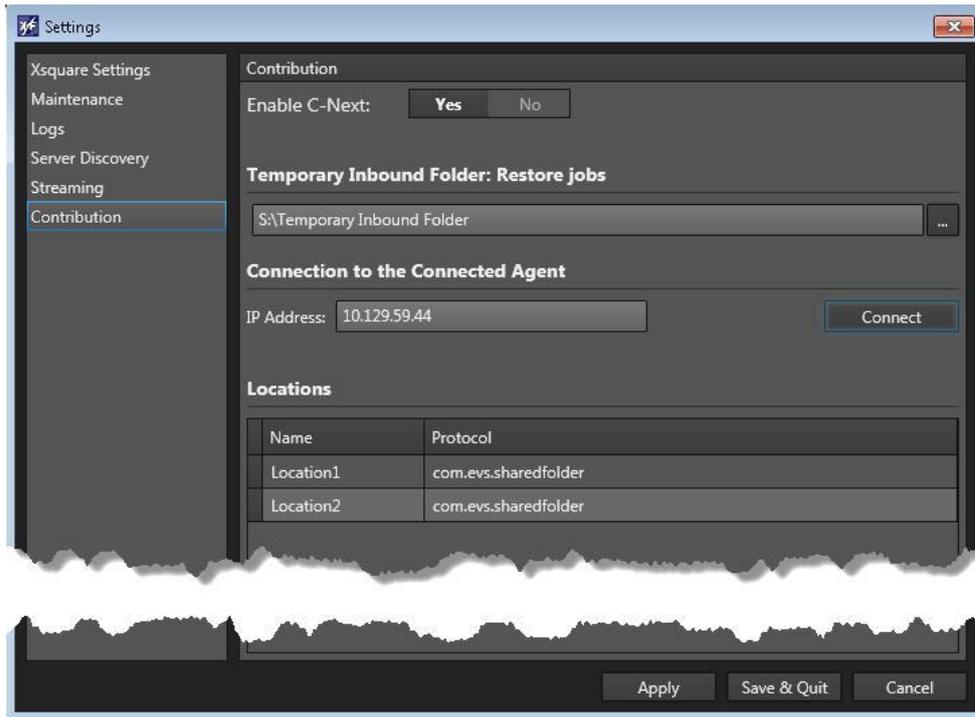
このタブは、C-Nextと作業する時に使用します。

1. **Enable C-Next**横の**Yes**をクリックします。
2. RestoreとAutoRestoreジョブ中に、ファイルの一時保存に使用するtemporary inbound folderを設定します：
 - a. Temporary Inbound Folderフィールド横の  をクリックします。
 - b. フォルダを選択します。



注意

- C:¥を使用しないで下さい。
 - temporary inbound folderを選択すると、フィールドは削除できず、変更のみが可能です。
3. Connected AgentのIPアドレスを入力します。
 4. **Connect**をクリックして、接続をチェックします。
Connected Agent上で設定された位置が、取得され、リスト表示されます：

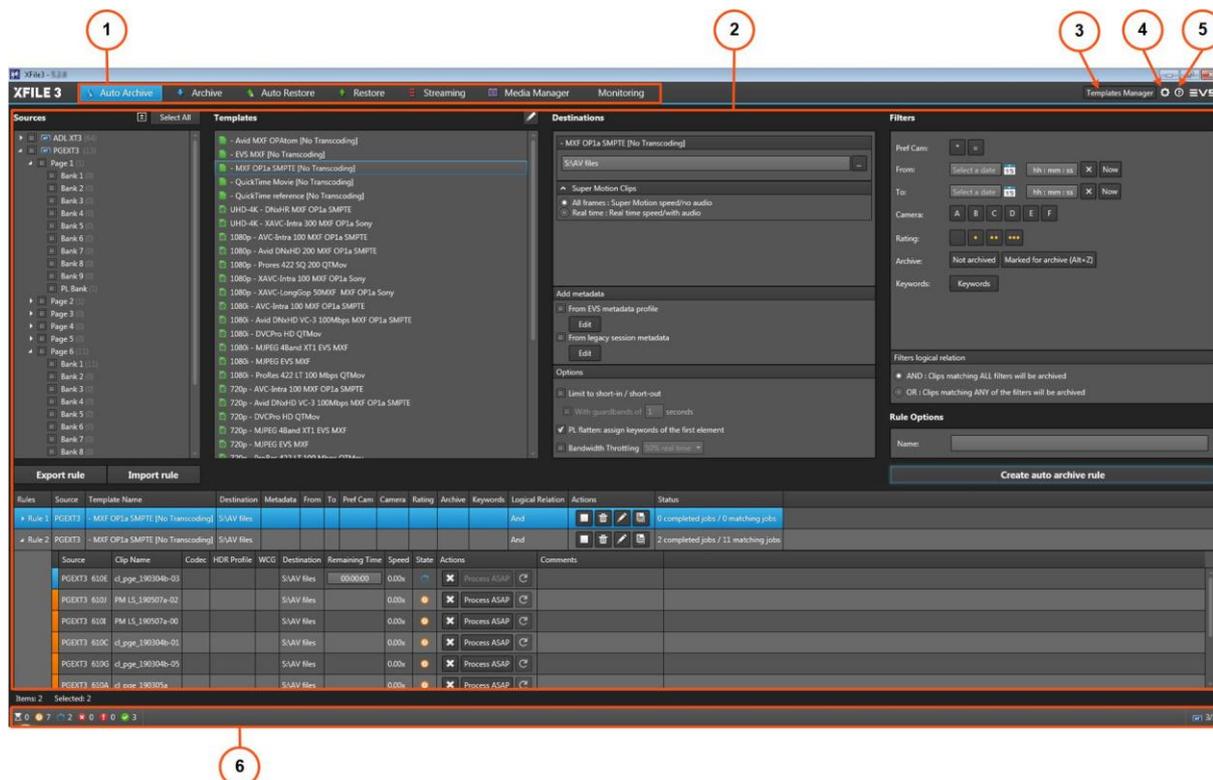






3. メインウィンドウ概要

XFile3をFull Packageモードで起動すると、ユーザーインターフェースには、以下のメインエリアがあります：



C-Nextと使用する時、いくつかの違いが見られます。



タブ (1)

XFile3 Full Packageでは、作業において、異なるモードで使用する複数のタブがあります。

Streaming onlyモードとAutoArchive and Manual Restore onlyモードでは、いくつかのタブのみが表示され、以下に説明しています。

タブ	使用方法
Auto Archive	このタブは、指定サーバーからアーカイブハードドライブへの、ソースクリップの自動アーカイブ用の、自動バックアップルールの作成に使用します。
Archive	このタブは、指定サーバーから指定フォーマットで事前設定された宛先への、ソースクリップやプレイリストの手動アーカイブに使用します。
Auto Restore	このタブは、設定されたフォルダパスからサーバーへの、設定済みルールに基づく、全てのソースクリップの自動リストアに使用します。
Restore	このタブは、ハードドライブからネットワーク上のサーバーへの、クリップの手動リストアに使用します。
Streaming	このタブは、指定サーバーから指定形式で、ソースレコードトレインの、アーカイブに使用します。 最終結果は、クリップのバックアップと同じですが、これはライブ取り込み処理と同時に実行できます。
Media Manager	このタブは、2つの異なるストレージのコンテンツの比較とクリップ/ファイルのメンテナンスに使用します。
Monitoring	このタブは、使用可能な全てのハードドライブおよび全てのジョブの参照に使用します。

ワークエリア (2)

選択したタブに応じて、必要なタイプのジョブを実行するために、異なる枠が表示されます。

Template Manager (3)

Template Managerボタンを押し、Template Managerツールにアクセスできます。

ツールは、そのタブ内で使用可能なテンプレートのリストの管理に使用します。

ツールは、XFile3 Full Packageモードでのみ、Auto Archiveタブ/Archiveタブ/Streamingタブ/Media Managerタブから使用できます。

設定ボタン (4)

Settingsボタン  は、Settingsウィンドウへのアクセスを提供します。

ここで、各パラメータを設定します：

Xsquare設定、ジョブメンテナンス、ログファイル作成、手動サーバー検索、ストリーミング設定

XFile3 Full Package内では、Contribution with C-Nextの設定に、Contributionタブを使用します。

ヘルプボタン (5)

Helpボタン  は、XFile3バージョン番号、サポート電話番号、XFile3ユーザマニュアルへのリンク、利用規約へのリンクのウィンドウへのアクセスを提供します。



ステータスバー (6)

ジョブステータス

ステータスバーは、転送タイプに関わらず、各ジョブステータス(Waiting、Scheduled、Running、Canceled、Failed、Completed)のジョブの全体数を表示します(タブ)。



これは、Full Packageモードでのみ、表示されます。

Number of Connected EVS Servers

ステータスバーの右に、読み取り専用情報が表示されます。



- Settingsから選択されたXFile3で作業するEVSサーバーの数
- 発見されたEVSサーバーの全数





4. Auto Archive Rules(自動アーカイブルール)の作成と適用

4.1. Auto Archiveタブの概要

目的

Auto Archiveタブは、起動時にデフォルトで選択されます。

これは、指定サーバーから選択宛先へ、ソースクリップの自動アーカイブ用の自動アーカイブ規則の作成に使用します。

特定のフィルタをルール内に設定して、アーカイブするクリップのリストを絞り込みます。

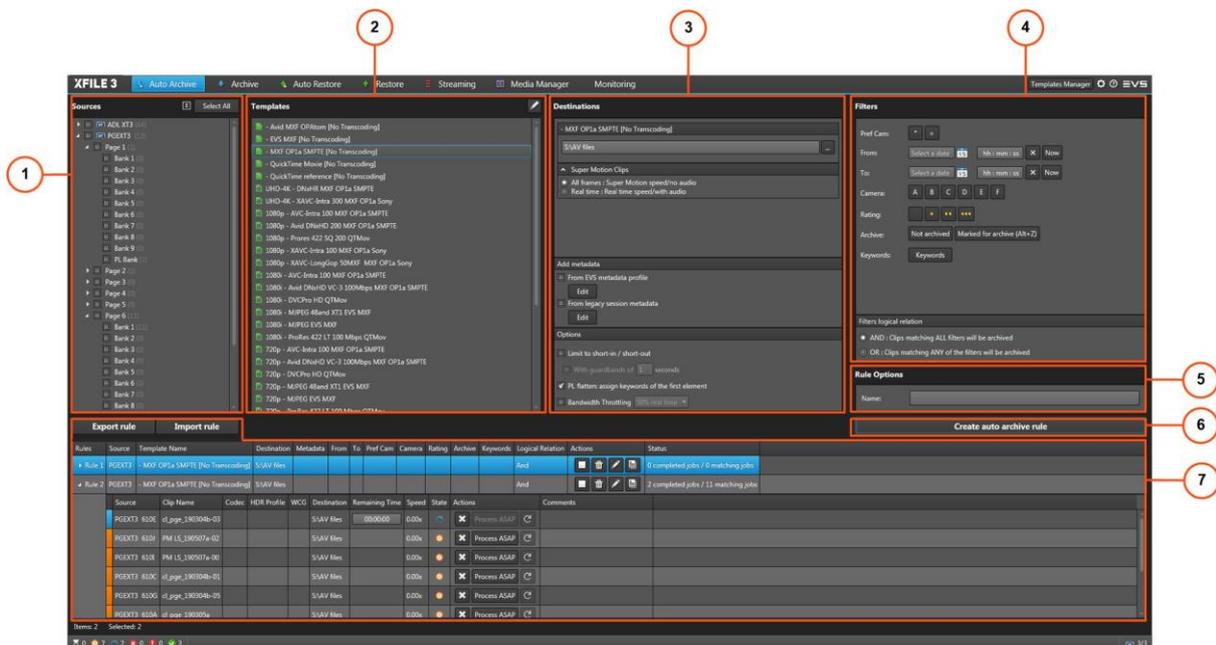
C-Next Contributionモードがオンの時、遠隔宛先が使用可能です。

ライセンスキー 10-30がXSecureにインポートされたら、XFile3の使用は、Auto ArchiveとManual Restoreに制限されます。

この場合には、Full Packageモードからのいくつかの機能は、Auto Archiveから使用できません。



XFile3がFull Packageモードで起動すると、Auto Archiveタブは、以下のスクリーンショット上でハイライトされているエリアを含んでいます：





エリア説明

Sources 枠 (1)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブ内で選択された全てのサーバーを表示します。サーバー構造 (ページ/バンク/全てのクリップのメタデータを含む)も表示されます。このエリアから、アーカイブするクリップ/プレイリストのソースを選択します。

Templates 枠 (2)

このエリアには、バックグラウンドで動作しているXsquareサービスマネージャーから利用可能なテンプレートが表示されます。

Full Packageモード内では、タブ内で使用可能なテンプレートのリストの管理に、Template Managerツールが使用できます。

このツールは、AutoArchiveとManual Restore onlyモード内では、使用できません。

Destinations 枠 (3)

このエリアから、クリップ/プレイリストがアーカイブされる宛先を選択します。

このエリアから、Supermotion Clipsパラメータ、メタデータとオプションを設定できます。

Filters 枠 (4)

このエリアは、自動アーカイブルールに追加できる全てのフィルタオプションが表示します。

Rule Options (5)

Nameフィールドを使用して、ルールにカスタマイズ名を付加します。

Create Autoarchive Ruleボタン (6)

このボタンは、自動アーカイブルールの作成に使用します。

ジョブ 枠 (7)

このエリアには、作成した自動アーカイブルールと関連するジョブの全てが表示されます。

ジョブ 枠の上に、ルールのインポート/エクスポート用の2つのボタンがあります。



4.2. Auto Archive Rules(自動アーカイブルール) 作成のステップ

自動アーカイブルール作成方法

自動アーカイブルールを作成するには:

1. Sources枠から、アーカイブするクリップが保存されているソースEVSサーバー/ページ/バンクを選択します。
2. Templates枠から、Xsquareで実行するジョブプロセスを指定するテンプレートを選択します。
3. Destinations枠から、クリップがアーカイブされる場所を指定する宛先を選択します。



注意

Destination pathは、後で別のテンプレートを選択しても、保持されます。

4. C-Next Contributionモードがオンの時、Destinations枠から遠隔宛先を選択して、クリップのアーカイブ先を指定します。
5. (オプション) Supermotion Clipsパラメータを設定します。
6. (オプション) アーカイブするクリップに割り当てるメタデータを設定します。
7. (オプション) INとOUT点間のみアーカイブする、新しいガードバンドを設定する、1本化されたプレイリストファイルにキーワードを割り当てる、のオプションを設定します。
8. (オプション) アーカイブするクリップのリストを絞り込むため、適用するフィルタを設定します。
9. (オプション) Rule Options / Nameフィールド内で、自動アーカイブルールの名前を入力します。
(最大 36文字)
10. **Create autoarchive rule**をクリックします。

新しいルールが作成され、ジョブ枠内に表示されます。

ルールは、即座に考慮されます。

設定フィルタに一致するソース宛先からの全てのクリップは、ルールが開始されるとすぐに、自動的に設定された宛先にアーカイブされます。



1台のサーバーから別のサーバーへ、クリップ/プレイリストをアーカイブする AutoArchive Ruleの作成方法

1台のサーバーから別のサーバーへクリップ/プレイリストをアーカイブするには、以下を行います：

1. Sources枠から、アーカイブするクリップ/プレイリストが保存されているEVSサーバー/ページ/バンクを選択します。
2. Templates枠から、To EVS Serverテンプレートを選択します。
3. Select Destinationウィンドウから、クリップ/プレイリストのアーカイブ先のEVSサーバーを選択します。
4. (オプション) EVSサーバー内の宛先位置を選択します。
5. (オプション) Rule Options / Nameフィールド内で、自動アーカイブルールの名前を入力します。
6. **Create autoarchive rule**をクリックします。

新しいルールが作成され、ジョブ枠内に表示されます。



4.3. アーカイブするクリップ/プレイリストの選択

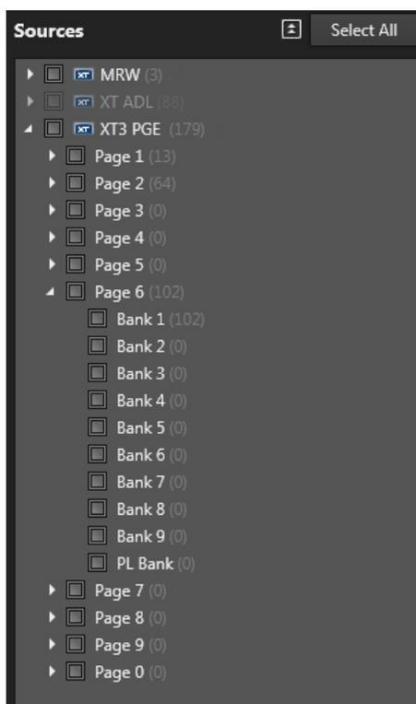
Sources枠の概要

Sources枠は、Settings > Server Discoveryタブ内で選択された全てのサーバーとそのクリップ構造(ページ、バンク、PLバンクを含む)を表示します。

ここに表示されるサーバー名は、サーバーのSDTIネットワーク名です。

しかし、もし、サーバー名が空白のままなら、代わりにサーバーのシリアル番号が表示されます。

クリップの合計数は、各サーバー名/ページ/バンク横に、カッコ間で、表示されます。





ソースの選択方法

以下のいずれかの方法で、クリップをアーカイブしたいソースを選択します：

全てのサーバーの全てのページ(とバンク)：

- Select Allをクリックして全てのサーバーを選択
- Unselect Allを選択して選択解除

1台のサーバーの全てのページ(とバンク)：

- サーバー横のチェックボックスを選択

1ページの全てのバンク：

- ページ横のチェックボックスを選択

各バンク：

- バンク横のチェックボックスを選択します。



注意

XFile3は、EVSサーバーのGbEポートとの接続を監視します。

サーバーは、実際には、管理用PC LANポートを通して、XFile3 UI上で見えるかもしれませんが、GBEメディアポートを通して見えなければ、ファイル転送はできません。

2つの動作不具合状態があります：

- **サーバーGBEポートに到達できません：** この状況ではファイル転送はできません。
もし、両方のサーバーのGBE接続に全くpingできなければ、サーバーの全てのコントロールは不可です
- **サーバーGBEポートに、ジャンボフレームで到達できません：**
EVSサーバーの横に、オレンジ色のネットワークアイコンが現れます。
ファイル転送は可能ですが、最速のスピードではありません。



これらの問題を解決するには、ローカルXFile3 NIC上/XFile3とサーバー間のスイッチインフラでジャンボフレームがオンか確認し、ネットワーク設定をチェックする必要があります。



4.4. ジョブTemplate(テンプレート)の選択

Templates枠は、背面で動作しているXSquareサービスマネージャーで使用可能なテンプレートを表示します。

表示されるリストは、Template Managerツールでの選択で制限できます。

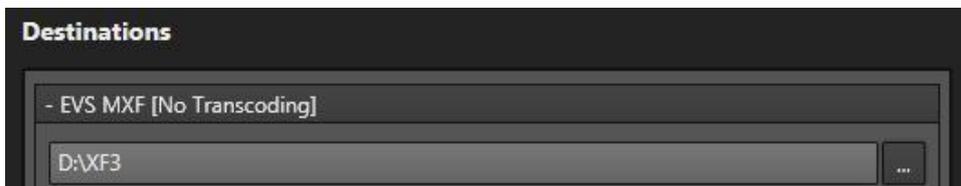
Auto ArchhiveタブのSource枠で選択したソース位置(PLバンク、または他のバンク)に従い、使用可能テンプレートのリストは、選択した素材タイプに適用できるテンプレートのみで制限されます。



4.5. Destination(宛先)パスの選択

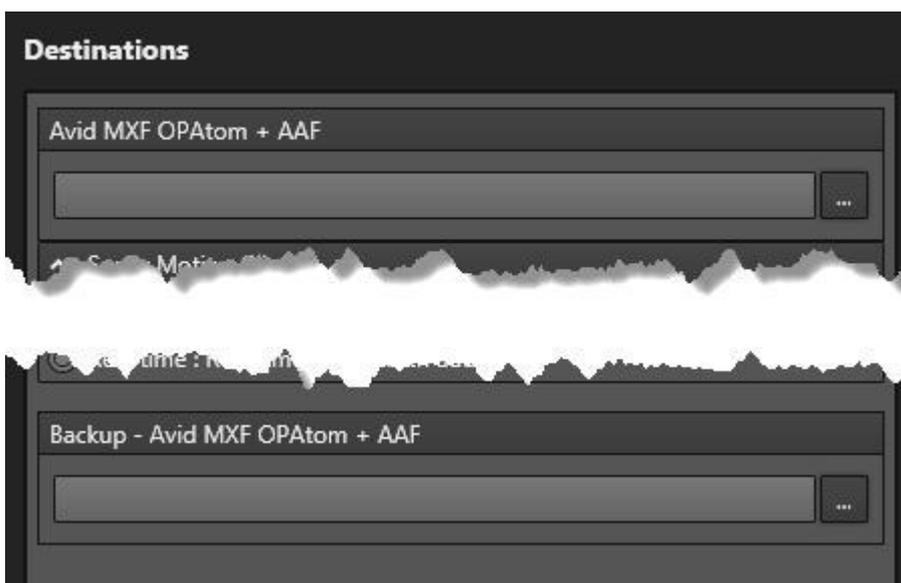
概要

クリップがアーカイブされる宛先パスは、Destinations枠内のDestinationフィールドで設定します。ファイルは、共有フォルダのみに保存することができます。



Template枠内で選択したテンプレートのラッパータイプが、Destinationフィールド上に表示されます。

Template枠内で選択したテンプレートが複数の宛先にファイルをバックアップするように設定されている場合には、Destinations枠内に、複数のDestinationフィールドが表示されます：

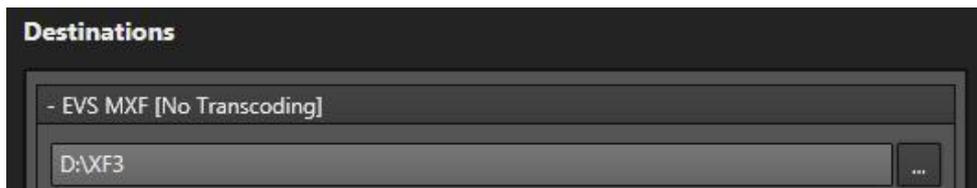




メディアをアーカイブするDestinationパスの設定方法

メディアアーカイブ用のローカル宛先を設定するには

1. Destinationフィールド横のBrowseボタン  をクリックします。
2. 選択する宛先フォルダにブラウズします。
3. OKをクリックします。



注意

手動で、Destinationフィールド内にパスを入力、コピー/ペーストコマンドも使用できます。パスが有効でない場合には、メッセージで警告されます。

もし、選択したテンプレートが、複数宛先用であれば、

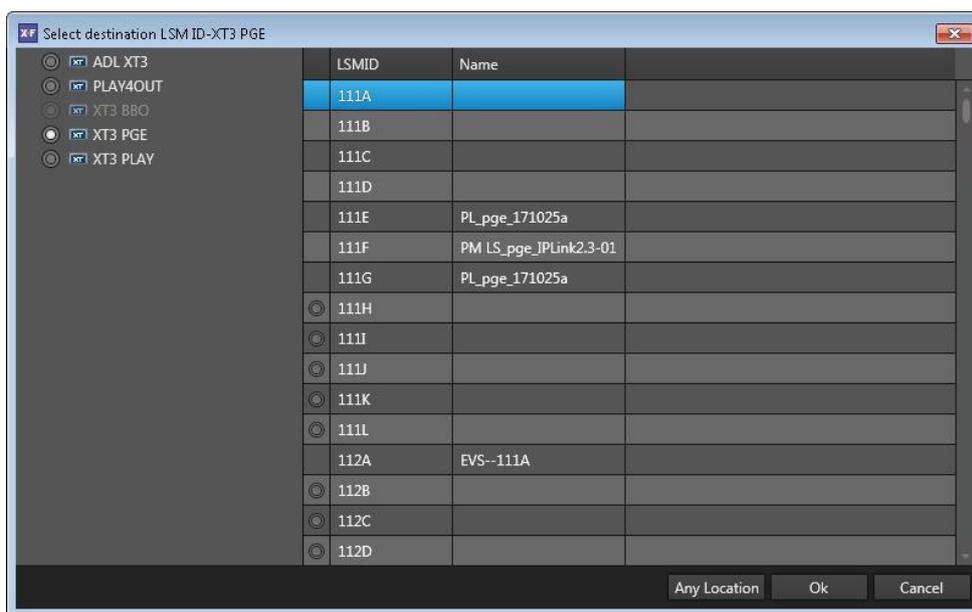
4. ステップ 1 ~ 3を繰り返します。



'To EVS Server'テンプレートでのDestinationパスの設定方法

1. **Destinations**フィールドの横の**Browse**ボタン  をクリックします。
Select Destinationウィンドウが開きます。
2. ウィンドウの左側で対応するラジオボタンをクリックして、クリップ/プレイリストをアーカイブするEVSサーバーを選択します。

選択したEVSサーバー上の全ての位置が、ウィンドウの右側に表示されます。
フリー(空)位置の左側に、ラジオボタンが表示されます。



3. 次のいずれかを行います:
 - ウィンドウの右側でラジオボタンをクリックして、EVSサーバー内の宛先位置を選択し、**OK**をクリックします。
選択位置は、クリップのアーカイブの開始位置として考慮されます。
 - 宛先位置を選択せず、**Any Location**をクリックします。
宛先EVSサーバー内の最初の使用可能(空)位置が、クリップのアーカイブの開始位置として考慮されます。



4.6. Supermotion Clips(スーパーモーションクリップ) タイプの設定

Supermotion Clipsオプションは、スーパーモーションクリップがアーカイブされる方法の設定に使用します：

- **All frames:**

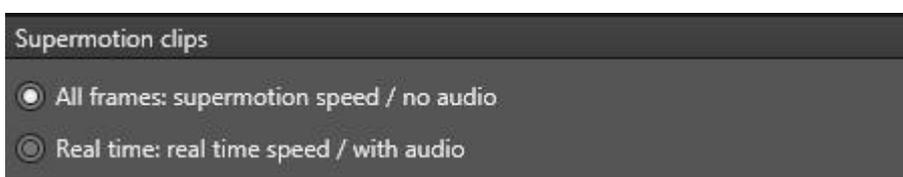
スーパーモーションクリップのフレーム全体が、非同期または音声なしで保持されます。

このオプションが、デフォルトで選択されています。

- **Real time:**

2、3、6、10フレーム毎の1つのフレームのみが保持され(Super Motion Recモードに依存)、オーディオも同じです。

オーディオTCは、連続しています。



注意

Supermotion Clipsオプションは、To EVS Serverテンプレート、プレイリスト関連のテンプレートを選択したときには、表示されません。

4.7. アーカイブメディアにメタデータを割り当てる

4.7.1. 序文

ユーザは、アーカイブクリップに追加するメタデータを選択できます。

これは、EVSメタデータプロファイルをインポートしてメタデータ値を編集するか、レガシーセッションメタデータを編集して、行います。

XFile3は、自動アーカイブルールが実行中で、クリップのアーカイブジョブが終了した時、クリップメタデータを更新します。

4.7.2. EVSメタデータプロファイルからメタデータの割り当て

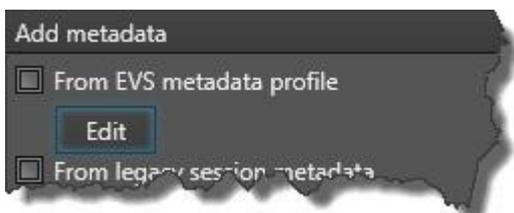
EVSメタデータプロファイルのインポート方法

デフォルトプロファイルは、以下のディレクトリ内に保存されています：

C:\Program Files\EVS Broadcast Equipment\XFile3\XML metadata profiles.

EVSメタデータプロファイルをインポートするには、

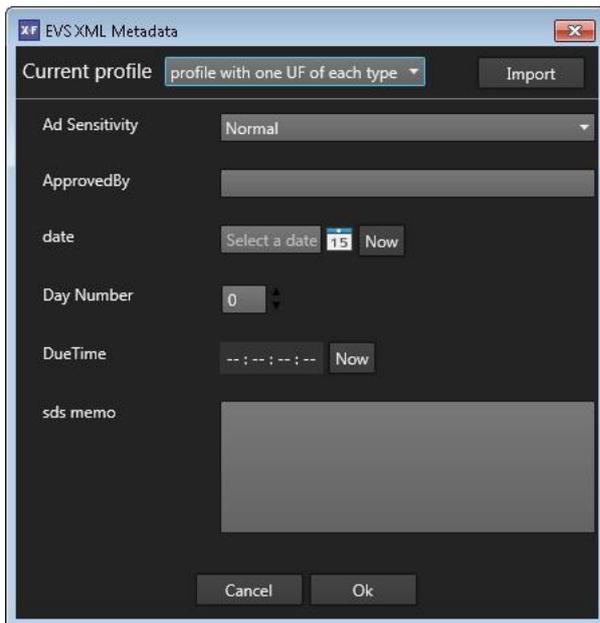
1. From EVS Metadata Profile下のEditをクリックします：



○ もし、まだ、プロファイルがインポートされていなければ、Import EVS Metadata Profileダイアログボックスが開きます：



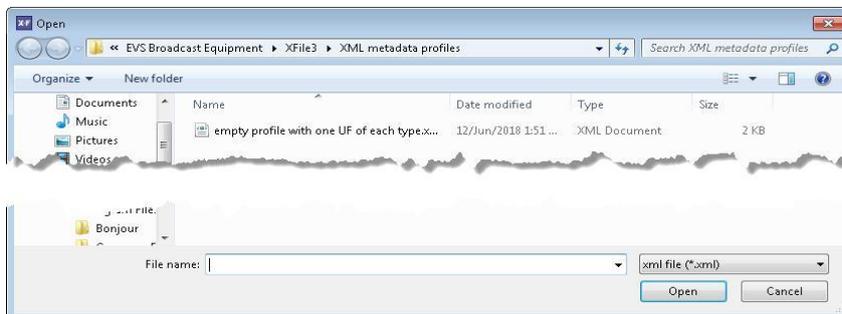
○ もし、プロファイルがインポート済であれば、EVS XML Metadataウィンドウが開き、前回選択したプロファイルが、**Current Profile**フィールド内に表示されます：



Importをクリックして、Import EVS Metadata Profileダイアログボックスを開きます。

2. **Browse**をクリックします。

以下のウィンドウが開きます：



3. メタデータプロファイルを選択し、**Open**をクリックします。

4. Import EVS Metadata Profileダイアログボックス内で、**OK**をクリックします。

メタデータプロファイルが、EVS XML Metadataウィンドウの**Current Profile**フィールドから使用可能になります。

EVSメタデータプロファイルのメタデータ値の設定方法

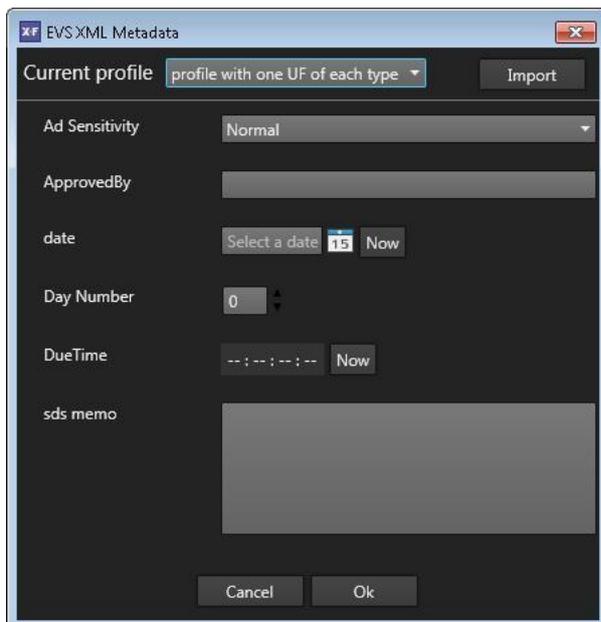
1. From EVS Metadata Profile下のEditをクリックします。



EVS XML Metadataウィンドウが開きます。

Current profileフィールド内に、最後に選択されたプロファイル(もしあれば)が、表示されます。

2. **Current profile**フィールドから、使用するメタデータプロファイルを選択します。



3. 必要なメタデータ値を変更します。
4. **OK**をクリックします。



設定済みメタデータ値をクリップに割り当てる方法

アーカイブしたクリップに、設定済みメタデータ値を割り当てるには、

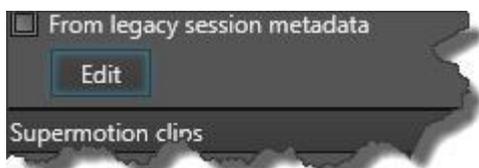
- **From EVS Metadata Profile**オプションを選択します。

メタデータプロファイルとメタデータ値は、アーカイブファイルのXMLファイルに追加されます。

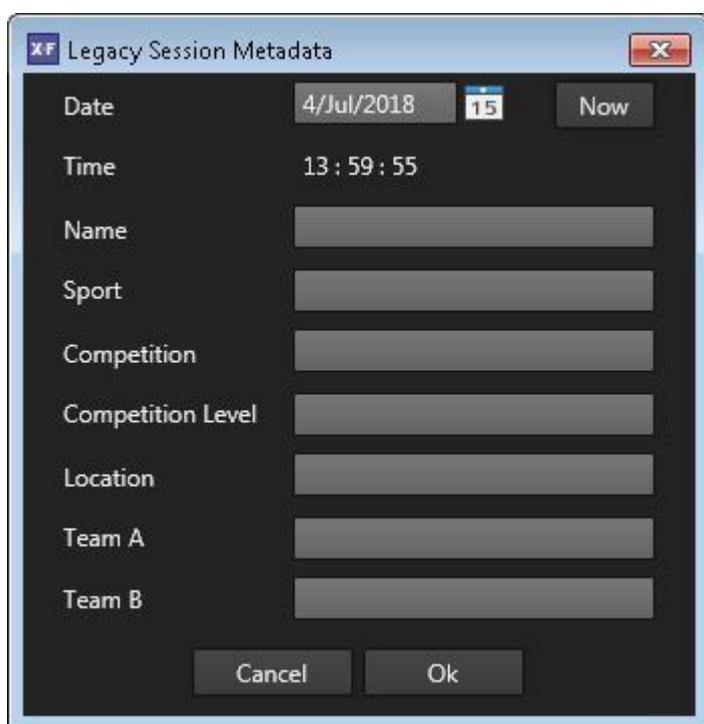
4.7.3. Legacy Sessionメタデータからメタデータの割り当て

レガシーセッションメタデータのメタデータの値の設定方法

1. From legacy session metadata 下のEditをクリックします。



Legacy Session Metadataウィンドウが開きます。



2. 必要なメタデータ値を変更します。
3. OKをクリックします。

設定済みメタデータ値をクリップに割り当てる方法

アーカイブしたクリップに、設定済みメタデータ値を割り当てるには、

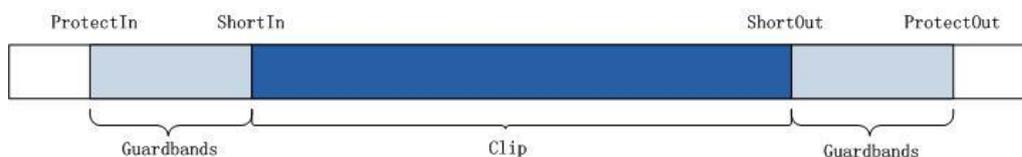
- From legacy session metadata オプションを選択します。

メタデータ値は、アーカイブファイルのXMLファイルに追加されます。

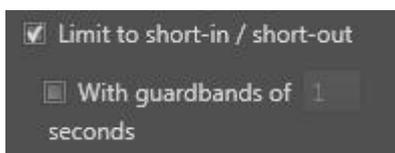


4.8. アーカイブオプションの設定

Limit to short-in/short-out



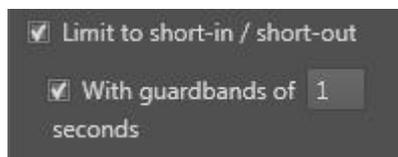
Limit to short-in/short-out



このオプションは、アーカイブクリップの範囲を、IN点(Short IN)からOUT点(Short OUT)に制限し、これはガードバンドなしを意味します。

、このオプションをクリアすると、クリップは基のガードバンドを含んでアーカイブされます。

With guardbands



このオプションは、アーカイブクリップ用の新しいガードバンドの設定に使用し、十分な映像を提供します。

例：アーカイブクリップの元のガードバンドが5秒で、10秒のガードバンド値を設定したら、有効なガードバンド値として5秒を取得します。

もし、アーカイブクリップの元のガードバンドが15秒で、10秒のガードバンド値を設定したら、ガードバンド値として10秒を取得します。

有効なガードバンド値： 1s ~ 60s.

PL flatten: assign keywords of the first element

このオプションを選択すると、最初のプレイリスト素材のキーワードが、プレイリストアーカイブで作成されたフラテンファイルに割り当てられます。



Bandwidth Throttling

このオプションは、ネットワーク帯域幅/ジョブの使用を制限するために使用します。

デフォルトでは、このオプションはオフになっています。

可能な値:

50%リアルタイム、75%リアルタイム、100%リアルタイム、125%リアルタイム、
150%リアルタイム、200%リアルタイム、300%リアルタイム、400%リアルタイム



4.9. アーカイブするクリップ選択用フィルタの設定

4.9.1. 序文

Filters枠は、必要に応じて、アーカイブするクリップのリストの絞り込みと、複雑なジョブを容易にするための複数のフィルタを提供します。

Filters

Pref Cam: * =

From: Select a date 15 hh : mm : ss X Now

To: Select a date 15 hh : mm : ss X Now

Camera: A B C D E F
G H I J K L

Rating: * ** ***

Archive: Not archived Marked for archive (Alt+Z)

Keywords: Keywords

Filters logical relation

AND : Clips matching ALL filters will be archived

OR : Clips matching ANY of the filters will be archived

6つのフィルタは:

- one of the preferential cameras (Pref Cam): 1つのプリファレンスカメラ
- Date & Time: 日付と時間
- Camera: カメラ
- Rating: レート
- Archive: アーカイブ
- Keywords: キーワード

選択したフィルタは、ハイライト表示されます。

フィルタが適用され、枠下のフィルタの論理関係の設定で、設定フィルタ全て(AND)、またはいずれかに一致する(OR)クリップを選択してアーカイブできます。

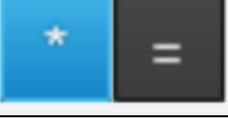


4.9.2. Pref Camに基づくフィルタ設定方法

Pref Camフィルタにより、最初のプリファレンスカメラ(*)、および/または2番目のプリファレンスカメラ(=)に設定されたカメラから記録されたクリップのみをアーカイブすることが可能です。

デフォルトでは、プリファレンスカメラは選択されていないので、すべてのカメラが含まれています。

フィルタを設定するには、以下の表に示されているように、1つまたは2つのボタンをクリックします：

フィルタ	意味
	全てのカメラから記録されたクリップが、自動アーカイブルールに含まれます。
	1番目と2番目のプリファレンスカメラから記録されたクリップのみが、自動アーカイブルールに含まれます。
	1番目のプリファレンスカメラから記録されたクリップのみが、自動アーカイブルールに含まれます。
	2番目のプリファレンスカメラから記録されたクリップのみが、自動アーカイブルールに含まれます。



4.9.3. Date and Timeに基づくフィルタ設定方法

Date & Timeフィルタにより、FromとToで設定した日付範囲内に作成されたクリップのアーカイブが可能です。

デフォルトでは、日付と時刻は選択されていません。

Dateフィルタ条件を設定するには、

1. From [date] フィールド横の  をクリックします。
カレンダーが表示されます。



2. 日付を選択します。
3. From [Time] フィールド内で、時間を入力します。



4. To [date] と To [time] 値に、ステップ 1 ~ 3 を繰り返します。

 をクリックして、設定した日付と時間をクリアできます。

 をクリックして、現在のサーバー時刻をロードできます。



Date & Timeフィルタは、Primary TCに基づいています。



4.9.4. Cameraに基づくフィルタ設定方法

Cameraフィルタにより、指定カメラ(レコーダーチャンネルに対応)から記録されたクリップの選択が可能です。

Multicam 14以降、最大12チャンネル(文字A~Lに対応)まで使用可能です。

デフォルトでは、カメラは選択されておらず、全てのカメラは自動アーカイブルールに含まれています。

フィルタ条件を設定するには、

- 対応するCameraボタンをクリックします。

例： Aボタンをクリックすると、Aクリップとして保存されたクリップをアーカイブします。

複数のカメラを、同時に選択可能です。

そして、適切なフィルタ論理的関係を選択します。





4.9.5. Ratingに基づくフィルタ設定方法

Ratingフィルタにより、設定した重要度レベルを持つクリップの選択が可能です。

4つの重要度レベルがあります： 星なし ~ 3つ星： 

デフォルトでは、ボタンが選択されておらず、全ての重要度レベルが含まれています。

フィルタ条件を設定するには、必要な重要度レベルボタンをクリックします。



4.9.6. Archive Flagに基づくフィルタ設定方法

Archive Flagフィルタにより、(LSMまたはMulticamユーザにより)アーカイブフラグを付けられた/付けられていないクリップの選択が可能です。

デフォルトでは、**Not Archived**フラグが選択されています。

フィルタ条件を設定するには

- 1つまたは両方のボタンをクリックします。
 - **Not Archived**: アーカイブフラグが付加されていないクリップが含まれます。
 - **Marked for archive (Alt-Z)**: アーカイブフラグが付加されているクリップが含まれます。



4.9.7. Keywordsに基づくフィルタ設定方法

序文

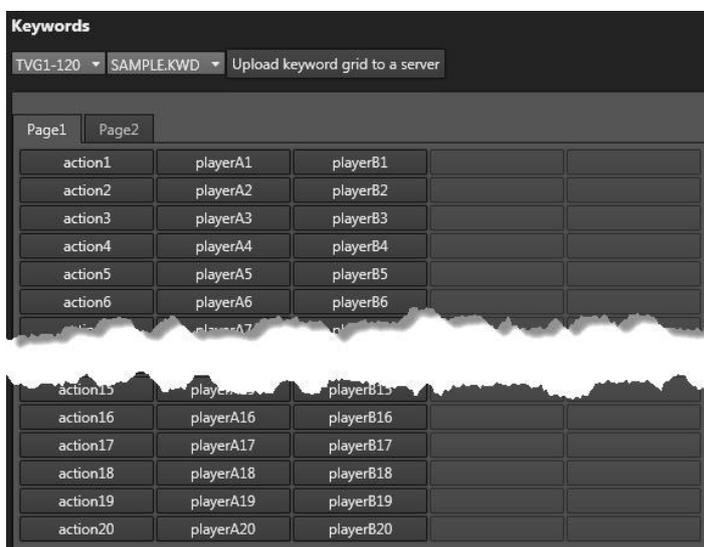
キーワードフィルタにより、アーカイブするクリップに関連付けられている必要があるキーワードを設定します。

デフォルトでは、キーワードは選択されていません。

Keywordsのフィルタ条件の設定方法

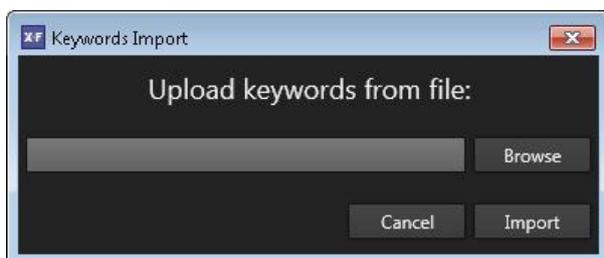
フィルタ条件を設定するには、

1. **Keywords**ボタンをクリックします。
Filters枠の右上に、Keywords枠が表示されます。



この枠内に表示される全てのキーワードは、検出されたサーバーのkeywordsフォルダから読み込まれています

2. 最初のフィールドで、サーバーを選択します。
3. 2番目のフィールドで、選択サーバーのキーワードフォルダを選択します。
4. (オプション)選択サーバー上にキーワードグリッドをアップロードするには、
 - a. **Upload Keyword Grid to a Server**をクリックします。
Keywords Importウィンドウが開きます：





- b. **Browse**をクリックして、インポートするキーワードファイルを選択します。
もし、アップロードするフォルダの名前が同一サーバー内のフォルダと同じである場合、サーバー内の既存のキーワードフォルダはアップロードしたキーワードフォルダにより上書きされます。
 - c. **Import**をクリックして、キーワードファイルをインポートします。
インポートされたキーワードは、独立したフォルダ内に保存されます。
5. グリッドから、アーカイブするクリップをフィルタリングするキーワードをクリックします。
選択したキーワードは、ハイライト表示されます。
 6. Keywords上のフィルタを削除しkeywords枠を隠すには、Filters枠からKeywordsボタンを押します。



4.9.8. Filters Logical Relation(フィルタ間の論理関係)の設定方法

Filters Logical Relationオプションにより、選択した全てのフィルタ間の論理関係の設定が可能です。

- **AND**: 選択した全てのフィルタに一致するクリップが、アーカイブされます。

例

Camera AとRating  を選択した場合、XFile3はCamera AとRating  両方を含むクリップのみをアーカイブします。

- **OR**: 選択した全てのフィルタのいずれかに一致するクリップが、アーカイブされます。

例

Camera AとRating  を選択した場合、XFile3はCamera A、またはRating 、または両方を含むクリップをアーカイブします。



4.10. ジョブのモニタリング

4.10.1. Auto Archiveタブ内のJobs枠

Jobs枠の概要

自動アーカイブルールが作成されると、それはAuto Archiveタブの下部に表示されます。

指定ルールの基準に合う全てのジョブは、処理されるまで、ルール下に表示されます。

ルール行の先頭  をクリックして、ルール用のジョブリストを拡大または、 で折りたたみできます。

Rules	Source	Template Name	Destination	Metadata	From	To	Pref Cam	Camera	Rating	Archive	Keywords	Logical Relation	Actions	Status
Rule 7	XT3 PGE	- MXF OP1a SMPTE	\\XFA242560\AV files							3		And		3 completed jobs / 22 matching jobs
Source	Clip Name	Codec	Destination	Remaining Time	Speed	Status	Actions	Comments						
XT3 PGE 618B	PM LS_pge_IPLink2.3-03	AVC-Intra 100	\\XFA242560\AV files	00:03:33	0.61x		Process ASAP							
XT3 PGE 618A	PM LS_pge_IPLink2.3-02	AVC-Intra 100	\\XFA242560\AV files	00:19:32	0.12x		Process ASAP							
XT3 PGE 619C	PM LS_pge_360608a-01		\\XFA242560\AV files	00:00:00	0.00x		Process ASAP							
XT3 PGE 617K	PM LS_pge_IPLink2.3-00		\\XFA242560\AV files	00:00:00	0.00x		Process ASAP							
XT3 PGE 610H	PM LS_pge_360308a-01		\\XFA242560\AV files	00:00:00	0.00x		Process ASAP							

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、現在のジョブの正確なステータスを示しています。

ジョブが完了すると、Jobs枠から消えます。

Full Packageモードでは、Auto Archiveジョブは、他のタイプのジョブと一緒に、Monitoringタブ内でモニターできます



ジョブステータスカラーコード

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、各ジョブの正確なステータスを示しています。

ステータス	ジョブステータスカラーコード	ジョブステータスアイコン	意味
Waiting			ジョブが作成され、XFile3データベースに保存されています。
Scheduled			ジョブは、Xsquareに送信され、処理をスケジュールされています。
Running			ジョブは実行中です。
Cancelled			ジョブはキャンセルされました。
Failed			ジョブは失敗しました。



カラムの説明

Ruleカラム説明

カラム	説明
Rules	自動インクリメントされた番号で定義されたルールの名前。
Source	ソースとして選択されているサーバーの名前。 各ソース上のツールチップは、詳細情報を表示します。
Template Name	ジョブを処理する選択テンプレートの名前。
Destination	クリップをアーカイブする選択宛先。
Metadata	アーカイブクリップに追加する選択メタデータ値。
From / To	アーカイブするクリップを含む日付と時間の範囲。
Pref Cam	アーカイブするクリップが記録されている選択プリファレンスカメラ。
Camera	アーカイブするクリップが記録されている選択カメラ。 これは、バンク内のクリップ位置に対応します。
Rating	アーカイブするクリップに関連付けられている選択レート(重要度レベル)。
Archive	選択アーカイブフラグ。
Keywords	アーカイブするクリップに関連付けられている選択キーワード。
Logical relation	全ての選択フィルタに適用される論理関係。
Actions	ルール管理用のボタン。
Status	完了したジョブ数と、ルールに一致するジョブの合計数: n 完了ジョブ/n 一致ジョブ。

Jobカラム説明

カラム	説明
Source	アーカイブするクリップのLSM ID、および対応するサーバー名。
Clip Name	アーカイブクリップの名前。
Codec	アーカイブファイルのコーデック
HDR Profile	ファイルのHigh Dynamic Rangeプロファイル。
WCG	ファイルのWide Color Gamutプロファイル。
Destination	アーカイブクリップが保存される宛先。
Remaining Time	各ジョブの処理の残り時間。
Speed	xの倍数で表示される各アーカイブジョブの現在の速度。
State	現在のジョブステータスを表すアイコン。
Actions	ジョブ管理用のボタン。
Comments	XsquareとXFile3からの情報。



4.10.2. ルールの管理

ルールの開始と終了方法

ルールを開始するには、Jobs枠内のActionsカラム内の  をクリックします。
すると、ルール内の全てのキャンセルジョブは、実行中またはスケジュールされます。

ルールを停止するには、Jobs枠内のActionsカラム内の  をクリックします。
すると、ルール内の全ての待機中/実行中/スケジュール中のジョブは、キャンセルされます。

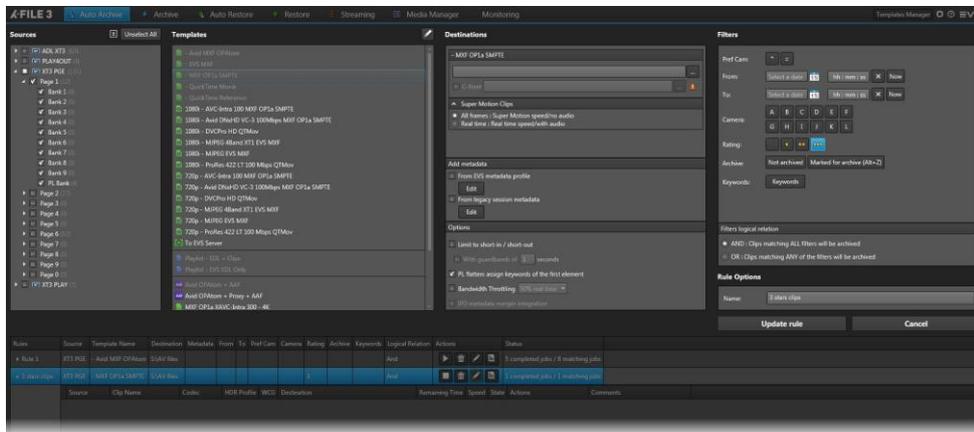
ルールの削除方法

ルールを削除するには、Jobs枠のActionsカラム内の  をクリックします。
すると、ルールと関連する全てジョブは、削除されます。

既存ルールの編集/名前変更方法

ルールを削除して新しいルールを作成する代わりに、既存のルールを編集できます。
ルールを編集するには、以下を行います：

- Jobs枠のActionsカラム内の  をクリックします。
ルールが、タブの上部にロードされます。



- 必要な項目を編集します。
- Update the Ruleをクリックして変更を保存するか、Cancelで破棄します。



ルールの複製方法

ルールを複製するには、

- Jobs枠のActionsカラム内の  をクリックします。
ルールが、すぐに、複製されます。
名前に、**Copy** が追加されます。

Rules	Source	Template Name	Destination	Metadata	From	To	Pref Cam
▶ Rule 1	XT3 PGE	- Avid MXF OPAtom	S:\AV files				
▶ 3 stars clips	XT3 PGE	- MXF OP1a SMPTE	S:\AV files				
▶ Rule 1 - Copy	XT3 PGE	- Avid MXF OPAtom	S:\AV files				
▶ 3 stars clips - Copy	XT3 PGE	- MXF OP1a SMPTE	S:\AV files				

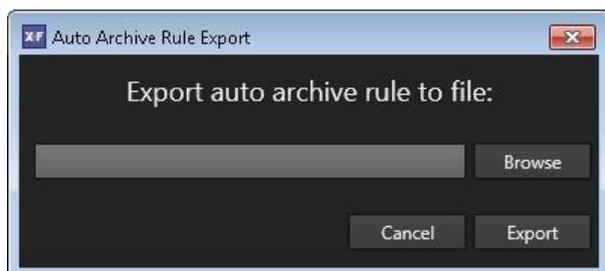
ルールの新しいコピーは、デフォルトで停止しています。

ルールのエクスポート方法

Full Packageモードでは、一度に複数ルールのエクスポートが可能です。

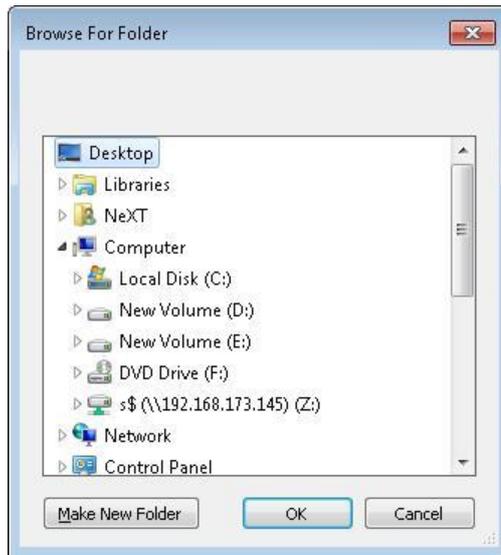
ルールをエクスポートするには、

1. Jobs枠から、エクスポートするルールを選択します。
2. Jobs枠の左上の**Export Rule**をクリックします。
Auto Archive Rule Exportウィンドウが開きます。

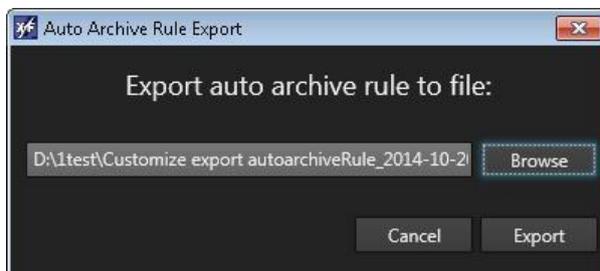




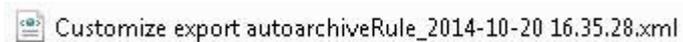
3. **Browse**をクリックします。
Browse For Folderウィンドウが開きます。



4. ルールをエクスポートする宛先を選択します。
5. **OK**をクリックします。
6. Auto Archive Rule Exportウィンドウで、**Export**をクリックします。



1つのルールが、排他的に、1つのエクスポートファイルに対応します。
もし、複数のルールを選択したら、対応する複数ファイルがエクスポートされます。



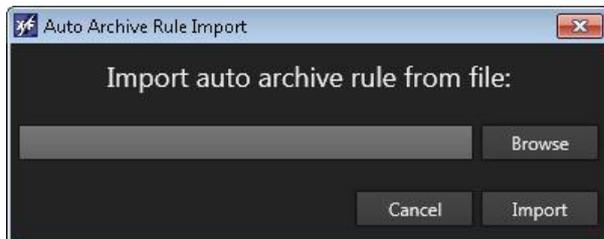
ルールのインポート方法

Full Packageモードでは、一度に1つのルールのみをインポート可能です。

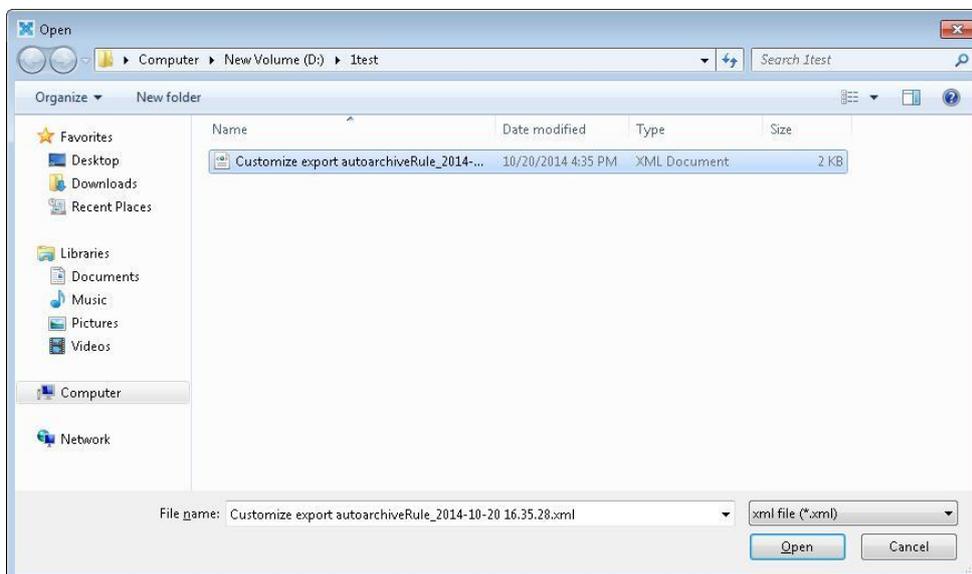
ルールをインポートするには、

1. **Import Rule**をクリックします。

Auto Archive Rule Importウィンドウが開きます。



2. **Browse**をクリックして、インポートするルールを選択します。



3. Auto Archive Rule Importウィンドウから、**Import**をクリックします。



インポートされたルールは、一時停止しています。



5. Archive(アーカイブ)ジョブの作成と適用

5.1. Archiveタブの概要

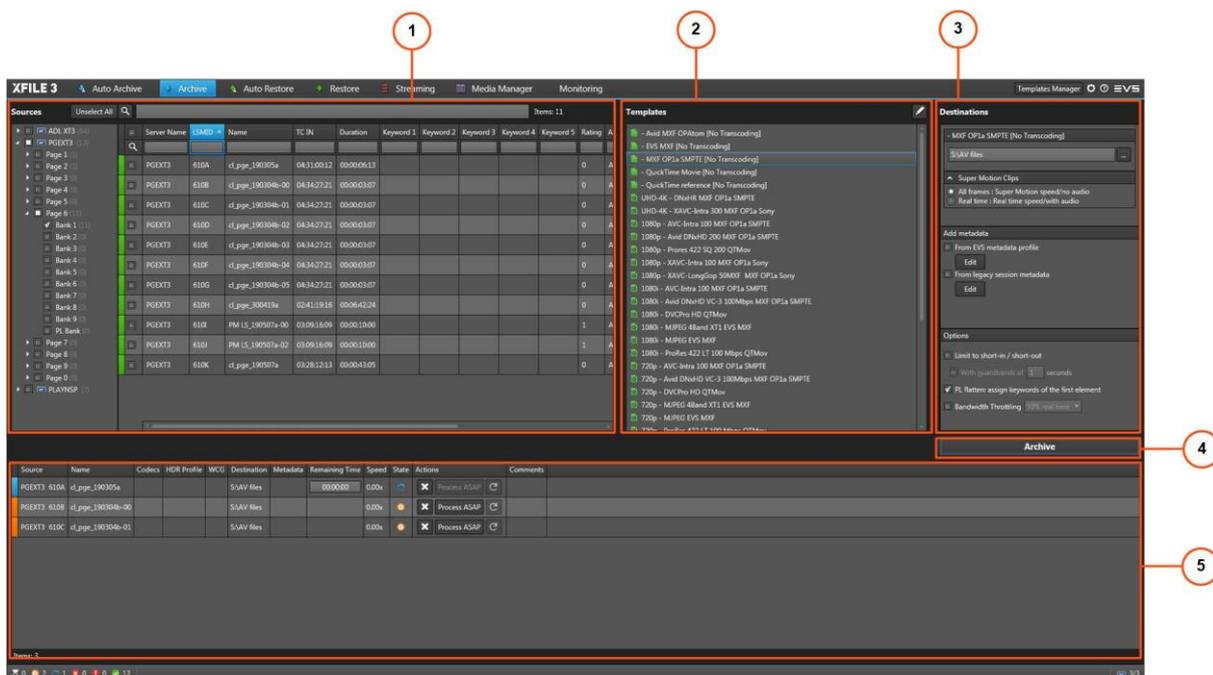
目的

Archiveタブは、指定EVSビデオサーバーから、事前設定した宛先に指定フォーマットで、手動でのクリップやプレイリストのアーカイブに使用します。

C-Next Contributionモードがオンの時、遠隔宛先が使用可能です。



Archiveタブには、以下のスクリーンショットにハイライト表示されているエリアがあります：





エリアの説明

Sources 枠 (1)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブ内で選択された全てのサーバーを表示します。
サーバー構造 (ページ/バンク/PLバンクを含む)も表示されます。

Templates 枠 (2)

このエリアは、Xsquareから利用可能なテンプレートが表示されます。

Destinations 枠 (3)

このエリアでは、クリップ/プレイリストがアーカイブされる宛先を選択します。
ここで、Supermotion Clipsパラメータの設定、メタデータ設定、setオプションの設定を行います。

Archiveボタン (4)

このボタンは、アーカイブジョブの作成に使用します。

ジョブ枠 (5)

このエリアには、作成した全てのジョブが表示されます。



5.2. メディアのアーカイブのステップ

クリップのアーカイブ方法

クリップをアーカイブするには、

1. Sources枠から、
 - a. アーカイブするクリップが保存されているソースEVSサーバー、ページ/バンクを選択します。
 - b. メディアグリッドからアーカイブするクリップを選択します。
2. Templates枠から、XsquareIにより実行されるジョブプロセスを指定するジョブテンプレートを選択します
3. Destinations枠から、クリップ/プレイリストがアーカイブされる場所を指定する宛先を選択します。



注意

宛先パスは、後で別のテンプレートを選択しても、保持されます。

4. (オプション) Supermotion Clipsパラメータを設定します。
5. (オプション) アーカイブクリップに割り当てるメタデータを設定します。
6. (オプション) IN点とOUT点間のみをアーカイブするか、新しいガードバンドを設定するか、プレイリストファイルにキーワードを割り当てるか、のオプションを設定します。
7. **Archive**ボタンをクリックします。

全てのジョブが作成され、Jobs枠内に表示されます。



プレイリストのアーカイブ方法

XFile3は、ローカルクリップとネットワーククリップの両方が含まれているプレイリストのアーカイブが可能です。

プレイリストをアーカイブするには、

1. Sources枠から、
 - a. アーカイブするプレイリストが保存されているソースPLバンクを選択します。
 - b. メディアグリッドから、アーカイブするプレイリストを選択します。
2. Templates枠から、XsquareIにより実行されるジョブプロセスを指定するジョブテンプレートを選択します
3. Destinations枠から、プレイリストがアーカイブされる場所を指定する宛先を選択します。
4. (オプション) アーカイブプレイリストに割り当てるメタデータを設定します。
5. (オプション) フラットプレイリストファイルに、INポイントとOUTポイント間のみアーカイブする、新しいガードバンドを設定する、キーワードを割り当てる、オプションを設定します。
6. **Archive**ボタンをクリックします。。

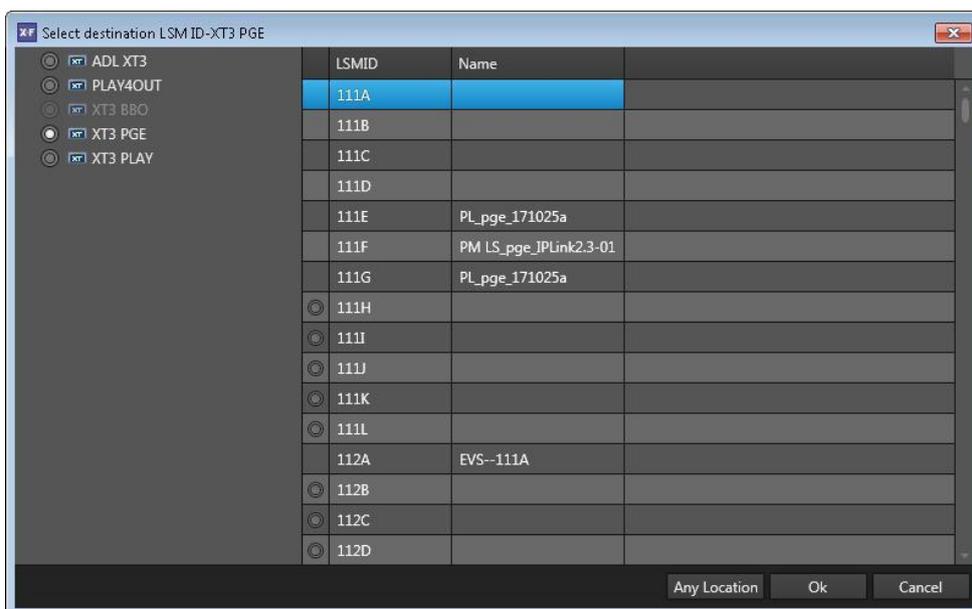
全てのジョブが作成され、Jobs枠内に表示されます。



1台のサーバーから別のサーバーにメディアをアーカイブする方法

1台のサーバーから別のサーバーにメディアをアーカイブするには、

1. Sources枠から、
 - a. アーカイブするメディアが保存されているソースEVSサーバー、ページ/バンクを選択します。
 - b. メディアグリッドから、アーカイブするメディアを選択します。
2. Templates枠から、**To EVS Server**テンプレートを選択します。
Select Destinationウィンドウが開きます：



3. ウィンドウの左側の対応するラジオボタンをクリックして、メディアをアーカイブするEVSサーバーを選択します

○ ウィンドウの右側のラジオボタンをクリックして、EVSサーバー内の宛先位置を選択し、OKをクリックします。

選択された位置は、クリップ/プレイリストのアーカイブ用の開始位置として考慮されます。

- 宛先位置を選択せず、**Any Location**をクリックします。

宛先EVSサーバー内の使用可能な最初の位置が、クリップ/プレイリストのアーカイブ用の開始位置として考慮されます。

4. **Archive**ボタンをクリックします。



5.3. メディアソースの選択

5.3.1. Sources枠の概要

ServerName	LSMID	Name	TC IN	Duration	Keyword1	Keyword2	Keyword3	Keyword4	Keyword5	Rating
170xx*	211A	REC2	11-20-2014 22:43:59;28	00:00:10;00						0
170xx*	211B	REC2	11-20-2014 22:43:59;28	00:00:10;00						0
170xx*	211C	REC2	11-20-2014 22:43:59;28	00:00:10;00						0
170xx*	211D	REC2	11-20-2014 22:43:59;28	00:00:10;00						0
170xx*	212A	lly	11-12-2014 16:50:24;09	00:00:02;21						0
170xx*	611B	\$c5XpsEV	08-21-2014 14:57:48;08	00:00:05;00						0
170xx*	611D	1111111111	01-07-2015 23:39:38;00	00:01:08;23	vw	v	b	n	c	2
170xx*	644A	DouDiZhu	10-20-2014 21:28:39;00	00:00:10;00						0
170xx*	644B	DouDiZhu	10-20-2014 21:28:29;00	00:00:10;00						0
170xx*	644C	DouDiZhu	10-20-2014 21:28:19;00	00:00:10;00						0
170xx*	644D	DouDiZhu	10-20-2014 17:11:39;00	00:00:10;00						0
170xx*	644E	DouDiZhu	10-20-2014 21:27:59;00	00:00:09;28						0
170xx*	644F	DouDiZhu	10-20-2014 21:27:49;00	00:00:10;00						0
170xx*	645A	DouDiZhu	10-20-2014 21:27:39;00	00:00:10;00						0

サーバーリスト

Source枠の左枠は、Settings > Server Discoveryタブ内で選択された全てのサーバーとサーバー構造（ページ/バンク/PLバンクを含む）を表示します。

ここに表示されるサーバー名は、サーバーのSDTIネットワーク名です。
 しかし、サーバー名が空白の場合には、サーバーのシリアル番号が代わりに表示されます。

クリップの合計数は、各サーバー名/ページ/バンク横に、カッコくりで表示されます。

プレイリストの合計数は、PLバンク横に、カッコくりで表示されます。



メディアグリッド

Sources 枠の右枠は、サーバーリスト内で選択したサーバー/バンク/ページに保存されているメディア(クリップ/プレイリスト)が表示されます。

グリッド内では、素材は行内に提示され、全ての関連するパラメータとメタデータはカラム内にあります。

各メディアラインの頭のカラーコードは、クリップアーカイブステータスの指標を提供します。

カラーコード				クリップアーカイブステータス
	XT3 PGE	611H	cl_pge_150	アーカイブされていません
	XT3 PGE	611J	PM LS_pge_1	アーカイブ処理待ち
	XT3 PGE	611B	cl_pge_1509	アーカイブ済み



5.3.2. アーカイブするクリップ/プレイリストの選択

1. サーバーリストから、次のいずれかの方法で、クリップ/プレイリストをアーカイブする元のソースを選択します:

- 全てのサーバーの全てのページ(とバンク):
Select Allをクリックして全てのサーバーを選択、
または、Unselect Allで選択をキャンセル。
- 1台のサーバーの全てのページ(とバンク): サーバー横のチェックボックスを選択。
- 1つのページの全てのバンク: ページ横のチェックボックスを選択。
- 個々のバンク: バンク横のチェックボックスを選択。
メディアリストは、選択したサーバー/バンク/ページからクリップ/プレイリストを表示します。

2. メディアグリッドから、行の先頭にあるチェックボックスを選択して、対応するクリップやプレイリストを選択します

<input type="checkbox"/>	Server Name	LSMID	Name	TC IN	Duration	Keyword 1	Keyword 2	Keywo
<input type="checkbox"/>	XT3 PGE	PL 10	PL_pge_151006a		00:01:01:21			
<input checked="" type="checkbox"/>	XT3 PGE	PL 15	PL_pge_151112a		00:04:11:01			
<input type="checkbox"/>	XT3 PGE	PL 16	PL_pge_151118a		N/A			
<input type="checkbox"/>	XT3 PGE	PL 17	PL_pge_151118a		00:00:53:11			
<input type="checkbox"/>	XT3 PGE	PL 18	PL_pge_160113a		00:01:16:19			

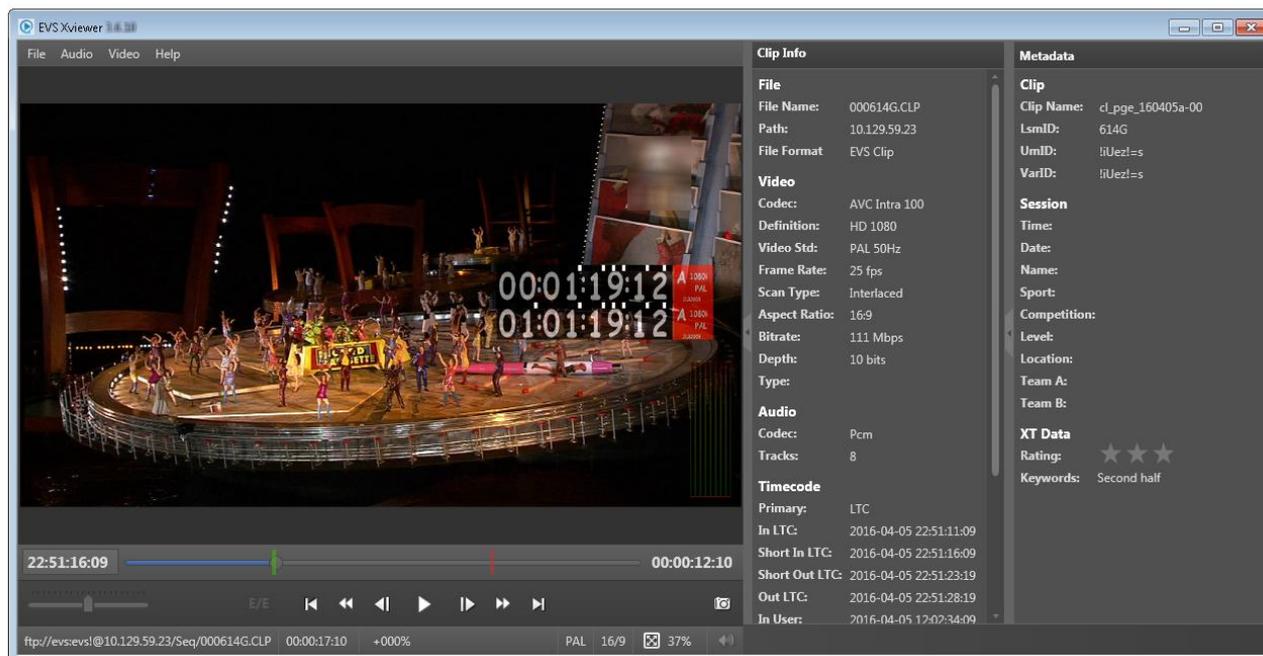


5.3.3. クリップ/ファイルのプレビュー

メディアグリッド内の素材を右クリックすると、コンテキストメニューが利用可能です。

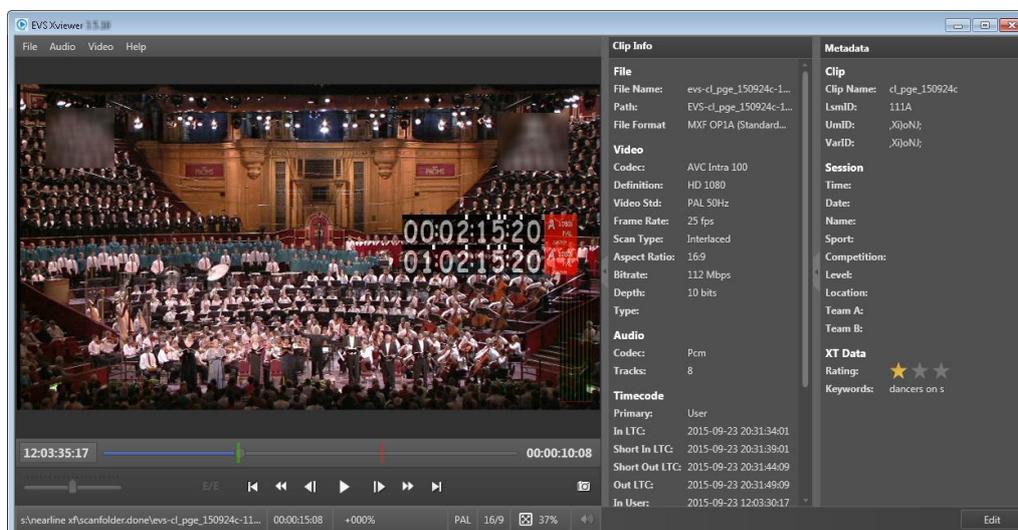
Preview XT Clip

このオプションでは、EVS XViewerウィンドウ内でXTクリップのプレビューが可能です。同時に、最大4つのXViewerウィンドウを開くことが可能です。



Preview File

このオプションは、クリップがディスクにアーカイブされている場合のみ有効で、XFile3と一緒にインストールされているXViewerアプリケーションを開き、選択ファイルをプレビューし、品質のコントロールが可能です。



同時に、最大4つのXViewerウィンドウを開くことが可能です。



Open File Location

このオプションは、クリップがディスクにアーカイブされている場合のみ、使用可能です。
これは、ファイルが保存されているドライブフォルダの内容のエクスプローラウィンドウを開きます。
Open File Locationオプションのツールチップには、ファイルの格納場所へのパスを提供します。



5.4. ジョブTemplate(テンプレート)の選択

Templates枠は、Template Managerツールで選択したテンプレートのリストを表示します。

この枠から、Xsquareで実行されるジョブプロセスを指定するジョブテンプレートを選択します。

Auto ArchhiveタブのSource枠で選択した素材のタイプ(クリップ/プレイリスト)に従い、使用可能テンプレートのリストは、選択した素材タイプに適用できるテンプレートのみ制限されます。



5.5. Destination(宛先)パスの選択

概要

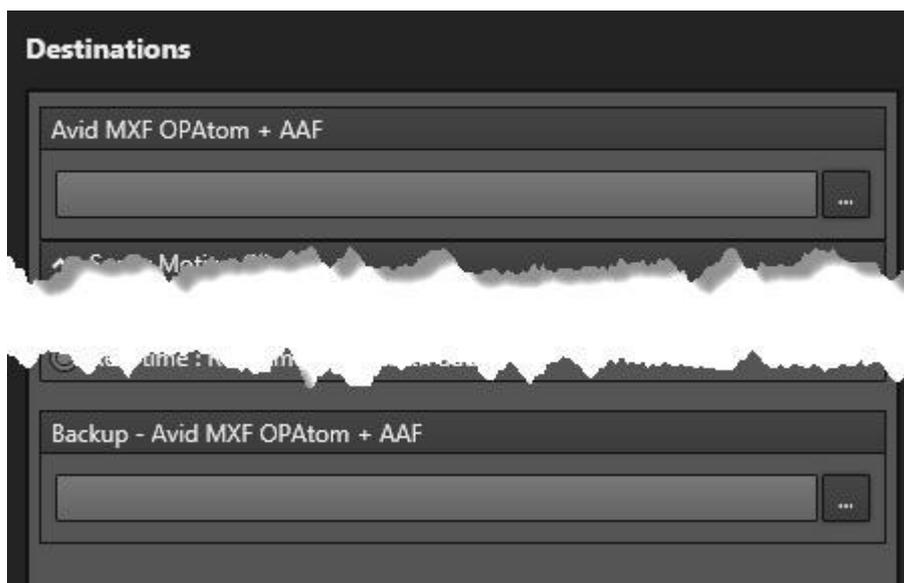
クリップ/プレイリストがアーカイブされる宛先パスは、Destinations枠内のDestinationフィールドで設定します。

ファイルは、共有フォルダのみに保存することができます。



Template枠内で選択したテンプレートのラッパータイプが、Destinationフィールド上に表示されます。

Template枠内で選択したテンプレートが複数の宛先にファイルをバックアップするように設定されている場合には、Destinations枠内に、複数のDestinationフィールドが表示されます：

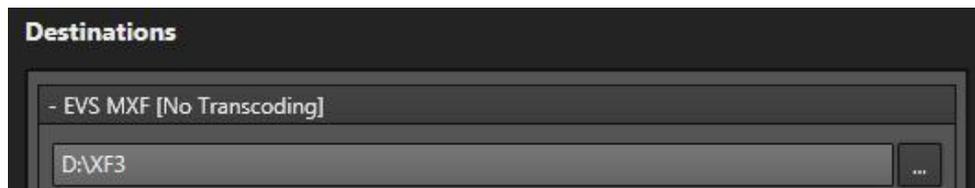




メディアをアーカイブするDestinationパスの設定方法

メディアアーカイブ用のローカル宛先を設定するには、

1. Destinationフィールド横のBrowseボタン  をクリックします。
2. 選択する宛先フォルダにブラウズします。
3. OKをクリックします。



注意

Destinationフィールド内にパスを手動で入力、または、コピー/ペーストコマンドも使用できます。パスが有効でなければ、メッセージで警告されます。

もし、選択したテンプレートが、複数宛先用のテンプレートであれば、

4. ステップ 1 ~ 3 を繰り返します。



'To EVS Server'テンプレートでのDestinationパスの設定方法

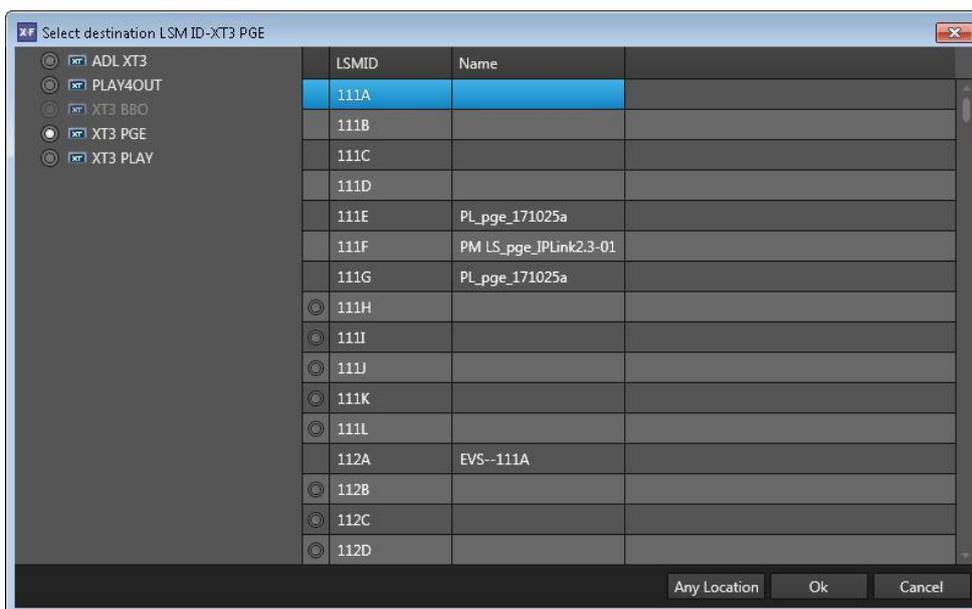
1. Destinationsフィールドの横のBrowseボタン  をクリックします。

Select Destinationウィンドウが開きます。

2. ウィンドウの左側で対応するラジオボタンをクリックして、クリップ/プレイリストをアーカイブするEVSサーバーを選択します。

選択したEVSサーバー上の全ての位置が、ウィンドウの右側に表示されます。

フリー(空)位置の左側に、ラジオボタンが表示されます。



3. 次のいずれかを行います:

- ウィンドウの右側でラジオボタンをクリックして、EVSサーバー内の宛先位置を選択し、OKをクリックします。

選択位置は、クリップのアーカイブの開始位置として考慮されます。

- 宛先位置を選択せず、Any Locationをクリックします。

宛先EVSサーバー内の最初の使用可能(空)位置が、クリップのアーカイブの開始位置として考慮されます。

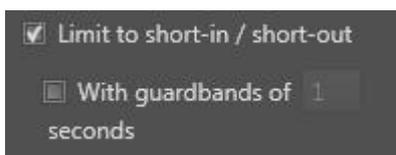


5.6. アーカイブオプションの設定

Limit to short-in/short-out



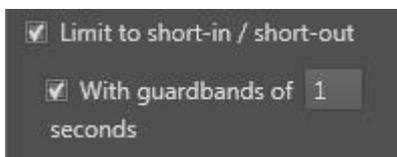
Limit to short-in/short-out



このオプションは、アーカイブクリップの範囲を、IN点(Short IN)からOUT点(Short OUT)に制限し、これはガードバンドなしを意味します。

このオプションをクリアすると、クリップは元のガードバンドを含んでアーカイブされます。

With guardbands



このオプションは、アーカイブクリップ用の新しいガードバンドの設定に使用し、十分な映像を提供します。

例：アーカイブクリップの元のガードバンドが5秒で、10秒のガードバンド値を設定したら、XFile3は有効なガードバンド値として5秒を取得します。

もし、アーカイブクリップの元のガードバンドが15秒で、10秒のガードバンド値を設定したら、XFile3はガードバンド値として10秒を取得します。

有効なガードバンド値： 1s ~ 60s.



PL flatten: assign keywords of the first element

このオプションを選択すると、最初のプレイリスト素材のキーワードが、プレイリストアーカイブで作成されたフラットファイルに割り当てられます。

Bandwidth Throttling

このオプションは、ネットワーク帯域幅/ジョブの使用を制限するために使用します。

デフォルトでは、このオプションはオフになっています。

可能な値:

50%リアルタイム、75%リアルタイム、100%リアルタイム、125%リアルタイム、
150%リアルタイム、200%リアルタイム、300%リアルタイム、400%リアルタイム



5.7. ジョブのモニタリング

アーカイブジョブを設定し、Archiveボタンをクリックすると、すぐに、アーカイブジョブは、実行されるまで Archiveタブの下部に表示されます。

Source	Name	Codec	Destination	Metadata	Remaining Time	Speed	Status	Actions	Comments
XT3 PGE 610F	d_pge_160330a	AVC-Intra 100	\\XFA242560\AV files		00:00:01	5.41x		Process ASAP	
XT3 PGE 610K	d_pge_160330b		\\XFA242560\AV files		00:00:00	0.00x		Process ASAP	
XT3 PGE 614F	d_pge_160404a		\\XFA242560\AV files		00:00:00	0.00x		Process ASAP	

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、現在のジョブの正確なステータスを示しています。

ジョブが完了すると、Jobs枠から消えます。

Auto Archiveジョブも、他のタイプのジョブと一緒に、Monitoringタブからモニタリングできます。

ジョブステータスカラーコード

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、各ジョブの正確なステータスを示しています。

ステータス	ジョブステータスカラーコード	ジョブステータスアイコン	意味
Waiting			ジョブが作成され、XFile3データベースに保存されています。
Scheduled			ジョブは、Xsquareに送信され、処理をスケジュールされています。
Running			ジョブは実行中です。
Cancelled			ジョブはキャンセルされました。
Failed			ジョブは失敗しました。



ジョブカラム説明

カラム	説明
Source	アーカイブするクリップのLSM ID、および対応するサーバー名。
Clip Name	アーカイブクリップの名前。
Codec	アーカイブファイルのコーデック
HDR Profile	ファイルのHigh Dynamic Rangeプロファイル。
WCG	ファイルのWide Color Gamutプロファイル。
Destination	アーカイブクリップが保存される宛先。
Remaining Time	各ジョブの処理の残り時間。
Speed	xの倍数で表示される各アーカイブジョブの現在の速度。
State	現在のジョブステータスを表すアイコン。
Actions	ジョブ管理用のボタン。
Comments	XsquareとXFile3からの情報。



6. Auto Restore Rules(自動リストアルール)の作成と適用

6.1. Auto Restoreタブの概要

目的

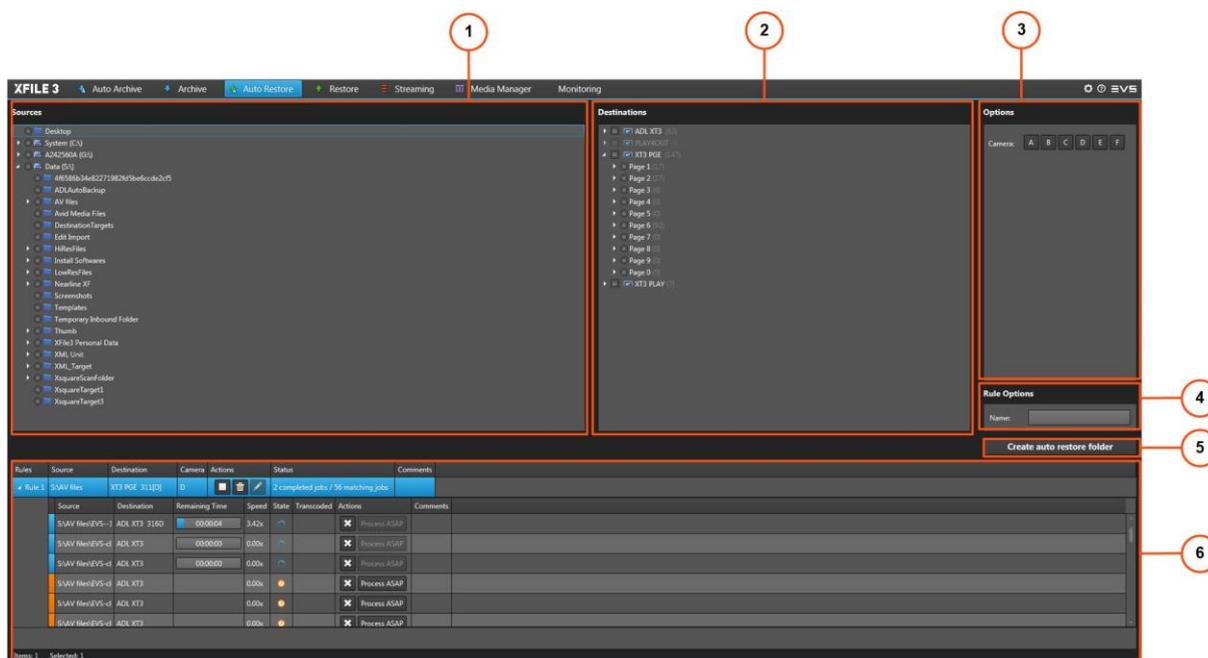
Auto Restoreタブは、ローカルハードドライブ/フォルダからEVSビデオサーバーへの、アーカイブクリップの自動リストア用のルール作成に使用します。

ルール内に特定のフィルタを設定して、リストアするクリップのリストを絞り込みます。

C-Next Contributionモードをオンにすると、遠隔宛先を使用可能になります。



Auto Restoreタブは、以下のスクリーンショット上にハイライト表示されているエリアを含んでいます：





エリア説明

Sources 枠 (1)

このエリアは、クリップがリストアップ可能な全ての位置を表示します：

- 全ての検出されたハードドライブ(ローカルパス、フォルダとサブフォルダを含む)

Destinations 枠 (2)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブで選択した全てのサーバーを表示します。
(クリップ構造、ページとバンクを含む)

このエリアで、クリップがリストアップされる先を選択します。

Options 枠 (3)

このエリアは、カメラまたは、(ネットワークドライブを選択しているなら)ネットワークドライブの資格情報を表示します。

Rule Options (4)

ルールへのカスタマイズ名の付加に、Nameフィールドを使用します。

Create Auto Restore Folder ボタン (5)

このボタンは、自動リストアップルール作成に使用します。

ジョブ枠 (6)

このエリアは、全ての作成したジョブとそのステータスを表示します。



6.2. 自動リストアルール作成のステップ

自動リストアフォルダを作成するには、

1. Sources枠から、リストアするクリップが保存されているソースフォルダを選択します。
2. Destinations枠から、宛先サーバー位置を選択して、クリップをどこにリストアするかを指定します。
3. (オプション) リストアするクリップの一覧を絞り込むために、適用するフィルタを設定します。
4. もし、選択したソースがネットワークドライブなら、ネットワークドライブの資格情報を入力します。
5. (オプション) Rule Options / Nameフィールド内に、自動リストアルールの名前を入力します。
(最大 36 文字)
6. **Create auto restore folder**ボタンをクリックします。

全てのジョブは、Jobs枠内に表示されます。

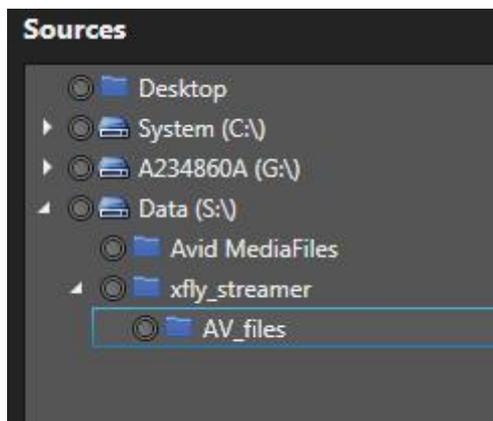


6.3. リストア用のフォルダソースの選択

Sources枠の概要

Sources枠は、全ての検出されたローカルパスとハードドライブ(モバイルハードドライブ/フォルダ/サブフォルダを含む)を表示し、ここからクリップをリストアします。

マップドライブも、表示されます。



ソースの選択方法

クリップをリストアするソースを選択するには、

1. (オプション) 右クリックしてフォルダのコンテンツをチェックし、コンテキストメニューから **Open in New Window** を選択します。

エクスプローラウィンドウが開き、フォルダの内容を表示します。

2. 各ドライブまたはフォルダの横のラジオボタンをチェックします。
リストアフォルダとして使用できるのは、同時に、1つしか選択できません。

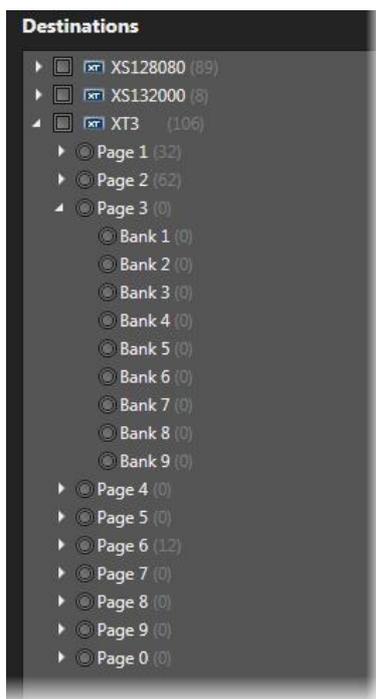
6.4. Destination(宛先)サーバー位置の選択

Destinations枠の概要

Destinations枠は、Settings > Server Discoveryタブで選択した全てのサーバーを表示します。
(クリップ構造、ページとバンクを含む: クリップが保存される)

ここに表示されるサーバー名は、サーバーのSDTIネットワーク名です。
しかし、もし、サーバー名が空白のままなら、代わりにサーバーのシリアル番号が表示されます。

クリップの総数は、各サーバー名/ページ/バンクの横にカッコくりに表示されます。



EVSDビデオサーバー上のクリップ番号付け体系の理解

Multicamは、1台のEVSDビデオサーバー上で、(カメラアングルの数を乗じた)最大900クリップを保存できます。

- 全てのサーバーには、10ページ(0-9)あります。
- 全てのページには、9バンク(1-9)あります。
- 各バンクには、10クリップ位置(1-9)あります。
- EVSサーバーが6チャンネルモードで動作する場合、最大6カメラアングル/クリップを持つ900クリップを保存可能です(結果1台のEVSDビデオサーバー上に5400クリップ)。

EVSサーバーが12チャンネルモードで動作する場合、最大12カメラアングル/クリップを持つ900クリップを保存可能です(結果1台のEVSDビデオサーバー上に10800クリップ)。



宛先の選択方法

クリップをリストアする宛先を選択するには、

- サーバー横のチェックボックス、ページ/バンクの横のラジオボタンをチェックします。

XFile3は、最初の使用可能位置から、リストアします。

複数の位置を選択できますが、その選択位置は異なるEVSビデオサーバー上でなければなりません。

全ての選択クリップは、全ての選択サーバー上に、それぞれの、最初に使用可能な位置から、リストアされます。



6.5. リストアするクリップ選択用のフィルタの設定

Options 枠は、カメラ位置に基づいてリストアするクリップを選択可能にするCameraフィルタを提供します

Multicam 14以降、最大12チャンネルが使用可能です(文字A~Lに対応)。

デフォルトでは、カメラ A、B、C、Dが選択されています。



フィルタ条件を設定/解除するには

- 対応するCameraボタンをクリックします。

例: Aボタンをクリックすると、Aクリップとして保存されたクリップをリストアします。



6.6. ネットワークドライブの資格証明の設定

リストアするクリップがネットワークドライブ上にある場合、確認用にNetwork Drive Credential枠が表示されます。

ネットワークドライブの資格情報を確認するには、

1. ローカルコンピュータ上に、ネットワークドライブをマップします。
2. ネットワークドライブを選択し、Network Drive Credential枠を表示させます。
3. 正しいユーザ名とパスワードを入力します。

Network drive credentials

User Name: Admin

Password: ●●●●●●●

ユーザ名またはパスワードが間違っている場合には、自動リストアフォルダが起動できません。



6.7. ジョブのモニタリング

6.7.1. Auto Restoreタブ内のJobs枠

Jobs枠の概要

自動リストアールールが作成されると、それはAuto Restoreタブの下部に表示されます。

設定ルールの基準に合う全てのジョブは、実行されるまでルールの下に表示されます。

ルール行の先頭  をクリックして、ルール用のジョブリストを拡大または、 で折りたたみできます。

Rules	Source	Destination	Camera	Actions	Status	Comments		
Rule 39	s:\xfly_streamer\av_files	XT3	311[AB]	A,B		0 completed jobs / 10 matching jobs		
	Source	Destination	Remaining Time	Speed	Status	Transcoded	Actions	Comments
	s:\xfly_streamer\av			0.00x			Process ASAP	Created XSquare job ok.
	s:\xfly_streamer\av			0.00x			Process ASAP	Created XSquare job ok.
	s:\xfly_streamer\av			0.00x			Process ASAP	Created XSquare job ok.
	s:\xfly_streamer\av			0.00x			Process ASAP	Created XSquare job ok.
	s:\xfly_streamer\av			0.00x			Process ASAP	Created XSquare job ok.
	s:\xfly_streamer\av			0.00x			Process ASAP	Created XSquare job ok.

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、現在のジョブの正確なステータスを示しています。

ジョブが完了すると、Jobs枠から消えます。

Auto Restoreジョブも、他のタイプのジョブと一緒に、Monitoringタブからモニタリングできます。

ジョブステータスカラーコード

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、各ジョブの正確なステータスを示しています。

ステータス	ジョブステータスカラーコード	ジョブステータスアイコン	意味
Waiting			ジョブが作成され、XFile3データベースに保存されています。
Scheduled			ジョブは、Xsquareに送信され、処理をスケジュールされています。
Running			ジョブは実行中です。
Cancelled			ジョブはキャンセルされました。
Failed			ジョブは失敗しました。



カラムの説明

Ruleカラム説明

カラム	説明
Rules	自動インクリメントされた番号で定義されたルールの名前。
Source	リストアするクリップが保存されているパス。
Destination	クリップをリストアする選択EVSVideoサーバー位置。
Camera	クリップをリストアするバンク位置を設定するフィルタ。
Actions	ルール管理用のボタン。
Status	完了したジョブ数と、ルールに一致するジョブの合計数: n 完了ジョブ/n 一致ジョブ。
Comments	XsquareとXFile3からの情報。

Jobカラム説明

カラム	説明
Source	クリップが保存されているパスとフォルダ名。
Destination	クリップをリストアするEVSVideoサーバーの宛先位置。
Remaining Time	各ジョブの処理の残り時間。
Speed	xの倍数で表示される各リストアジョブの現在の速度。
Status	現在のジョブステータスを表すアイコン。
Transcoded	リストアされたクリップのトランスコードステータス。  <ul style="list-style-type: none"> ・ アイコン付き  : クリップがトランスコードされています。 ・ アイコンなし: クリップがトランスコードされていません。
Actions	ジョブ管理用のボタン。
Comments	XsquareとXFile3からの情報。



6.7.2. ルールの管理

ルールの開始と終了方法

ルールを開始するには、Jobs枠のActionsカラム内の  をクリックします。
すると、ルール内の全てのキャンセルジョブは、実行中またはスケジュールされます。

ルールを停止するには、Jobs枠のActionsカラム内の  をクリックします。
すると、ルール内の全ての待機中/実行中/スケジュール中のジョブは、キャンセルされます。

ルールの削除方法

ルールを削除するには、Jobs枠のActionsカラム内の  をクリックします。
すると、ルールと関連する全てジョブは、削除されます。

既存ルールの編集/名前変更方法

ルールを削除して新しいルールを作成する代わりに、既存のルールを編集できます。

ルールを編集するには、以下を行います：

- Jobs枠のActionsカラム内の  をクリックします。
ルールが、タブの上部にロードされます。
- 必要な項目を編集します。
- pdape the Rule**をクリックして変更を保存するか、**Cancel**で破棄します。



7. Restore(リストア)ジョブの作成と適用

7.1. Restoreタブの概要

目的

Restoreタブは、選択したハードドライブ/ローカルフォルダから、ネットワーク上のEVSEビデオサーバーの選択位置へ、クリップ/プレイリストを、手動でのリストアに使用します。

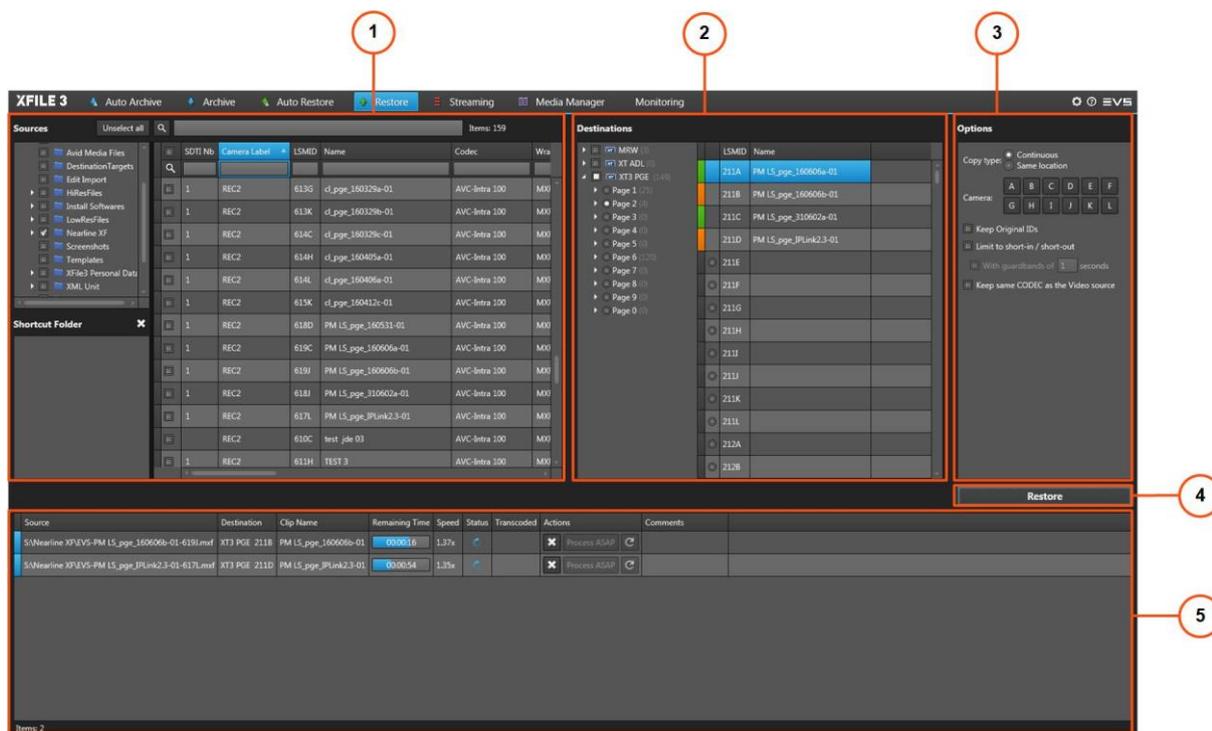
C-Next Contributionモードをオンにすると、遠隔位置を使用可能になります。

XFile3の使用は、ライセンスキー 10-30がXSecureにインポートされると、Auto ArchiveとManual Restoreに制限されます。

この場合には、Full Packageモードのいくつかの機能は、Restoreタブから使用できません。



XFile3がFull Packageモードで起動すると、Restoreタブは、以下のスクリーンショット上にハイライト表示されているエリアを含んでいます：





エリア説明

Sources 枠 (1)

このエリアは、ここからクリップがリストアされる全ての位置を表示します:

検出されたハードドライブ、選択位置内にあるローカルパス/フォルダ/サブフォルダ/クリップを含む。

ユーザは、Shortcut Folderエリアから、通常使用するフォルダへのショートカットを設定できます。

Destinations 枠 (2)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブで選択した全てのサーバーを表示します。

このエリアから、クリップのリストア先を選択します。

Full Packageモードでは、サーバー構造 (ページ/バンク/全てのクリップのメタデータ)も表示されます。

Options 枠 (3)

このエリアは、いくつかのオプション: copy type、camera、keep original IDs、Limit to short-in/out assign keywords to flattened playlist を提供します。

Restoreボタン (4)

このボタンは、リストアジョブ作成に使用します。

ジョブ枠 (5)

このエリアには、作成したすべてのジョブとステータスを表示します。



7.2. クリップのリストアのステップ

クリップをリストアするには、

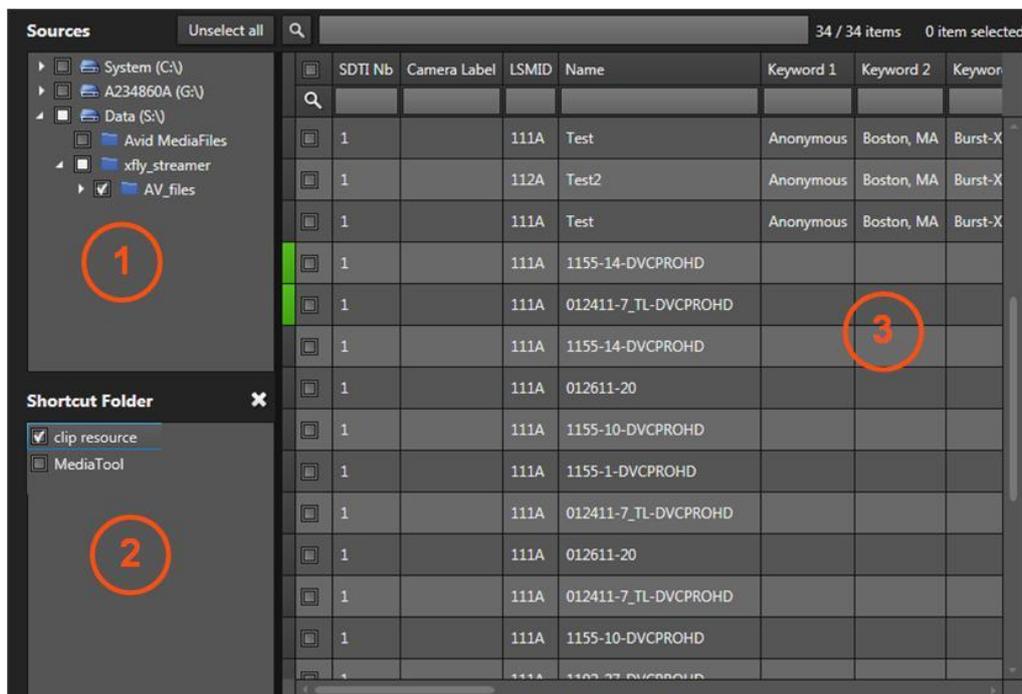
1. Sources枠から、
 - a. リストアするクリップが保存されているパス、またはドライブを選択します。
 - b. Mediaグリッドから、リストアするクリップを選択します。
2. Destinations枠から、
 - a. クリップをリストアするサーバーを選択します。
 - b. (オプション) もし、1台のサーバーを選択した場合は、クリップのリストア用の開始位置として考慮される宛先位置を選択します。
クリップのリストア用に複数のサーバーを選択した場合には、これは許可されていません。
3. (オプション) Copy Typeを選択します。
4. (オプション) リストアするクリップの一覧の絞り込みに適用するCameraフィルタを設定します。
5. (オプション) オリジナルID保持、IN点とOUT点間のみリストア、新しいガードバンドの設定、同じコーデックの保持、のオプションを設定します。
6. **Restore**をクリックします。

全てのジョブが作成され、Jobs枠内に表示されます。



7.3. メディアソースの選択

7.3.1. Sources枠の概要





エリア説明

Drives / Locations List (1)

Sources 枠の上左枠は、全ての検出したローカルパスとハードドライブ(フォルダとサブフォルダ)を表示し、ここからクリップはリストアされます。

Shortcut Folder エリア (2)

Sources 枠の下左枠は、頻繁に使用する Sources フォルダへのショートカットを設定できます。

Media Grid (3)

Sources 枠の右枠は、Drives list 内で選択したフォルダ内に保存されているクリップを表示します。

グリッド内では、素材が行で、全ての関連するパラメータ/メタデータが列で表示されます。

グリッドの右上には、情報が表示されます:

5400+ / 56868 items

これは、“ドライブやフォルダ内の検索クリップ数”/“全ての検出されたハードドライブ内のクリップの合計数”を表します。

XFile3 は、最大5400クリップまでのみ表示可能です。

クリップの数が5400を超えたら、XFile3は **5400+** を表示します。

各メディアの行の先頭のカラーコードは、クリップリストアステータスに関する指標を与えます。

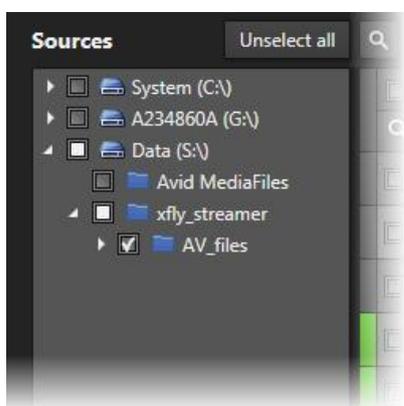
カラーコード	クリップリストアステータス
 1 REC1 611C cl_pge_	リストアされていません
 1 111A 012411	リストア処理待ち
 1 REC1 611G cl_pge_	リストア済み



7.3.2. リストアするクリップの選択

リストアしたいソースクリップを選択するには、

1. (オプション) Drives list内で、フォルダのコンテンツを右クリックしてチェックし、コンテキストメニューから **Open in New Window** を選択します。
 エクスプローラウィンドウが開き、フォルダの内容を表示します。
2. Drives / Locations listから、以下のいずれかで、クリップをリストアしたいソースを選択します：
 - ドライブ/フォルダ横のチェックボックスを選択します。
 これは、フォルダと全てのサブフォルダ(もしあれば)を選択します。
 - 複数ドライブ/フォルダを選択します。
 - **Unselect All** をクリックすると、選択解除します。



メディアグリッドは、選択ドライブとフォルダ内のクリップを表示します。

3. メディアグリッドから、ラインの頭のチェックボックスを選択して、対応するクリップを選択します。

<input type="checkbox"/>	SDTI Nb	Camera Label	LSMID	Name	Keyword 1	Keyword 2	Keyword 3	K
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	1	REC1	111A	cl_pge_150924i-00				
<input type="checkbox"/>	1	REC1	611A	cl_pge_150924i-00				
<input checked="" type="checkbox"/>	1	REC1	611G	cl_pge_150924i-00				
<input type="checkbox"/>	1	REC1	611A	cl_pge_150924h				
<input type="checkbox"/>	1	REC1	111A	cl_pge_150924h				



7.3.3. ソースフォルダへのショートカットを作成する

序文

Shortcut Folderエリアから、普段使用するフォルダへのショートカットを作成できます。



フォルダへのショートカットの設定方法

1. ドライブリスト内でドライブまたはフォルダを右クリックします。
2. **Set shortcut folder**を選択します。

選択フォルダは、Shortcut Folderリスト内に表示されます。

フォルダショートカットの削除方法

1. Shortcut Folderリスト内で、削除するフォルダを選択します。
2.  をクリックします。



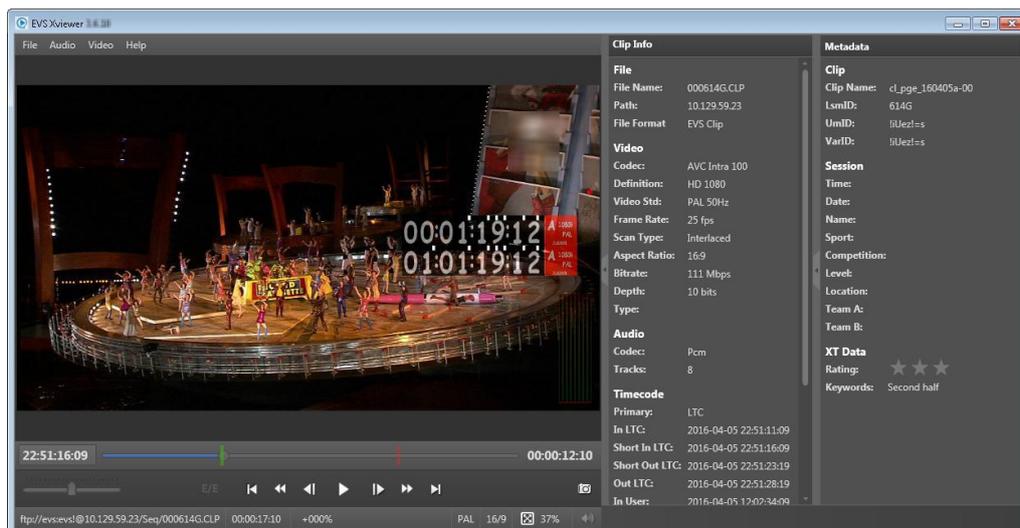
7.3.4. クリップ/ファイルのプレビュー

メディアグリッド内の素材を右クリックすると、コンテキストメニューが利用可能です。

Preview XT Clip

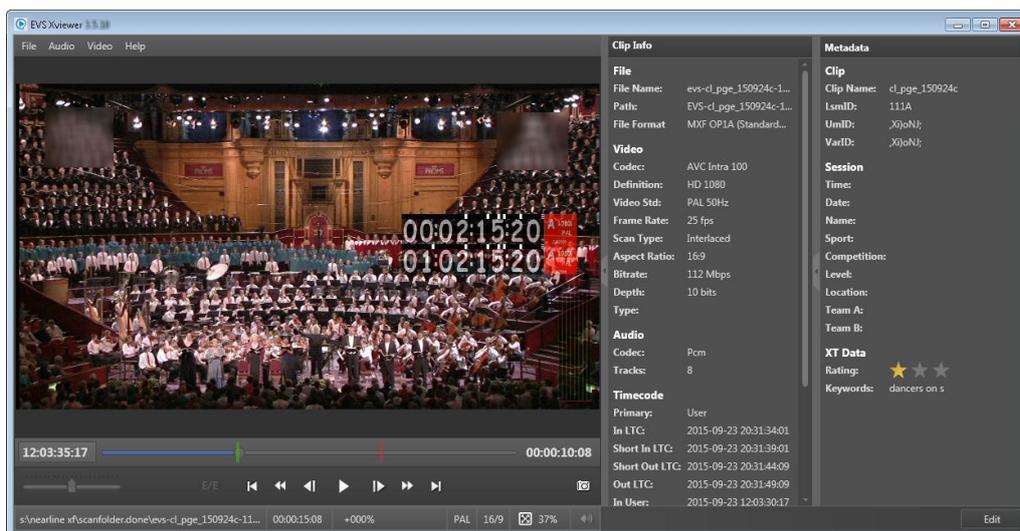
このオプションは、クリップがEVSサーバーにリストアされている時のみ使用可能で、EVS XViewerウィンドウ内でXTクリップのプレビューが可能です。

同時に、最大4つのXViewerウィンドウを開くことが可能です。



Preview File

このオプションは、XFile3と一緒にインストールされているXViewerアプリケーションを開き、選択ファイルをプレビューし、品質のコントロールが可能です。



同時に、最大4つのXViewerウィンドウを開くことが可能です。

Open File Location

このオプションは、ファイルが保存されているディスクフォルダの内容のエクスプローラウィンドウを開きます。

Open File Locationオプションのツールチップには、ファイルの格納場所へのパスを提供します。



7.4. Destination(宛先)サーバー位置の選択

7.4.1. Destinations枠の概要

Destinations

	LSMID	Name
▶ <input type="checkbox"/> MRW (3)		
▶ <input type="checkbox"/> XT ADL (85)		
▶ <input checked="" type="checkbox"/> XT3 PGE (185)	311A	cl_pge_150924i-00
▶ <input type="radio"/> Page 1 (13)	311B	cl_pge_150924i-02
▶ <input type="radio"/> Page 2 (64)		
▶ <input checked="" type="radio"/> Page 3 (6)	311C	cl_pge_150924i-01
▶ <input type="radio"/> Page 4 (0)		
▶ <input type="radio"/> Page 5 (0)	311D	cl_pge_150924i-01
▶ <input type="radio"/> Page 6 (102)		
▶ <input type="radio"/> Page 7 (0)	311E	cl_pge_150924i-01
▶ <input type="radio"/> Page 8 (0)		
▶ <input type="radio"/> Page 9 (0)	311F	cl_pge_150924i-00
▶ <input checked="" type="radio"/> Page 9 (0)	311G	PM LS_pge_160111a-02
▶ <input type="radio"/> Bank 1 (0)		
▶ <input type="radio"/> Bank 2 (0)	311H	cl_pge_150924i-00
▶ <input type="radio"/> Bank 3 (0)		
▶ <input type="radio"/> Bank 4 (0)	<input type="radio"/> 311I	
▶ <input type="radio"/> Bank 5 (0)		
▶ <input type="radio"/> Bank 6 (0)	<input type="radio"/> 311J	
▶ <input type="radio"/> Bank 7 (0)		
▶ <input type="radio"/> Bank 8 (0)	<input type="radio"/> 311K	
▶ <input type="radio"/> Bank 9 (0)		
▶ <input type="radio"/> Page 0 (0)	<input type="radio"/> 311L	
	<input type="radio"/> 312A	
	<input type="radio"/> 312B	
	<input type="radio"/> 312C	



Server List

Destinations枠の左枠は、Settings > Server Discoveryタブで選択された全てのサーバーを表示し、構造（クリップがリストアされるページとバンク）も含まれます。

ここに表示されるサーバー名は、サーバーのSDTIネットワーク名です。
しかし、もし、サーバー名が空白なら、代わりにサーバーのシリアル番号が表示されます。

クリップの合計数は、各サーバー名/ページ/バンクの横に、カッコくりに表示されます。

Destination Server Position Grid

Destinations枠の右枠は、選択したサーバー/ページ/バンクの位置を表示します。

カラーコード(各位置ラインの先頭にあり)は、位置使用可能ステータスとクリップリストアステータスを指します。

カラーコード	位置使用可能ステータスとクリップリストアステータス
 311J	位置を使用可能です。 まだ、クリップはリストアされていません。
 311H cl_pge_150924i-00	位置は、使用中です。 クリップが、この位置にリストアされる、待ちまたはスケジュールされています。
 311B cl_pge_150924i-02	位置は、使用中です。 クリップが、この位置にリストアされています。

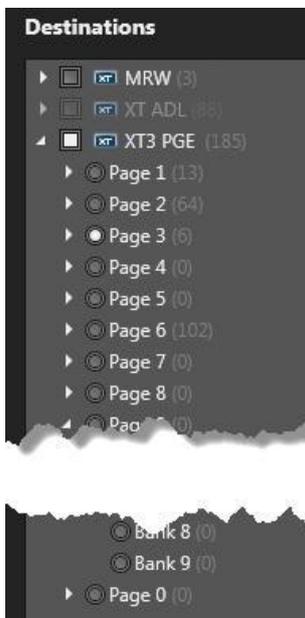


7.4.2. 宛先サーバー位置の選択方法

1台のサーバーへのクリップのリストア宛先の選択方法

クリップをリストアする宛先を選択するには、

1. サーバリストから、サーバー/ページ/バンクの横のボタンをチェックします。



選択したサーバー/ページ/バンクの全ての位置は、Destination Server Positionsグリッド内に表示されます。

空の位置の前に、ラジオボタンが表示されています。

LSMID	Name		
311A	cl_pge_150924i-00		
311B	cl_pge_150924i-02		
311C	cl_pge_150924i-01		
311D	cl_pge_150924i-01		
311E	cl_pge_150924i-01		
<input checked="" type="radio"/>	311K		
<input type="radio"/>	311L		
<input type="radio"/>	312A		
<input type="radio"/>	312B		

2. 位置ラインの前にあるラジオボタンをクリックして、クリップのリストア用の開始点と考慮される宛先位置を選択します。



位置を選択しない場合には、XFile3は、最初の使用可能な位置からリストアします。

複数サーバーへのクリップのリストア方法

複数のサーバーに、クリップをリストアするには、

- サーバーリストから、各サーバーの横のボタンをチェックします。

選択サーバーに対応する全ての位置は、表示されません。

そのため、リストアの開始点を選択できません。

全ての選択クリップは、各サーバー上の最初の使用可能な位置から、全てのサーバーにリストアされます。



7.5. リストアするクリップ選択用のフィルタの設定

Options 枠は、カメラの位置に基づいて、リストアするクリップを選択するCameraフィルタを提供します。

Multicam 14以降、最大12チャンネルまで使用可能で、文字A - Lに対応しています。

デフォルトでは、カメラA、B、C、Dが選択されています。



フィルタ条件を設定/解除するには

- 対応するCameraボタンをクリックします。

例： Aボタンをクリックすると、Aクリップとして保存されたクリップをリストアします。



7.6. リストアOptions(オプション)の設定

Copy type

コピータイプを選択可能で、以下の2つのコピータイプがあります。

デフォルトでは、Continuousが選択されています。

Copy type	説明
Continuous	リストアされるクリップは、フィルタオプションを考慮して、選択開始位置から1つずつ使用可能位置にリストアされます。
Same Location	全てのリストアクリップのトポロジー位置は、EVSサーバー内でも同じトポロジーを維持します。 もし、リストア用の位置が使用不可なら、クリップはリストアされません。 最初のクリップはEVSサーバー内の同じ位置に対応している必要があり、もし違えば、そのクリップはリストアされず、他のクリップも同様に同じトポロジーを維持します。

Keep Original IDs

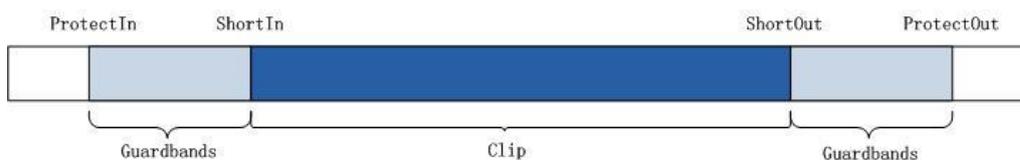
このオプションは、EVSサーバー内にリストアされたクリップのオリジナルIDを維持するために使用します。オリジナルIDには、UmID、VarID、MATERIAL IDがあります。

オプションを選択しないと、リストアクリップに新しいIDが割り当てられます。

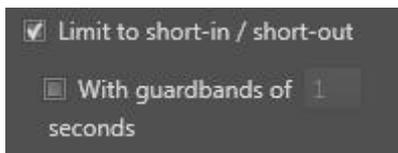
Keep Original IDsオプションは、Limit to shortin/ short-outオプションと一緒に選択できません。



Limit to short-in/short-out



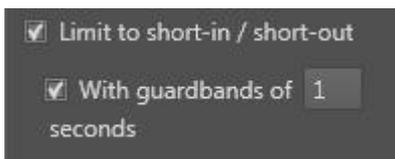
Limit to short-in/short-out



このオプションは、リスタクリップの範囲を、IN点(Short IN)からOUT点(Short OUT)に制限し、これはガードバンドなしを意味します。

このオプションをクリアすると、クリップは元のガードバンドを含んでリストアされます。

With guardbands



このオプションは、リスタクリップ用の新しいガードバンドの設定に使用し、十分な映像を提供します。

例： リスタクリップの元のガードバンドが5秒で、10秒のガードバンド値を設定したら、有効なガードバンド値として5秒を取得します。

もし、リスタクリップの元のガードバンドが15秒で、10秒のガードバンド値を設定したら、ガードバンド値として10秒を取得します。

有効なガードバンド値： 1s ~ 60s.

Keep Same CODEC as the Video Source

このオプションは、トランスコード無しのクリップのリストアに使用し、オリジナルファイルのコーデックが保持されます。



7.7. ジョブのモニタリング

Jobs枠の概要

リストアジョブを作成し、Restoreボタンをクリックするとすぐに、Restoreタブの下部に表示されます。
(処理されるまで)

Source	Destination	Clip Name	Remaining Time	Speed	Status	Transcoded	Actions	Comments
S:\Nearline XFile3-PM LS_pge_160606b-01-619L.mxf	XT3 PGE 2118	PM LS_pge_160606b-01	00:00:16	1.37x			Process ASAP	
S:\Nearline XFile3-PM LS_pge_JPLink2.3-01-617L.mxf	XT3 PGE 211D	PM LS_pge_JPLink2.3-01	00:00:54	1.35x			Process ASAP	

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、各ジョブの正確なステータスを示しています。

ジョブが完了すると、Jobs枠から消えます。

リストアジョブも、他のタイプのジョブと一緒に、Monitoringタブからモニタリングできます。

ジョブステータスカラーコード

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、各ジョブの正確なステータスを示しています。

ステータス	ジョブステータスカラーコード	ジョブステータスアイコン	意味
Waiting			ジョブが作成され、XFile3データベースに保存されています。
Scheduled			ジョブは、Xsquareに送信され、処理をスケジュールされています。
Running			ジョブは実行中です。
Cancelled			ジョブはキャンセルされました。
Failed			ジョブは失敗しました。



Jobカラム説明

カラム	説明
Source	クリップが保存されているパスとフォルダ名。
Destination	クリップをリストアするEVSビデオサーバーの宛先位置。
Remaining Time	各ジョブの処理の残り時間。
Speed	xの倍数で表示される各リストアジョブの現在の速度。
Status	現在のジョブステータスを表すアイコン。
Transcoded	リストアされたクリップのトランスコードステータス。  ・ アイコン付き  : クリップがトランスコードされています。 ・ アイコンなし: クリップがトランスコードされていません。
Actions	ジョブ管理用のボタン。
Comments	XsquareとXFile3からの情報。

8. Streaming(ストリーミング)ジョブの設定と ストリームの収録

8.1. Streamingタブの概要

目的

Streamingタブは、選択EVISビデオサーバーのレコードトレインから、設定済み宛先へ、要求形式(ジョブテンプレート)に従ったストリームのバックアップに使用します。

これは、ライブインジェスト処理と同時に実行可能です。

XFile3から、独立したストリームのグループを収録可能です。

この場合、Streamingタブ内に、複数のStreamingエリアが表示されます。

(以下のスクリーンショット内 ① - ⑤を参照)。

これは、異なるエリア間で、異なるストリーミング設定が可能である事を意味しています。

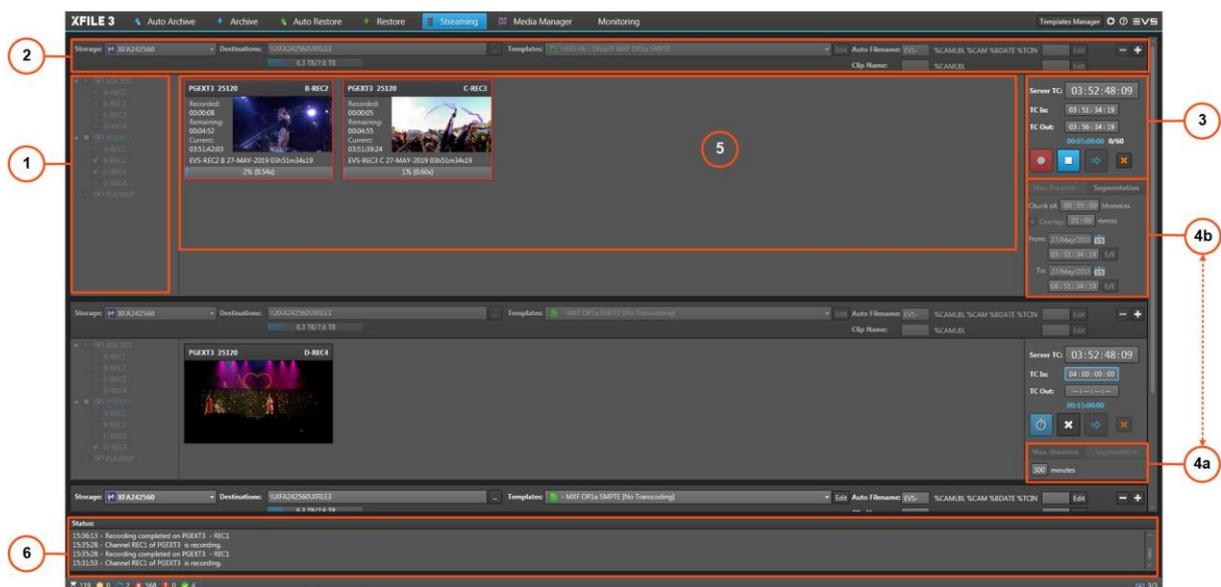
ライセンスキー 10-20がXSecureにインポートされると、XFile3の使用はストリーミングに制限されます。

この場合、Streamingタブのみが表示されます。

Full Packageモードのいくつかの機能は、Streamingタブからは使用できません。



Full Packageモードでは、Streamingタブには、以下のスクリーンショット上にハイライト表示されているエリアがあります：





エリア説明

サーバーリスト (1)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブで選択した全てのサーバーのリストを表示します。
ここで、ストリーミングするサーバーとカメラアングルを選択します。

ストレージデバイスと設定 (2)

このエリアは、A / Vファイルを保存するデバイス(例: XFile3)の選択、ファイルを保存する宛先フォルダの設定、A / Vファイルフォーマット、自動名前付けパターンの設定で、使用します。

冗長目的で、ファイルを複数の宛先にバックアップするため、複数ラインが表示できます。

Full Packageモードでは、タブ内で使用可能なテンプレートのリスト管理にTemplate Managerツールを使用
できます

Streaming onlyモードでは、使用できません。

ストリーム収録コマンド (3)

このエリアは、タイムコードリファレンスとスケジュール、収録の開始と停止の設定コマンドを表示します。

収録設定 (4)

各ストリームを、1つのファイルに最大デュレーションで、または、複数ファイルに分割して(オーバーラップあり/なし)、を選択して収録できます。

最大デュレーション (4a)

このエリアは、Max. Durationタブ選択時に表示されます。

Max Duration内に直接数値入力して、ストリームの最大デュレーションを設定可能です。

収録中に、値を変更可能です。

可能値: 1 ~ 300分

セグメント収録 (4b)

このエリアは、Segmentationタブ選択時に表示されます。

ストリームのセグメントデュレーション/オーバーラップパラメータ/開始と停止時間を設定可能です。

チャンネルエリア (5)

このエリアは、サーバーリスト内で選択したレコーダーチャンネルのストリーミング情報を表示します。

ステータスエリア (6)

このエリアは、システム上で実行されたアクションと潜在的な問題の情報を提供します。



8.2. ストリーム収録のステップ

ストリーミングジョブを作成するには、以下を行います：

1. Storage DeviceとSettings枠内の**Storage**フィールドから、ストリームをバックアップするデバイスを選択します。
2. Storage DeviceとSettings枠内の**Destination**フィールドから、宛先を選択して、ストリームをバックアップする場所を指定します。
3. Storage DeviceとSettings枠内の**Templates** フィールドから、Xsquareで実行されるジョブ処理を指定するジョブテンプレートを選択します。
4. Auto FilenameエリアとClip Nameエリアから、収録ストリームファイルの名前用のフォーマット文字列を設定します。
5. サーバーリストから、ストリームを収録するソースEVSサーバー/レコーダーチャンネルを選択します。対応するメディア用のサムネイルが、Channelsエリア内に表示されます。
6. 収録ストリーム用の最大デュレーションを設定します。
7. (オプション) 収録ストリームを複数ファイルにセグメント化するには、セグメント用のパラメータを設定します。
8. **Record**ボタンをクリックします。



8.3. StorageデバイスとDestinationsパスの選択

Storageデバイス

Storageエリアから、ストリームが保存されるデバイス(例: XFile3)を選択します。

XFile3システムは、起動時に、Bonjourプロトコルでローカルネットワークを検出します。
Storageエリアドロップダウンリスト内に、ストレージがリスト表示されます。



チップ

ローカルストレージデバイスは、リスト内に太文字で表示されます。

ストレージデバイスを選択すると、容量情報が表示されます: 残容量 / 全容量。
これは、SNMPプロトコルで提供されます。



Destinationsパス



Destinationフィールドでは、全ての選択チャンネル用のストリームファイルが保存されるパスを指定します

Destinationフィールドは、空のままではいけません。

Destinationパスは、以下のいずれかの方法で設定します:

- Destinationフィールド内に手入力、またはコピー/ペーストコマンドを使用します。
もし、パスが有効でなければ、フィールドが赤いラインで囲まれます。



-  ボタンをクリックして、パスを選択し、Destinationフォルダをブラウズします。



Destination下に、説明が表示されます。

これは、Templateフィールド内で選択したテンプレートのラッパータイプ、に関するものです。

Templateフィールドから選択したテンプレートを、複数の宛先パスにファイルをバックアップするように設定した場合、複数のDestinationフィールドが表示されます。

ストレージと宛先表示

StorageフィールドとDestinationフィールドは、相互に依存しています。

● XFile3の最初の起動時に、ローカルストレージデバイスが検出され、Storageフィールド内に表示されます。

そのデフォルトパスが、Destinationフィールド内に表示されます。

デフォルト宛先パスは、以下に表記されます：

\\Machine_Name\XFILE3

● Storageフィールドで別のストレージを選択すると、すぐに、Destinationフィールド内にそのデフォルトパスが表示されます。

● 同じストレージデバイスから別の宛先パスを選択しても、Storageフィールドは変わりません。

● Bonjourプロトコルで検出された別のストレージデバイスからの宛先パスを選択したら、Storageフィールドは対応するストレージデバイス名で更新されます。

● 設定したパラメータは記録され、次回起動時に、表示されます。

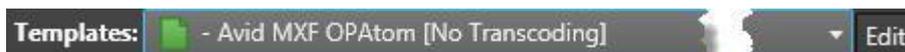
選択テンプレートが、複数の宛先パスにファイルをバックアップするように設定されていたら、StorageとDestinationエリアに複数ラインが表示されます。



8.4. ジョブテンプレートの選択

8.4.1. ジョブテンプレートの選択

Templateフィールドは、Xsquareで実行されるジョブプロセスを指定するジョブテンプレートの選択に使用します。



Streamingタブ内に表示されるテンプレートのリストは、Template Managerツールから制限可能です。

Editボタンを使用して、新しいユーザテンプレートを作成できます。
すると、自動的に選択されます。

最初の起動時に、表示されるデフォルトのテンプレートは、MXF OP1a SMPTE (1つの宛先)です。

次の起動時には、最後に選択したテンプレートが表示されます。



注意

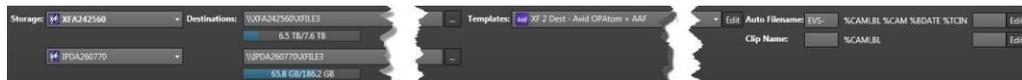
もし、宛先パスが、選択Xsquareテンプレート内に設定されていたら、XFile3は、Destinationフィールドに入力した宛先パスで上書きします。



8.4.2. ストリームファイルの冗長性

ファイルの冗長性を確保するために、複数の宛先パスにファイルをバックアップするように設定されたテンプレートがあります。

Templateフィールドから、そのテンプレートを選択すると、宛先パスと同じ数のラインが表示されます：



自動ファイル名フォーマット文字列は、全ての宛先に適用されます。



8.5. Auto Filenameとクリップ名の設定

序文

Auto Filenameエリアは、ストリームファイル用のファイル名形式の文字列の設定に使用します。



Clip Nameエリアは、メディアの名前設定に使用します。

クリップ名は、XMLファイル内のメタデータとして保存されます。

そのため、これは、各時に変換される値で、%NAME変換子が使用されます。



接頭辞を設定でき、そのため全ての収録ファイル名/クリップ名は(変更するまで)同じ接頭辞で始まります。接尾辞も設定できます。

両方の名前の文字列形式はユーザ設定であり、以下のように変更可能です。

1つまたは複数のパラメータで構成されます。

セッション間で記録されます。

デフォルトの自動ファイル名フォーマット文字列は、接頭辞付きで、以下です：

EVS- %CAMLBL %CAM %BDATE %TCIN

デフォルトのクリップ名フォーマット文字列は、接頭辞/接尾辞なしで、以下です：

%CAMLBL

選択テンプレート内に複数の宛先が設定されている場合には、ファイル名のフォーマット文字列とクリップ名のフォーマット文字列は、それらの全てに適用されます。

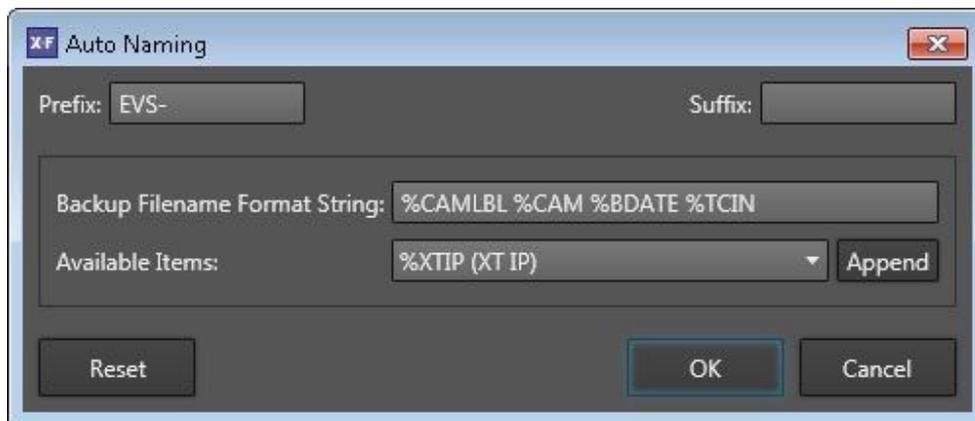
EVSサーバーがTwinRecモードで動作する時には、レコーダーペアからのストリームファイルは、Auto Filenameエリアで設定した同じファイル名で、後に(a)/(b)が付きます。



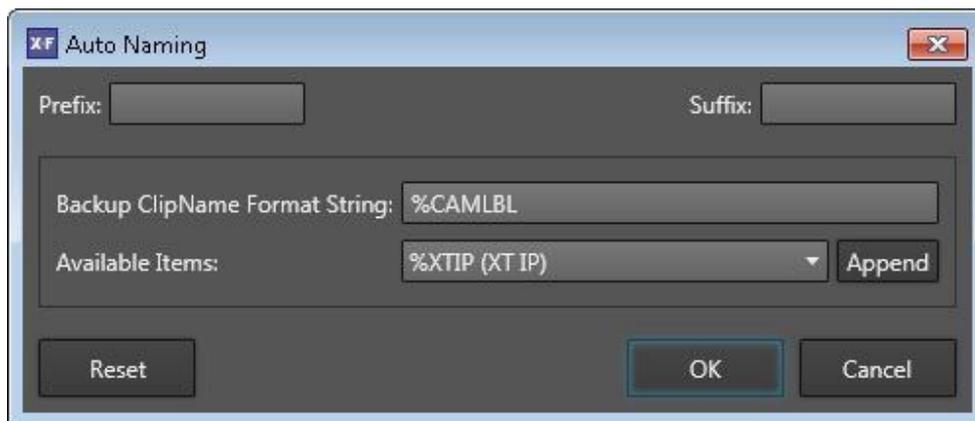
フォーマット文字列の設定/変更方法

1. Auto Filename/Clip Nameエリア横のEditボタンをクリックします。
AutoNamingウィンドウが開きます：

ファイル名用：



クリップ名用：



2. 必要に応じて、**Prefix**フィールド内に直接入力して、接頭辞を変更(設定)します。
3. (オプション) **Suffix**フィールド内に、接尾辞を入力します。
4. **Backup Filename(またはClip Name) Format String**フィールド内で、以下のようにフォーマット文字列を変更できます。
 - a. 文字の一部を削除するには、選択して **Delete** キーを押します。
 - b. 情報を追加するには、Available Itemsドロップダウンリストから項目を選択します：



Appendボタンをクリックして、選択項目を、フィールドの最後に追加します。

c. フィールド内の項目の位置を変更するには、カット/ペーストコマンドを使用します。
(CTRL + X、CTRL + V).

5. デフォルト名フォーマット文字列をリストアするには、**Reset**ボタンをクリックします。

6. **OK**をクリックします。

8.6. レコーダーチャンネルの選択と表示

8.6.1. サーバーリストとチャンネルエリアの概要

サーバーリストの概要

メディアを収録してストリーミングするサーバーレコーダーチャンネルの選択は、サーバーリストから行います。

起動時に、ネットワーク上で見つかった全ての使用可能サーバーが、リスト表示されます。

このリストは、検出処理により、定期的、自動的に更新されます。

しかし、IPアドレスを使用して、検出されないサーバーの追加も可能です。

サーバーリストは、Settings > Servers Discoveryタブ内で選択した全てのサーバーを表示します。



チャンネルエリアの概要

説明

サーバーリスト内で、レコーダーチャンネルを何も選択していないと、チャンネルエリアは空です。

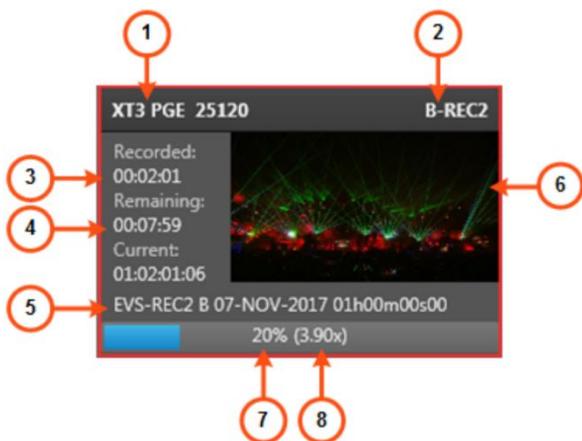
レコーダーを選択すると、すぐに、関連する情報が表示されます。

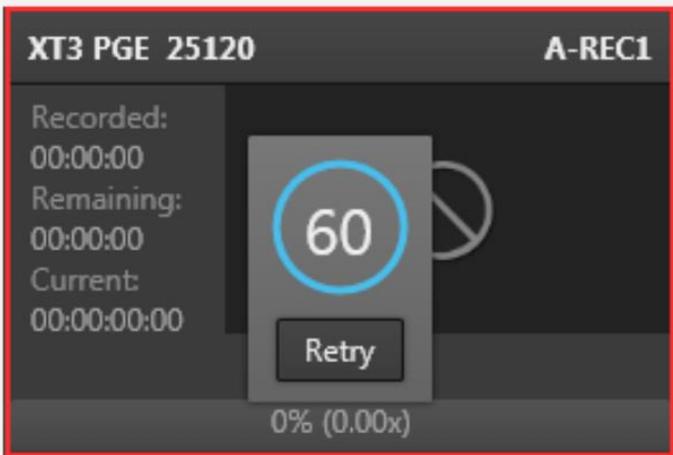
TwinRecモードのEVSサーバーでは、レコーダーチャンネルのペアを選択すると、2つのエリアが表示されます。

ストリームが収録されると、すぐに、情報が更新されます。

図

チャンネルエリアには、ストリーム収録時には、以下のスクリーンショットのように、各選択レコーダーチャンネル用のハイライト表示された情報があります：



#	エリア意味
1	サーバー名とシリアル番号
2	レコーダーチャンネル名、カメラ名またはCamLabel(もしあれば)。EVSサーバーがTwinRecモードの時のペアのチャンネルは、名前に (a) または (b) が付きま
3	収録済みのストリームのデユレーション。
4	収録の残り時間。
5	バックアップファイルのファイル名、Auto Nameフィールド内に設定されています。
6	グラブされたサムネイル。収録中は、赤色枠が表示されます。
7	収録ファイルのパーセンテージ。
8	収録速度
—	<p>Retryボタン: 収録中にエラーが発生した場合は、Channelsエリア内で、各レコーダーチャンネルのジョブ失敗に対して、Retryボタンが表示されます。 これにより、処理中の他のジョブを停止したり再起動せずに、ジョブをリトライできます。</p>  <p>TwinRecモードのEVSサーバーのチャンネルペアでは、どちらかのRetryボタンをクリックすると、自動的に両方のチャンネルのリトライ処理を開始します。</p>

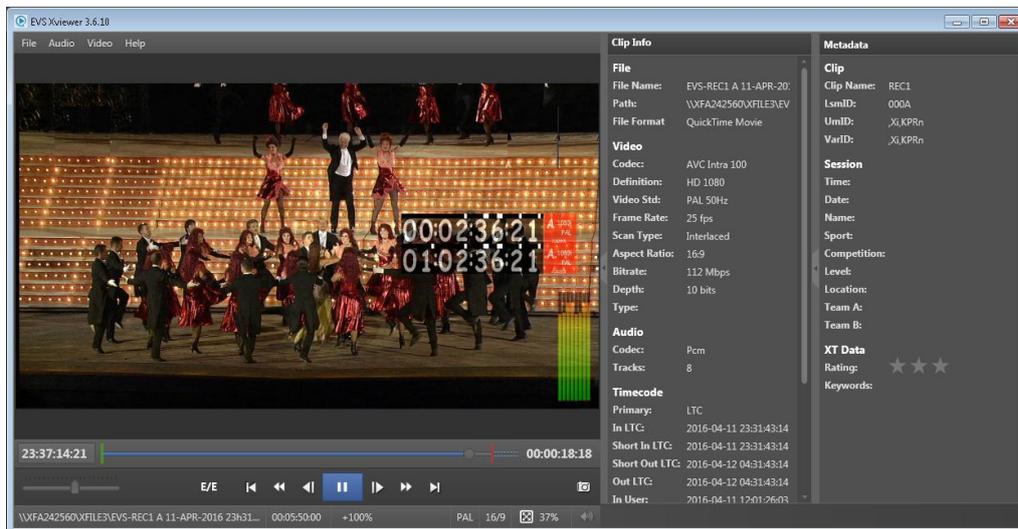


コンテキストメニュー

収録チャンネルのサムネイルを右クリックすると、コンテキストメニューが利用可能です。各オプションは、収録中ファイルのリストを含むサブメニューへのアクセスを提供します。

Preview File

このオプションは、XFile3と一緒にインストールされているXViewerアプリケーションを開き、選択ファイルをプレビューし、品質のコントロールが可能です。



同時に、最大4つのXViewerウィンドウを開くことが可能です。

Open File Location

これは、ファイルが保存されているドライブフォルダの内容のエクプローラウィンドウを開きます。Open File Locationオプションのツールチップには、ファイルの格納場所へのパスを提供します。



8.6.2. レコーダーチャンネルの選択

レコーダーチャンネルの選択方法

1. サーバー名の横にある矢印をクリックします。
レコーダーチャンネルのリストが展開されます：



Multicam 14以降では、サーバーコンフィグにより、最大12レコーダーチャンネルが表示されます。

2. 目的のレコーダーチャンネルを選択します。

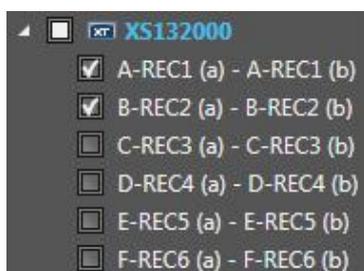
Serversリスト内の対応するサーバー名が青色に替わり、Channelsエリアは、選択レコーダーチャンネルの情報を提供します：



TwinRecモードでのレコーダーチャンネルの表示

EVSサーバーがTwinRecモードで動作している場合には、レコーダーチャンネルは、1つのコーデックモジュールに対してペアでグループ化されています。

サーバーリスト内では、自動的にチャンネルのペアとして表示され、ペアでのみ選択可能です。ペアの両方のチャンネルは、同じ名前で、後ろに(a)または(b)が付加されています。



EVSサーバーがTwinRecモードで動作している時には、レコーダーチャンネルのペアを選択すると、チャンネルエリア内に2つの矩形が表示されます。

この場合には、ペアのチャンネルは、同じ名前で、後ろに(a)または(b)が付加されています。





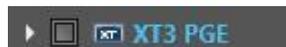
8.6.3. タイムコードリファレンス用に使用するサーバーの選択

最初に選択されたサーバーが、全てのジョブ用のタイムコードリファレンス提供に使用されます。

タイムコードリファレンス用に別のサーバーを選択するには、以下を行います：

1. サーバーリスト内でサーバー名を右クリックします。
2. コンテキストメニューから、**Select TC Reference**オプションを選択します。

TCリファレンス用に使用されるサーバーは、青文字で表示されます：



Server TCフィールドが、更新されます。



8.7. ストリームの収録

8.7.1. 序文

各ストリームを1つのファイルに収録、または、どこで収録を止めて、自動的に次のファイルの収録を開始するかを、オンザフライで決定して、異なる長さの複数ファイルに分割して収録できます。

これは、標準収録モードと呼ばれます。

また、詳細で、ストリームの全てのセグメント用の固定デュレーション、オーバーラップあり/なし、を設定したセグメント収録モードも選択できます。

ストリームは、サーバーリスト内の選択された全てのレコーダーチャンネルから収録されます。

収録は、即座に開始、または、メディアがまだ存在する過去の期間で開始、できます。

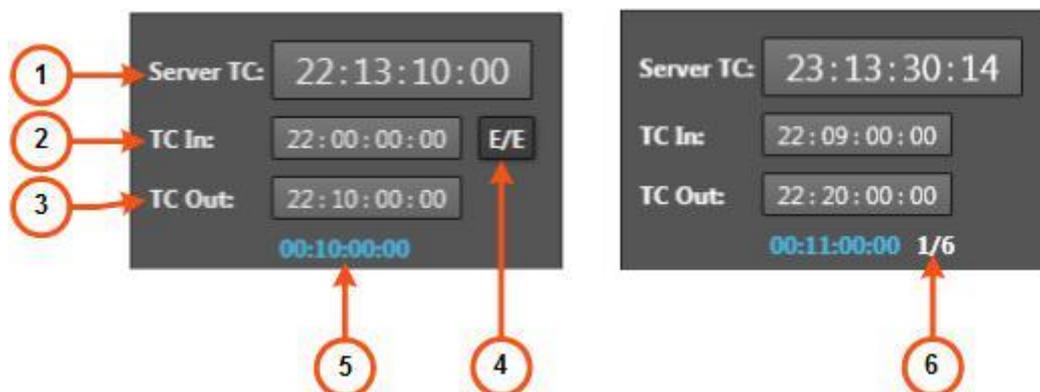
また、将来のスケジュールも可能です。

TwinRecモードに設定されたEVSサーバーの場合、ペアのレコーダーチャンネルの1つに適用したコマンドは、自動的に関連するチャンネルに適用されます。

そのため、2つのストリームは、自動的に、選択宛先パスに送られます。

8.7.2. ストリーム収録コマンド

収録コントロール



Server Timecodeフィールド (1)

サーバーリストから選択されたサーバーのタイムコードリファレンスで、サーバーリスト内で青色表示です。

このフィールドは、編集できません。

TC IN フィールド (2)

このフィールドは、編集可能です。

- 標準収録モード： ストリーム収録のIN点に使われるタイムコード値を入力します。
- セグメント収録モード： 収録中セグメントの TC IN値が表示されます。

値は、過去(対応するメディアが上書きされていない)、または未来が可能です。

TC INフィールドは、未来値が設定されると、青色線で囲まれます。



TC OUT フィールド (3)

このフィールドは、編集可能です。

- 標準収録モード： ストリーム収録のOUT点に使われるタイムコード値を入力します。
- セグメント収録モード： 収録中セグメントの TC OUT値が表示されます。

TC OUT値は、TC IN値より後でなければならず、ファイルデュレーションは、Max Durationフィールド内に設定されている最大デュレーションより長くできません。



E/E ボタン (4)

このボタンは、TC INフィールド内に値が入力されると、すぐに横に現れます。

収録中は、消えます。

E/Eボタンをクリックすると、TC INとTC OUTフィールドをクリアして、現在のサーバータイムコードをTC INに取り込みます。

Duration フィールド (5)

この読み取り専用フィールドは、TC OUTフィールド下に現れます。

値は、指定したTC INとTC OUT値から計算されたストリームデューレーション、または、もしTC OUTが指定されていなければ、Max Durationフィールド内に設定された最大デューレーションを表示します。

Segments カウンタ (6)

セグメント収録モードでは、収録済みのセグメント数/スケジュールされたセグメントの総数 を表示します
最後の収録進行中には、カウンタが強調表示されます。

Recording ボタン

ストリーム収録ボタンは、収録ステータスにより、異なって表示されます。

スケジュール/実行中の収録はありません	
収録はスケジュールされています	
収録中: 標準収録モード	
収録中: セグメント収録モード	



ボタン	ボタン表示	意味/表示時	動作
Record		収録中ではありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 収録開始時間が設定されていない、または過去の時間が設定されている場合には、このボタンをクリックすると、すぐに、全ての選択チャンネルからのストリーム収録を開始します。 ● もし、収録開始時間に将来の時間を設定していたら、このボタンをクリックすると、全ての選択チャンネルからのストリーム収録をスケジュールします。
		収録中です。	動作なし。
		TC IN値には将来の時間が設定され、Recordボタンがクリックされましたが、まだ、ストリーム収録は開始されていません。	動作なし。
Stop		収録中ではありません。	動作なし。
		収録中です。	全ての選択チャンネルからのストリーム収録を、現在のタイムコードで停止します。異なるチャンネルから、同じデュレーションでファイルが記録されます。
Cancel Schedule		このボタンは、STOPボタンの代わりに表示されます。TC IN値には将来の時間が設定され、Recordボタンがクリックされましたが、まだ、ストリーム収録は開始されていません。	スケジュール済み収録をキャンセルします。
Stop And Start		このボタンは、以下で表示されます： <ul style="list-style-type: none"> ● 収録中ではありません。 または ● セグメント収録モードにおいて、収録中。 	動作なし。



		<p>標準収録モード: 収録中で、停止可能で、自動的に新しいファイルで開始します。</p>	<p>全ての選択チャンネルからのストリーム収録を現在のタイムコードで停止し、即座に、新しいファイルの収録を同じタイムコードから開始します。</p>
		<p>収録中ではありません。</p>	<p>動作なし。</p>
<p>Stop Now</p>		<p>ストリーム収録が開始されると、すぐに、Stop Nowボタンが使用可能になります。</p>	<p>即座に、全ての収録を停止します。そして、既に収録されたファイルを削除/保持できます。これは、ボタンをクリックすると、ファイルに、ライブフィード間のディレイが異なるため異なるデューレーション、異なるストリームファイル、の結果をもたらします。</p>



8.7.3. 標準モードでのストリーム収録

即座に収録を開始する方法

1. Max Durationフィールド内に、値を入力します。

ファイルのデュレーションは、このフィールド内に設定される最大デュレーションを超えることはできません。



2. Recordボタン  をクリックします。

全ての選択チャンネル上で、収録が開始されます。

ボタンをクリックした時に、TC IN が設定されます。

まだ、TC OUT は設定されません。

手動で、収録を停止しなければなりません。

指定時間で収録のスケジュール/開始方法

1. Max Duration フィールド内で、値を入力します。

ファイルデュレーションは、このフィールド内の最大デュレーションを超える事はできません。

2. TC IN フィールド内に、開始タイムコード値を入力します。

- もし、値が過去なら、対応するA/V素材は、まだ、使用可能でなければなりません。
- もし、値が将来なら、TC IN フィールドを青ラインが囲みます：



このフィールド内に値が入力されると、すぐに、TC IN フィールド横に E/E ボタンが表示されます。

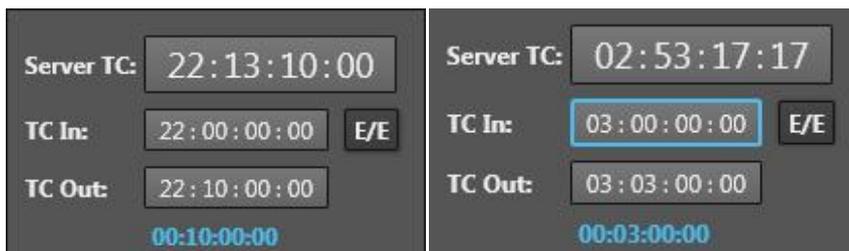
3. (オプション) TC IN フィールド内に現在のライブタイムコードを取り込みたいなら、E/E ボタンをクリックします。

4. (オプション) その時間に収録を自動的に停止するには、TC OUT フィールド内に停止タイムコード値を入力します。

そうでなければ、手動で停止しなければなりません。

スケジュールされたファイルデュレーションは、TC OUT フィールド下に表示されます。

Max Duration フィールド(分で設定)内に設定された最大デュレーションより長くはできません。

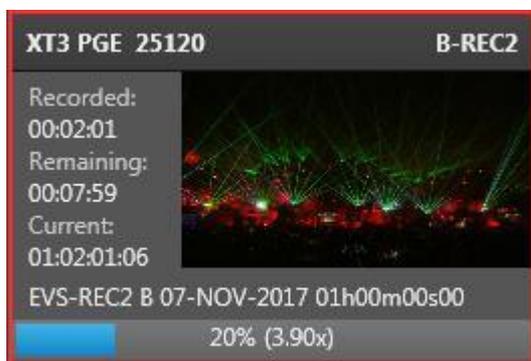


5. Segmentationタブより、Max Durationタブが選択されることを、確認します。

6. Record ボタン  をクリックします。

TC IN が、過去に設定された時:

- ファイルは、即座に、収録開始されます。
- Channelsエリア内の各チャンネル周りに赤枠が表示されます。



- Record ボタンが、赤に替わります  。
- Stop ボタンが、青に替わり  、収録停止に使用可能になります。
- Stop and Start ボタンが、青に替わり  、収録を停止し自動的に新しいファイルで開始が使用可能になります。
- Stop Now ボタンが使用可能になります  。



TC IN が、将来に設定された時:

- Record ボタンは、Schedule ボタンに替わります  。
- Stop ボタンは、Cancel Schedule ボタンに替わります  。



収録が開始されると、ボタンは上記の説明のようになります：



ファイルの収録を停止し自動的に新しいファイル収録の開始方法

この処理は、標準収録モードにのみ適用されます。

全ての選択チャンネルからのストリーム収録を現在のタイムコードで停止し、すぐに、同じタイムコードから新しいファイル収録を開始するには、

e, and immediately start the recording of new files from the same timecode,

- Stop & Start ボタン  をクリックします。



8.7.4. セグメントモードでのストリーム収録

指定タイムコードから、連続するセグメントの収録を、スケジュール/開始するには、

1. **Max Duration** フィールド内に値を入力します。

ファイルデュレーションは、このフィールド内に設定できる最大デュレーションを超えることはできません

2. Segmentation タブをクリックします：

3. **Chunk of** フィールド (hh:mm:ss)内に、ファイルセグメントのデュレーションを入力します。

ファイルセグメントは、**Max Duration** フィールド内に設定された最大デュレーションより長くはできません

4. (オプション) **overlap** オプションを設定します、すると、ファイルセグメントは指定デュレーションで重ね合わせられます。

- a. **Overlap** 前のチェックボックスをチェックします。
- b. 重ね合わせのデデュレーションを入力します。(mm:ss)

5. **From [date]** フィールド内に、最初のセグメントの開始日付を設定します。

デフォルトでは、現在の日付が表示されます。

-  ボタンをクリックして、カレンダーを表示して、日付を選択します。

6. **From [time]** (hh:mm:ss:ff) フィールド内に、開始時間を設定します。

デフォルトでは、Segmentationタブが開いた時のタイムコードが表示されます。

フィールド内に直接入力、または、**E/E** ボタンをクリックして現在のタイムコードを取り込みます。
過去の時間を設定したら、対応する A/V 素材がまだ使用可能でなければなりません。

7. **To [date]** フィールド内で、最後のセグメントファイルの終了日付を設定します。

デフォルトでは、現在の日付が表示されます。



15 ボタンをクリックして、カレンダーを表示し、日付を選択できます。

8. To [time] (hh:mm:ss;ff) フィールド内に、終了時間を設定します。

デフォルトでは、表示されるタイムコードは Segmentation タブが開いた時間プラス最大デューレーション時間です。

フィールド内に直接入力、または、E/E ボタンをクリックして現在のタイムコードを取り込みます。

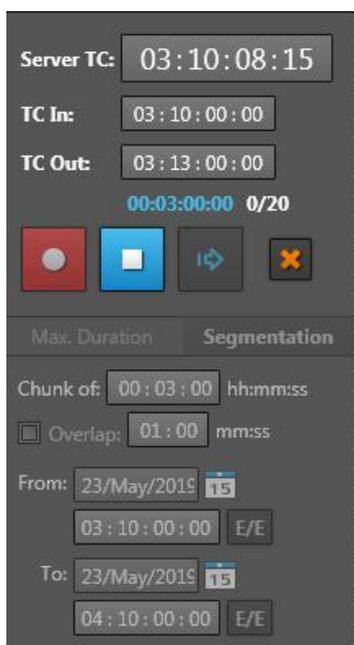


9. Record ボタン をクリックします。

開始日付と時間が過去に設定されたら:

ファイル収録は、すぐに、開始します。

Channels エリア内の各チャンネル周りに、赤枠が現れます。

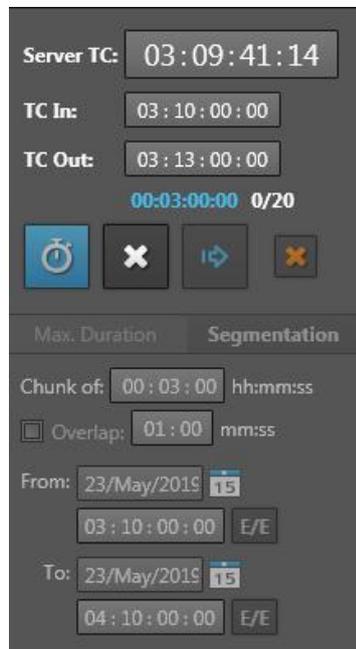




開始時間が将来に設定されたら:

○ Record ボタンは、Schedule ボタンに替わります 。

○ Stop ボタンは、Cancel Schedule ボタンに替わります 。



収録が開始されると、すぐに、ボタンは上記のように動作します:





8.7.5. ストリーム収録の手動停止

収録の停止方法

実行中のグループの全てのストリーミングファイルを、現在のタイムコードで停止するには、

- Stop ボタン  をクリックします。

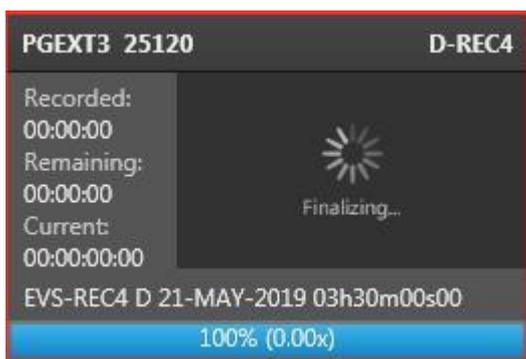
標準収録モード内

収録は、全ての選択チャンネル上で停止します。

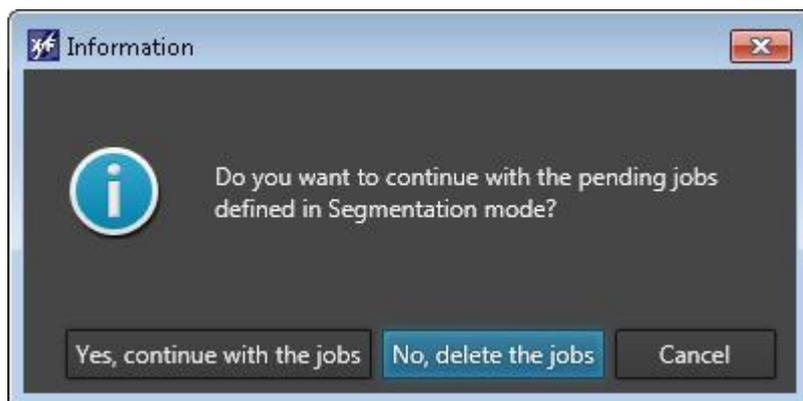
現在のサーバータイムコードが取り込まれ、全ての収録ストリーム用の TC OUT になります。
ファイルは、異なるチャンネルからの同じデュレーションで収録されます。

ライブフィードと収録ファイル間にはディレイがあるため、ジョブがファイナライズされるまでに時間がかかります。

この間、ステータスエリア内に、メッセージ “Finalizing...” が表示されます。



セグメント収録モード内、
以下のメッセージが表示されます：



- **Yes, continue with the Jobs** をクリック：
現在の収録を停止し、既に収録されたファイルを保存します。
そして、次のセグメントに関連するジョブは、保持され、これらのセグメントは収録されます。
- **No, delete the Jobs** をクリック：
現在の収録を停止し、既に収録されたファイルを保存します。
そして、次のセグメントに関連するジョブは、削除され、これらのセグメントは収録されません。

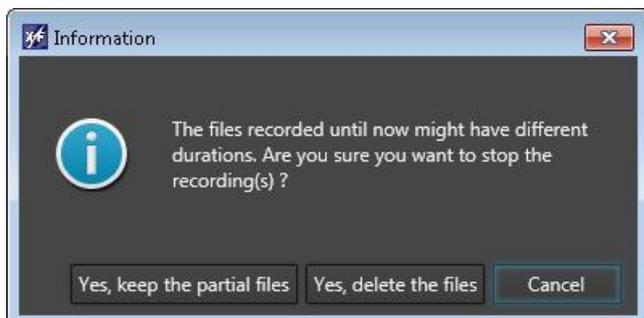


収録を即座に停止する方法

実行中のグループの全てのストリーミングファイルを、現在のタイムコードで停止するには、

1. Stop Now.ボタン  をクリックします。

以下のウィンドウが表示されます：



2. 以下のオプションのいずれかを選択します：

- **Yes, keep the partial files:**

収録を停止して、既に収録済ファイルを保存します。

ライブフィードと収録ファイル間にディレイがあるため、ファイルの TC OUT は、ライブフィードのタイムコードではなく、各ファイルは、異なる TC OUT と異なるデュレーションを持ちます。

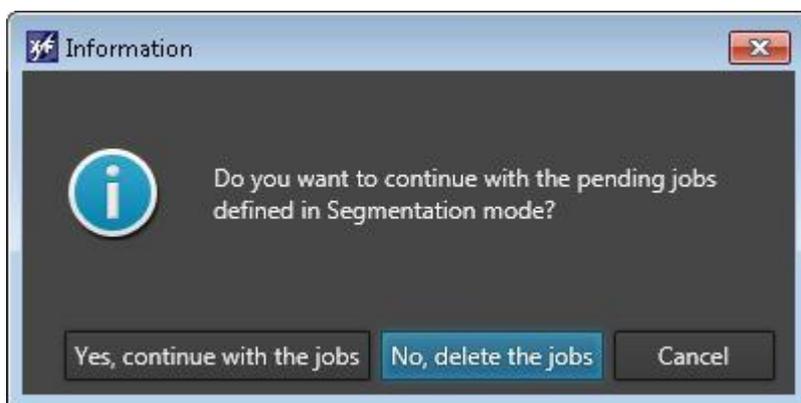
関連するメタデータファイルが更新されます。

- **Yes, delete the files:**

収録を停止して、全ての関連ファイルを削除します。

3. セグメント収録モード内:

どのオプションを選択していても、以下のメッセージが表示されます：



以下のいずれかのオプションを選択します：

- **Yes, continue with the Jobs:**

次のセグメントに関連するジョブは、保持され、これらのセグメントは収録されます。

- **No, delete the Jobs:**

次のセグメントに関連するジョブは、削除され、これらのセグメントは収録されません。



スケジュールされた収録のキャンセル方法

スケジュールジョブを、収録開始前にキャンセルするには、

- **Cancel Schedule** ボタン  をクリックします。
メッセージにより、キャンセルを確定するように、警告されます。



グループ外の1つのストリームファイルの収録のキャンセル方法

カメラの故障、バンド幅の問題などの場合に、ストリームファイルのグループ外の1つのストリームの収録を停止したいかもしれません。

これは、Streaming タブからは実行できません。

しかし、Monitoring タブから、ストリーミング中の1つのファイルのジョブをキャンセルできます。



8.8. レコーダーの独立グループからのストリーム収録

ストリームの独立したグループを、XFile3から収録できます。
 この場合、Streamingタブ内に、複数のストリーミングエリアが、表示されます。
 これは、異なるエリア間に異なるストリーミング設定が可能を意味します。

1. Streamingエリアの右上の  ボタンをクリックします。

新しいストリーミングエリアが、下に表示されます。

すでに、複数のストリーミングエリアが存在する場合、ボタンをクリックしたエリアの下に、新しいエリアが表示されます。

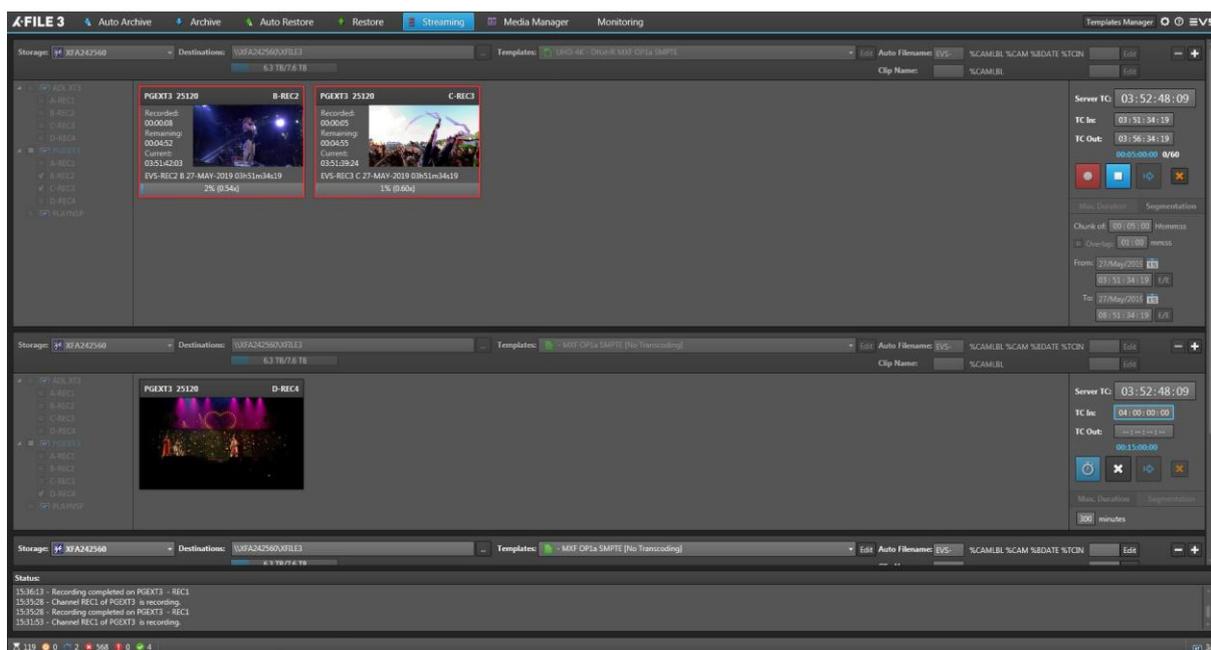
2. ストリーム収録パラメータを設定します。

それらは、他のストリーミングエリアからの完全に独立したパラメータです。

- Destination:
- Template:
- Auto filename:
- Servers and recorder channels:
- Recording commands:

3. ストリーミングエリアを削除するには、このエリアの右上にある  ボタンをクリックします。

例：レコーダーの2グループ：







9. メディアの管理

9.1. 概要

Media Managerタブは、選択したディスクまたはサーバー上に保存されているメディアのリストを表示します

転送は、ディスク -> ディスク、サーバー -> サーバー、サーバー -> ディスク（バックアップ操作、XFile3内のアーカイブ）、ディスク -> サーバー（リストア操作）、で実行できます。

複数のレイアウトを使用できます。

1つのリスト - 1つのプレーヤーのレイアウト:

リストからメディア項目を選択し、プレーヤー上でプレビュー、ファイルをトリミング、メタデータファイルを更新、ファイルのエクスポート、が可能です。

2つのリストのレイアウト:

同時に、2つの位置(サーバーまたはディスク)からのメディアリストを表示します。

そのため、2つのリストの内容を比較し、1つの場所からもう1つの場所へ、メディア項目のコピーで使用できます。

ジョブステータスは、Jobs Monitoring枠から監視することができます。

バックアップとリストア操作のデフォルトオプション

バックアップとリストア操作中には、ArchiveとRestoreタブ内で使用されるオプションのデフォルト値が適用されます。

バックアップ (EVSサーバーからディスクフォルダへ):

- EVS metadata profile: 選択されません
- Session metadata: 選択されません
- Limit to Short IN / Short OUT: 選択されません
- PL flatten: assign keywords of the first element: 選択されます。

リストア (ディスクフォルダからEVSサーバーへ):

- Copy type = **Continuous** (no camera restriction) と最初のコピー可能位置: 選択されます
- Keep Original IDs: 選択されません
- Limit to Short IN / Short OUT: 選択されません
- Keep same CODEC as the video source: 選択されません

C-Next Contributionモード

C-Next Contributionモードをオンにすると、ファイルは、遠隔位置からXFile3ローカルフォルダへ（逆も）転送できます。



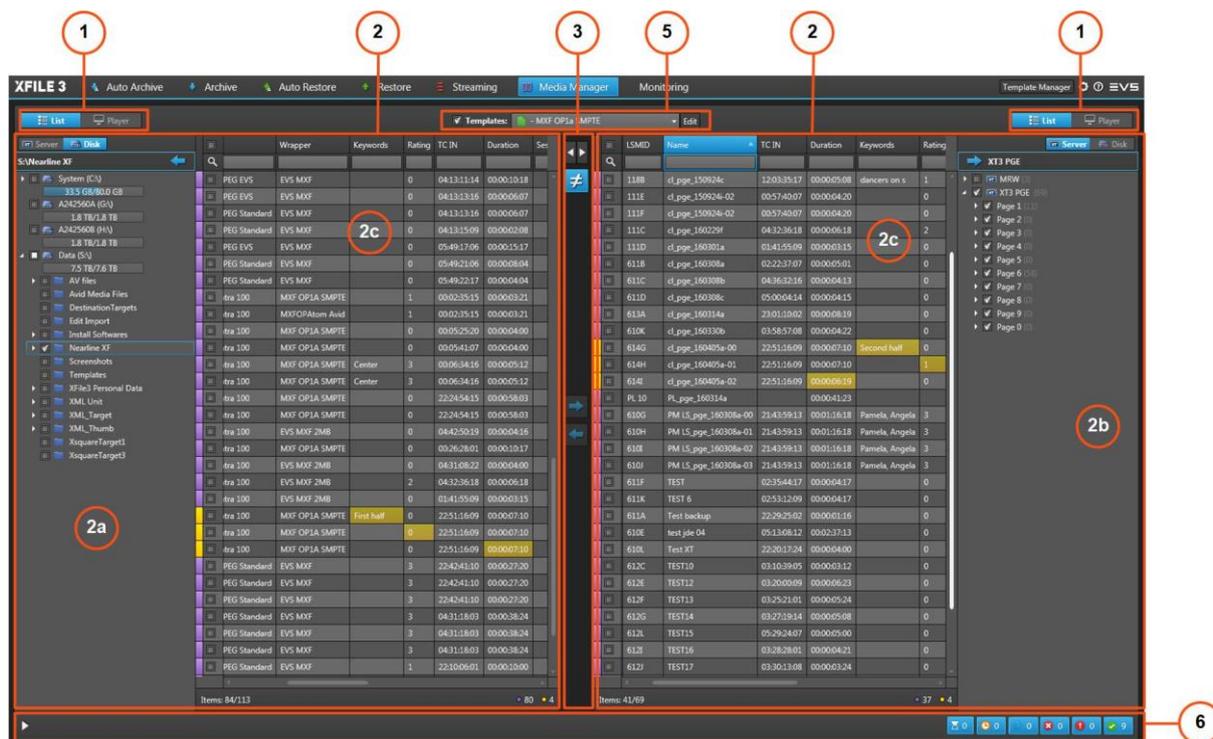
9.2. Media Managerタブの概要



Media Managerタブは、異なるレイアウトで表示できます。

2つのリストのレイアウト

左右のMedia枠で、Listモードを選択すると、2つのリストが表示されます：



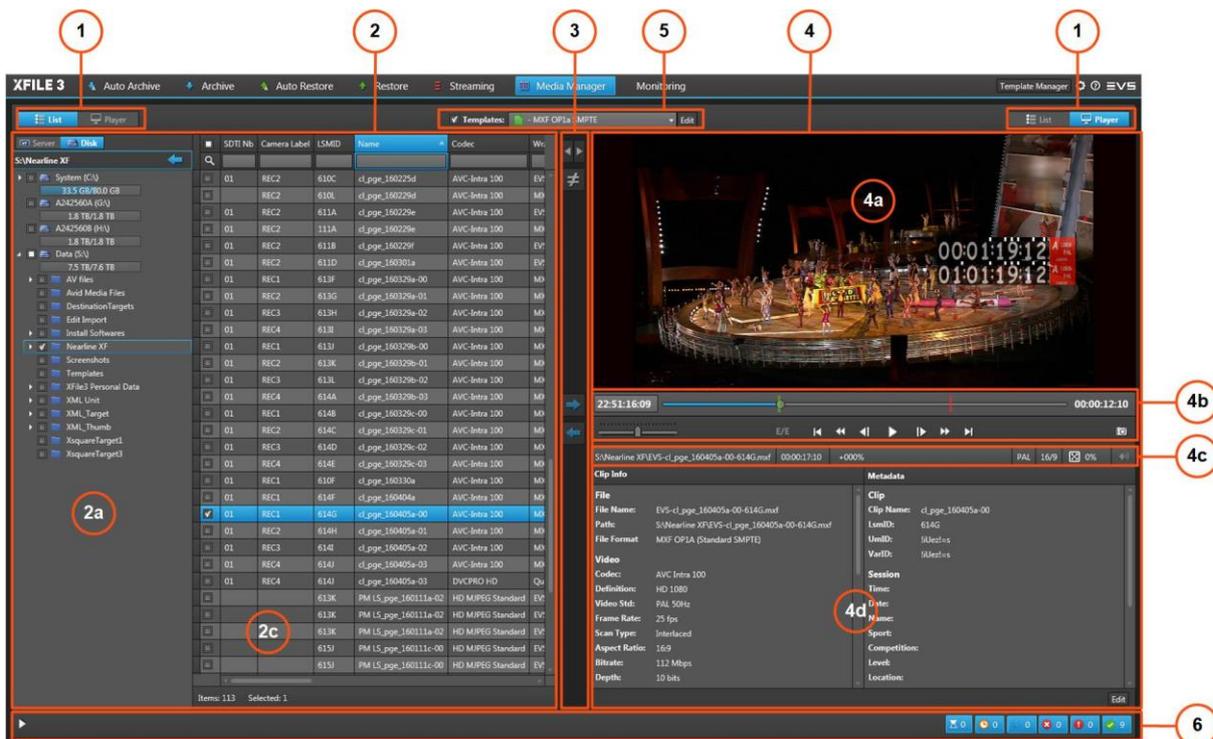


1つのリスト - 1つのプレイヤーのレイアウト

枠上でPlayer モードをオンにすると、左または右枠上に、1つの Player 枠が表示されます:



そして、プレイヤーで、他方の枠のメディアグリッドから選択したメディアをプレビューします。



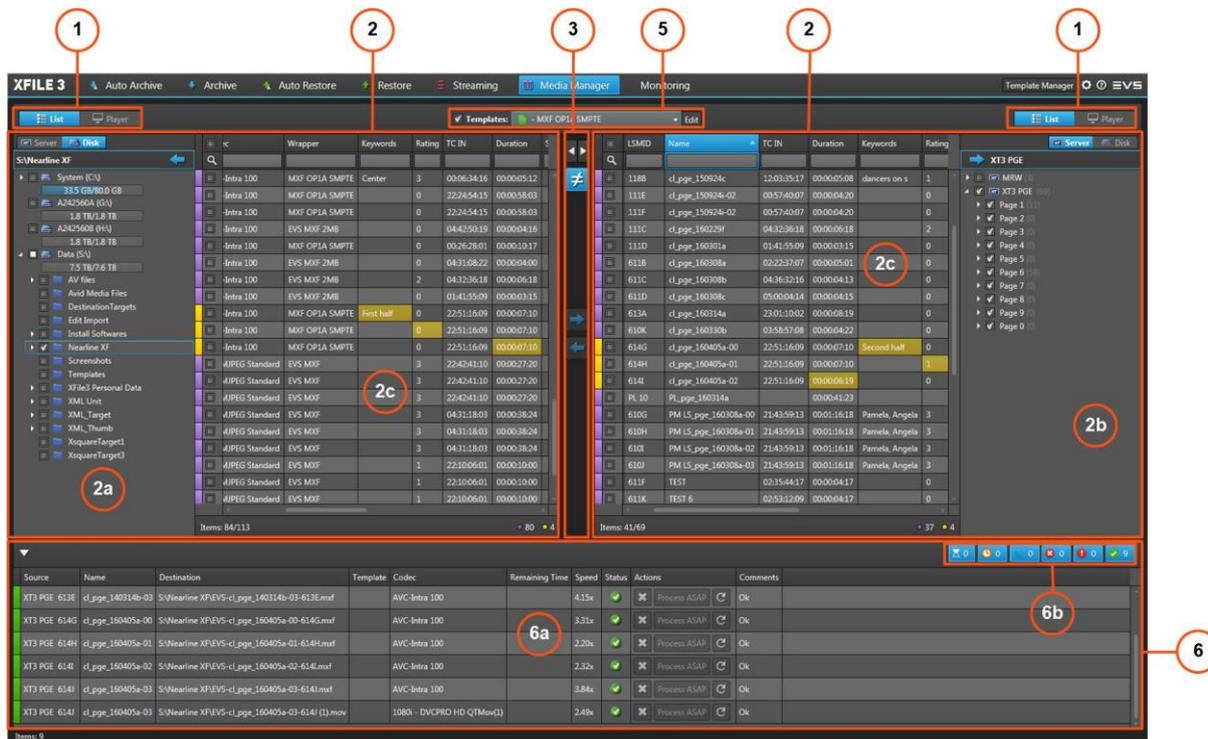


Jobs Monitoring 枠を持つレイアウト

Jobs Monitoring 枠は、▶ ボタンをクリックすると、Media Manager タブの底に表示されます。

▼ ボタンをクリックすると、隠せます。

Jobs Monitoring 枠は、2つのリストレイアウト、1つのリスト/ 1つのプレイヤーレイアウト、どちらでも表示できます。





エリア説明

List/Player 選択 (1)

対応する枠(右または左)上の、List view (2) または Player view (4) 表示を選択します。

List 枠 (2)

Local Hard Drives / Locations リスト (2a)

このエリアは、対応する枠上 (左または右)で、List ビューと Disk モードがオンのとき、表示されます：



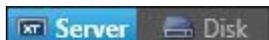
このエリアは、XFile3が検出した全てのハードドライブとサブフォルダを表示します。
ここでは、各ディスクの残容量 / 全容量の情報を表示します。

マッピングドライブとモバイルハードドライブも、検出されます。

ローカルハードドライブリスト内の素材を右クリックしたら、コンテキストメニューで、オプションが提供されます。

サーバーリスト (2b)

このエリアは、対応する枠上 (左または右)で、List ビューと Server モードがオンのとき、表示されます：



全ての検出されたサーバー(階層: ページ/バンク/全てのクリップのメタデータ含む)を、リスト表示します。

メディアグリッド (2c)

Local Hard Drives リスト、または Servers リストから選択したストレージ上にある全てのファイル/クリップを表示します。

メディアグリッド内の素材を右クリックしたら、コンテキストメニューで、オプションが提供されます。



注意

複数ファイルのメディアでは、マスタービデオファイルのみがリスト表示されます。
関連するメタデータファイル、関連するオーディオファイルは、もしあっても、表示されません。

リストのフィルタに、メタデータカラムを使用できます。



リストマネージメントボタン (3)

このエリアは、2つのリストが表示されている時に、以下の操作を行うボタンを提供します：

- 両方のリストに同じフォルタを即座に適用 

- 両方のリストを比較 

- 1つのリストから他方へメディアをコピー 

ボタンは、両方の枠上にリストが表示されている時のみ、使用可能です。

Player 枠 (4)

このエリアは、一方のタブのメディアグリッド内で選択したメディアを、プレビュー/ブラウズすることに使用します。

メディアファイルをトリムできて、メタデータを編集できます。

ビデオディスプレイ (4a)

プレイヤー上にロードされたメディアを表示します。

トランスポートファンクションエリア (4b)

ロードした素材内のナビゲート用のJOGバーやトランスポート機能を提供します。

メディア情報 (4c)

ロードされたクリップ/ファイルの読み取り専用情報を表示します。

クリップ情報とメタデータ (4d)

このエリアは、ロードされたファイル/クリップに関連する、ファイル/クリップ関連情報とメタデータ値を表示します。

テンプレートエリア (5)

このエリアは、Xsquareで実行されるジョブプロセスを指定するジョブテンプレートの選択に使用します。

Media Managerタブ内に表示されるテンプレートのリストは、Template Managerツールで制限できます。

Edit ボタンを使用して、新しいユーザテンプレートを作成できます。
そして、自動的に選択されます。

最初の起動時には、デフォルト表示テンプレートは、MXF OP1a SMPTE (single destination)です。

2回目以降は、最後に選択したテンプレートが表示されます。



Jobs Monitoring 枠 (6)

このエリアは、Media Managerタブ下の  ボタンをクリックすると、表示されます。

Jobs グリッド (6a) は、全てのジョブと、それぞれのステータスを表示します。

Filter ボタン (6b) では、ジョブステータス(Waiting、Scheduled、Running、Canceled、Failed、Completed) による、ジョブグリッドへのフィルタが可能で、各ジョブステータス用のジョブの数を表示します。



9.3. ドライブフォルダ上で可能な動作

Local Hard Drives リスト内で、ドライブ/フォルダを右クリックすると、コンテキストメニューが使用できます

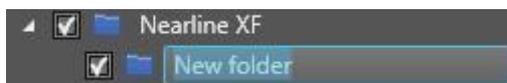
Open in New Window

このオプションは、ドライブフォルダの内容を表示するエクスプローラウィンドウを開きます。

New Folder

このオプションは、選択フォルダ内のサブフォルダ作成に使用します。

New Folder がハイライトして、変更可能です。



名前を入力して、Enterを押します。

Rename

このオプションは、選択フォルダの名前変更に使用します。

フォルダが空の場合にしか、使用できません。

フォルダ名がハイライトして、変更可能です。

名前を入力して、Enterを押します。

Delete

このオプションは、フォルダが空の場合にしか、使用できません。

選択フォルダを削除します。



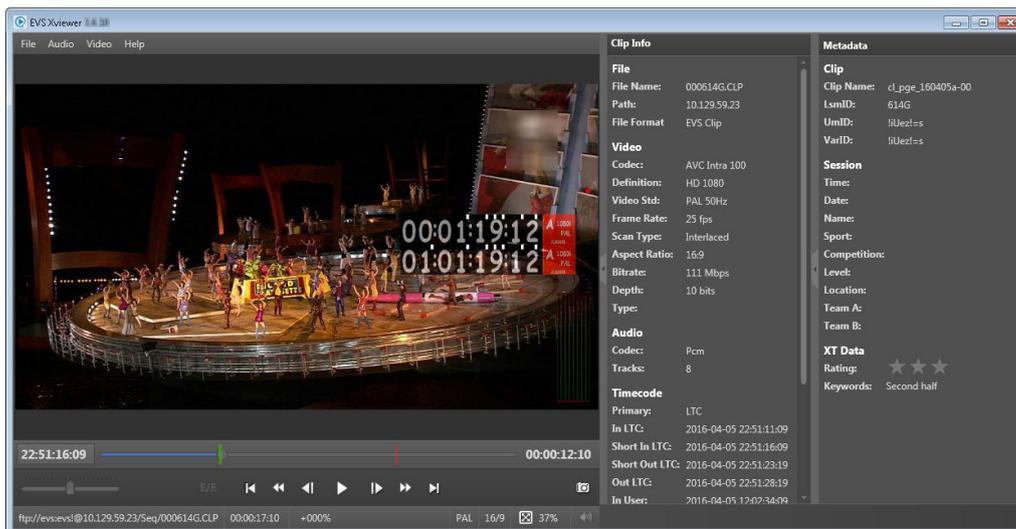
9.4. メディアのコンテキストメニュー

メディアグリッド内の素材を右クリックすると、コンテキストメニューが利用可能です。

Preview XT Clip

このオプションは、サーバーメディアグリッドからのみ使用可能で、EVS XViewerウィンドウ内でXTクリップのプレビューが可能です。

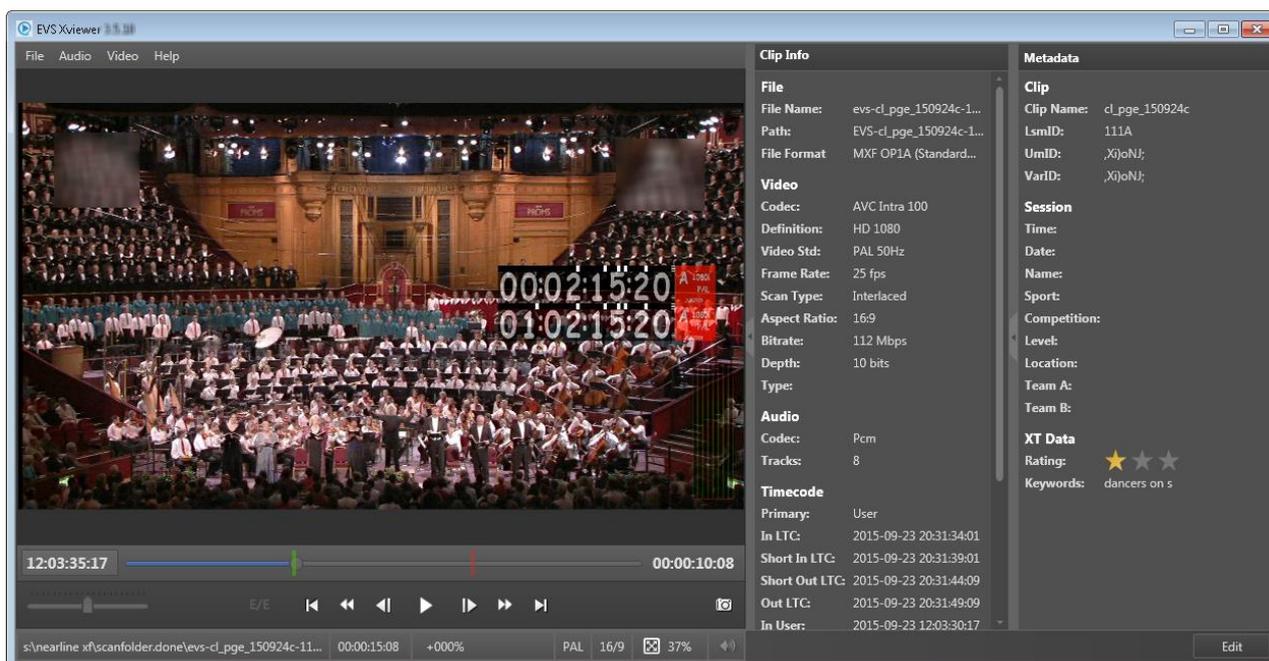
同時に、最大4つのXViewerウィンドウを開くことが可能です。



Preview File

このオプションは、ディスクメディアグリッド/サーバーメディアグリッドから、クリップがディスク上にアーカイブされている時に、可能です。

XFile3と一緒にインストールされているXViewerアプリケーションを開き、選択ファイルをプレビューし、品質のコントロールが可能です。





同時に、最大4つのXViewerウィンドウを開くことが可能です。

Open File Location

このオプションは、ディスクメディアグリッド/サーバーメディアグリッドから、クリップがディスク上にアーカイブされている時に、可能です。

これは、ファイルが保存されているドライブフォルダの内容を表示するエクスプローラウィンドウを開きます。Open File Locationオプションのツールチップには、ファイルの格納場所へのパスを提供します。

Delete File

このオプションは、ディスクメディアグリッドからのみ使用可能で、ディスクフォルダからファイルを削除します。

このジョブは、Xsquareにより、取り扱われます。



注意

複数ファイルのメディアでは、マスタービデオファイルのみが、メディアグリッド内にリスト表示されます。関連するメタデータファイル、関連するオーディオファイルは、もしあっても、表示されません。しかし、ファイルが削除されると、選択ビデオファイルに関連する全てのファイルが削除されます。

Delete Clip(s)

このオプションは、サーバーメディアグリッドからのみ使用可能です。

サーバーから選択クリップ（サーバー側でクリップがプロテクトされていない）を削除します。

制限事項:

オプションは、Intra Only エッセンスのクリップにのみ使用可能です。

選択したクリップ内に少なくとも1つの Intra Only でないクリップがある、または、その他のエッセンスを持っている時には、操作できません。



9.5. メディアのプレビュー/編集/エクスポート

9.5.1. 序文

概要

XFile3では、ファイルまたはXTクリップは、異なるタブから、異なるツールでプレビューできます。ブラウジング用のトランスポート機能があります。

ファイルは、クリップ作成機能でトリムでき、メタデータも編集できます。

ArchiveとRestoreタブから、XViewerで操作します。

Media Managerタブから、XViewerで操作できますが、特別な組み込みプレイヤー枠があります。

Media Managerタブのプレイヤー枠上にロードされたファイルは、選択宛先にエクスポートできます。

前提条件

XViewer内でファイルをプレビュー/編集可能にするには、以下の条件が必要です：

- XViewerがインストールされている
- 適するXViewerライセンスが、XSecureにインポートされている
 - キー10： プレビュー用
 - キー20： 編集用



9.5.2. ファイル、XTクリップのプレビュー

Archiveタブ/Restoreタブからのファイルのプレビュー方法

1. Sources枠のメディアグリッドから、プレビューするファイルを右クリックします。
2. コンテキストメニューから、**Preview File**を選択します。

Xviewerウィンドウが開き、メタデータと一緒にファイルを表示します。





9.5.3. ファイルの編集

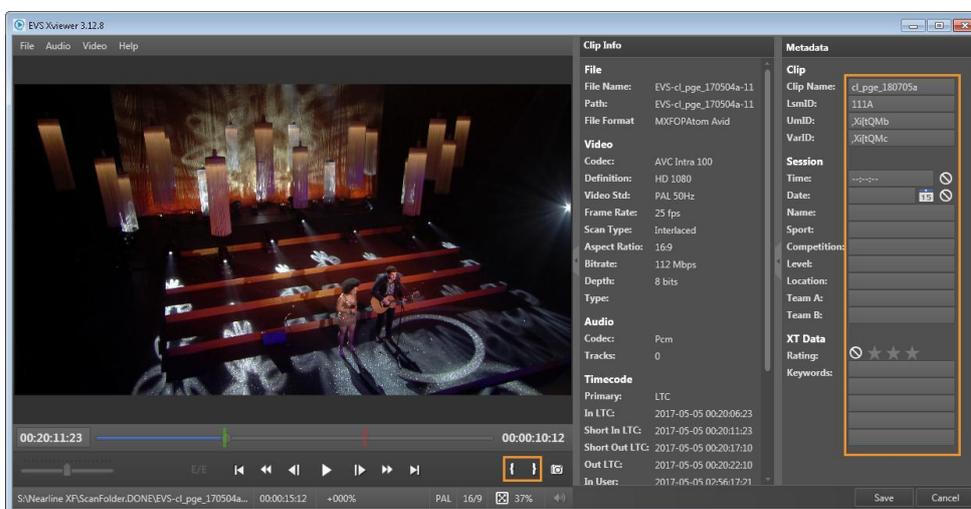
ファイルのトリム方法

ファイルのガードバンドは、INポイントの前とOUTポイントの後に表示され、クリップのアーカイブ時に保持されます。

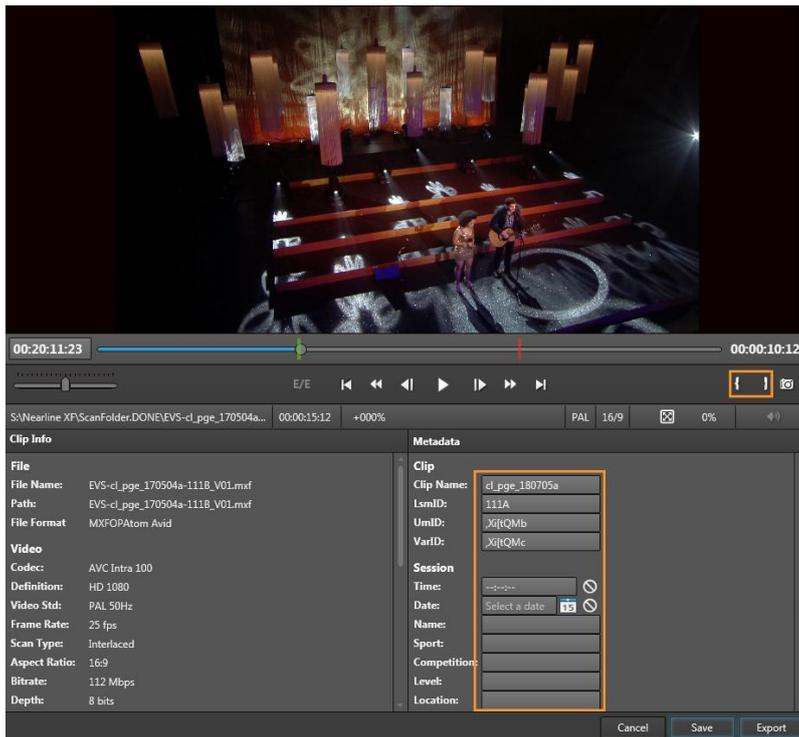
Protect INとProtect OUTの間に、新しいポイントを設定できます。

1. ウィンドウの下右のEditをクリックして、Editモードを有効にします。
編集用にMetadataフィールドとclip creationボタンが使用可能になります。

XViewer内:



Player枠内:



2. 新しい IN ポイントを設定します:

- a. 目的の位置まで、JOGバーを動かします。
- b.  をクリックします。

IN ポイントインジケータ  が、新しい IN ポイントに移動します。

3. 新しい OUT ポイントを設定します。

- a. 目的の位置まで、JOGバーを動かします。
- b.  をクリックします。

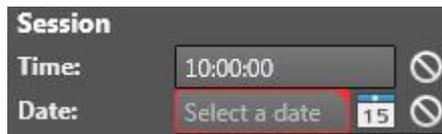
OUT ポイントインジケータ  が、新しい OUT ポイントに移動します。

4. Saveをクリックします。



ファイルメタデータの編集方法

1. ウィンドウの下右のEditをクリックして、Editモードを有効にします。
編集用にMetadataフィールドとclip creationボタンが使用可能になります。
2. Metadataフィールド内の目的のメタデータを入力/編集します。
正しい形式でないデータは、赤色枠で表示されます：

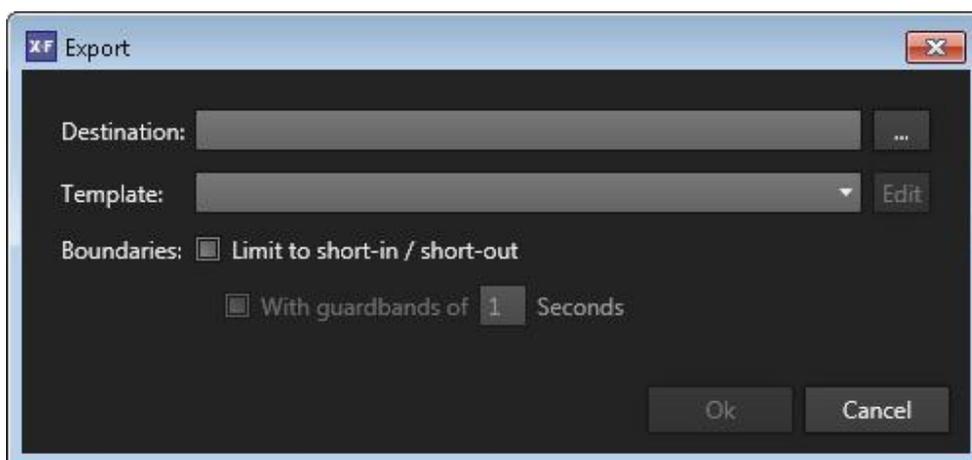


3. **Save**をクリックします。

9.5.4. ファイルのエクスポート

1. プレイヤー枠上にエクスポートするファイルをロードします。
2. ウィンドウの下右のEditをクリックして、Editモードを有効にします。
3. (オプション)ファイルをトリム、またはメタデータを編集します。
4. ウィンドウの下右のExportをクリックします。

Exportウィンドウが開きます：



5. Destinationフィールド横のBrowseボタン  をクリックして、宛先ディレクトリを選択します。
6. Templatesフィールドから、テプレートを選択し、Xsquareで実行されるジョブプロセスを指定します。
7. (オプション)エクスポートするクリップの範囲を、INポイント(Short IN)からOUTポイント(Short OUT)間に制限したいなら、Limit to short-in/short out optioオプションを選択します、これは、ガードバンド無しを意味します。
オプションをクリアすると、クリップは、オリジナルガードバンドを持ちアーカイブされます。
8. (オプション)もし、エクスポートするクリップに新しいガードバンドを設定したければ、Limit to short-in/short outオプションとWith guardbandsオプションを選択します。
十分な素材があれば、考慮されます。
9. OKをクリックします。

9.6. 1つのストレージから他のストレージへファイルを転送する

ディスク→ディスク、サーバー→サーバー、サーバー→ディスク（バックアップ操作、XFile3のアーカイブ）、ディスク→サーバー（リストア操作）で、転送が可能です。

これは、再ラッピング、トランスコード、なしで、可能です。

1. リラッピングまたはトランスコード無しでのコピー（“byte to byte copy”）では、**Templates**フィールド横のチェックを外します。



リラッピングまたはトランスコード有りでのコピーでは、**Templates**フィールド横をチェックして、**Templates**からテンプレートを選択して、Xsquareで実行されるジョブプロセスを指定します。



選択したテンプレートが、選択した素材タイプ(クリップまたはプレイリスト)の処理で使用できない時には、**Templates**フィールドを赤色枠が囲みます。



サーバーからサーバーへのコピーでは、**To EVS Server**テンプレートが、使用可能な唯一の Xsquareテンプレートです。

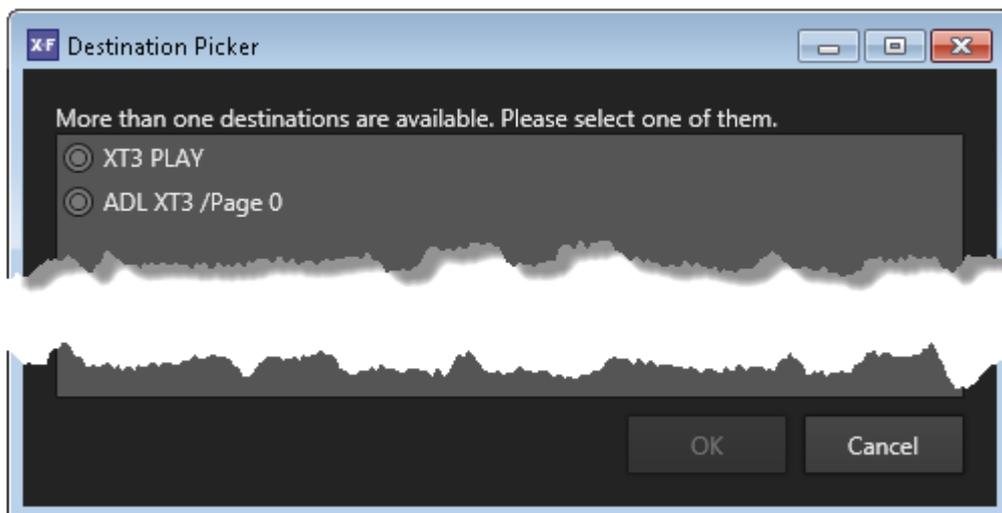


しかし、**To EVS Server**テンプレートを編集して、ユーザテンプレートとして保存できます。

2. 右側のリストまたは左側のリストから、コピーしたいファイルを選択します。
3. (オプション) 他方のメディアリストのローカルハードドライブリストから追加宛先を選択します。

**注意**

ファイルをサーバーにコピーする時には、1つの宛先しか選択できません。
サーバーリストから複数の宛先を選択すると、1つのみを選択して下さいと言われます。



4. 以下のいずれかを行います：

- 左のリストから右のリストへコピーするには、 をクリックします。
- 右のリストから左のリストへコピーするには、 をクリックします。

転送は、Job Monitoring 枠から、モニターできます。

**注意**

複数ファイルのメディアでは、マスタービデオファイルのみが、メディアグリッド内にリスト表示されます。
関連するメタデータファイル、関連するオーディオファイル、は、表示されません。
しかし、リラッピングまたはトランスコード無しでのコピー(“byte to byte copy”)では、選択ビデオファイルに
関連する全てのファイルがコピーされます。



9.7. 2つの位置間のメディアの違いの管理

9.7.1. 両方のリストに同じフィルタを適用する

左右の枠に表示されている2つのリストに、同じフィルタを適用するには、

1. 1つのリストのメディアグリッドにフィルタを適用します。

例:



2.  ボタンの1つをクリックします。

- Link Left Filtersボタンでは、左メディアグリッドのフィルタを、右メディアグリッドに適用します。

すると、ボタンがハイライトし  、左メディアグリッドが、フィルタのマスターである事を示します。

- Link Right Filters ボタンでは、右メディアグリッドのフィルタを、左メディアグリッドに適用します。

すると、ボタンがハイライトし  、右メディアグリッドが、フィルタのマスターである事を示します。

どちらかのLink Filterボタンがオンの時、リストにフィルタを追加適用すると、自動的に他方のリストにフィルタを適用します。



9.7.2. 2つのメディアリストを比較する

2つのメディアリストの比較方法

メディアグリッド内に表示される2つのリスト間の比較を行えます。

リストは、2つのローカルディスク、2つのサーバーリスト、1つのサーバーリストと1つのローカルディスクリストが可能です。

メディアグリッド内に表示されている2つのリストの内容を比較するには、

- Show Differencesボタン  をクリックします。

すると、ボタンがハイライトして 、Show Differencesボモードがオンであることを表示します：

2つのメディアグリッドは、2つのリスト間で異なるメディアのみを表示します。

カラーコードを使用して、リスト間の違いをハイライト表示します。

リストに適用されているフィルタは、比較時に考慮されます。

これは、比較は、フィルタで絞られたリスト間で行われ、選択した位置上に保存されている全てのメディアリストに対してではないことを意味しています。



Color Code for the Comparison Result

2つのリスト間で見つかった違いの分類に、各ラインの頭にカラーコードが使用されています。

カラーコード	意味																												
	<p>メディアは、他方のリストにありません。</p> <p>2つのメディアが、コーデック/ファイル形式/オーディオチャンネル数/ビデオチャンネル数が異なる時、XFile3は、2つの異なるメディアと認識して、紫色のカラーコードでフラグを付加します。</p> <p> チップ</p> <p>CodecカラムとWrapperカラムで、ファイルコーデックと形式を明確に識別できます。</p>																												
	<p>2つのリスト間で、メディアのいくつかのメタデータが異なります。</p> <p>異なるメタデータは、メディアグリッド内でハイライト表示されます。</p> <p>例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リスト1: <table border="1" data-bbox="363 846 1169 1155"> <thead> <tr> <th></th> <th>Keywords</th> <th>Rating</th> <th>Duration</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  </td> <td>TE</td> <td>0</td> <td>00:00:07:10</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>TE</td> <td>0</td> <td>00:00:07:10</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>First half</td> <td>0</td> <td>00:00:07:10</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● リスト2: <table border="1" data-bbox="363 1223 1169 1402"> <tbody> <tr> <td> </td> <td></td> <td>0</td> <td>00:00:06:19</td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td>1</td> <td>00:00:07:10</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>Second half</td> <td>0</td> <td>00:00:07:10</td> </tr> </tbody> </table> <p>以下のパラメータの1つが異なると、メタデータが異なると認識され、パラメータは、メディアグリッド内に表示されます:</p> <p>camera label、clip name、keywords、rating、TC IN、TC OUT、duration、session information</p>		Keywords	Rating	Duration	  	TE	0	00:00:07:10	 	TE	0	00:00:07:10	 	First half	0	00:00:07:10	 		0	00:00:06:19	 		1	00:00:07:10	 	Second half	0	00:00:07:10
	Keywords	Rating	Duration																										
  	TE	0	00:00:07:10																										
 	TE	0	00:00:07:10																										
 	First half	0	00:00:07:10																										
 		0	00:00:06:19																										
 		1	00:00:07:10																										
 	Second half	0	00:00:07:10																										

他のリストと異なるメディアの数は、各メディアグリッドの下に記載されます:



次のステップ

2つのフォルダの内容を比較し、ファイルが1つのリスト内にあり他方ないと識別したら、 コードにより、ファイルの1つのリストから他方へのコピーを決定できます。

2つのリスト内にあるファイルのメタデータ間の不一致を識別したら、 コードにより、他方のファイルに従いファイルの1つのメタデータの更新を決定できます。



9.7.3. 2つのリスト間のメタデータ不一致を解決する

 コードにより、2つのリスト内のファイルのメタデータの不一致が判ったら、片方のファイルのメタデータを他方に従い更新できます。

1. **Templates**フィールド横のチェックボックスをクリアします。



2. リファレンスとして使用したい、 で識別されているファイルを選択します。

3. 以下のいずれかを行います：

- もし、リファレンスファイルが左のメディアグリッド上であれば、 をクリックします。
右のメディアグリッド内のファイルのメタデータが更新されます。
- もし、リファレンスファイルが右のメディアグリッド上であれば、 をクリックします。
左のメディアグリッド内のファイルのメタデータが更新されます。

これにより、左のメディアグリッド内にリファレンスファイルのコピーが作成されます。



9.8. ジョブのモニタリング

9.8.1. Media managerタブ内のJobs枠

ジョブ枠の概要

Media Managerタブから、転送が開始されると、すぐに、ジョブがタブのJobs枠内に表示されます。

Source	Name	Destination	Template	Codec	Remaining Time	Speed	Status	Actions	Comments
s:\nearline\filevs-cl_pge_150924c-611a.mxf	cl_pge_150924c	s:\av files\EVS-cl_pge_150924c-611A_V01.mxf	- Avid MXF OPAtom	AVC-Intra 100		4.96x		Process ASAP	[OK]
s:\nearline\filevs-cl_pge_160107c-613g.mxf	cl_pge_160107c	s:\av files\EVS-cl_pge_160107c-613G_V01.mxf	- Avid MXF OPAtom	AVC-Intra 100		4.64x		Process ASAP	[OK]
s:\nearline\filevs-cl_pge_160107b-613f.mxf	cl_pge_160107b	s:\av files\EVS-cl_pge_160107b-613F_V01.mxf	- Avid MXF OPAtom	AVC-Intra 100		4.59x		Process ASAP	[OK]
s:\nearline\filevs-cl_pge_160107d-613h.mxf	cl_pge_160107d	s:\av files\EVS-cl_pge_160107d-613H_V01.mxf	- Avid MXF OPAtom	AVC-Intra 100		4.75x		Process ASAP	[OK]

各ジョブラインの頭のカラーコードとStatusカラム内の色アイコンが、現在のジョブの正確なステータスを示します。

転送ジョブは、他のタイプのジョブと一緒に、Monitoringタブからでも監視できます。

ジョブステータスカラーコード

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、各ジョブの正確なステータスを示しています。

ステータス	ジョブステータスカラーコード	ジョブステータスアイコン	意味
Waiting			ジョブが作成され、XFile3データベースに保存されています。
Scheduled			ジョブは、XsquareIに送信され、処理をスケジュールされています。
Running			ジョブは実行中です。
Cancelled			ジョブはキャンセルされました。
Failed			ジョブは失敗しました。
Completed			ジョブは、正しく、完了しました。



カラム説明

ジョブカラム説明

カラム	説明
Source	転送するクリップの完全パス。
Name	転送されたクリップの名前。
Destination	転送されたクリップが保存される宛先。
Template	ジョブの処理に使用された選択テンプレート。
Codec	転送されたクリップのコーデック。
HDR Profile	ファイルのHigh Dynamic Rangeプロファイル。
WCG	ファイルのWide Color Gamutプロファイル。
Remaining Time	各ジョブの処理の残時間。
Speed	各ジョブの現在の速度、xの倍数で表示。
Status	現在のジョブステータスを表すアイコン。
Actions	ジョブの管理用のボタン。
Comments	XsquareとXFile3からの情報。



9.8.2. ジョブのフィルタリング

Media ManagerタブのJobs枠から、ステータスにより、ジョブにフィルタできます。
Jobs枠の上部に、6つのフィルタボタンがあります。



各ジョブステータスを持つジョブの数が、各ボタン上に記載されています。

フィルタが有効な時、ボタンがハイライト表示されます。
デフォルトでは、全てのフィルタが選択されています。

フィルタボタン	動作
	Jobs枠内に、待機たジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、スケジュールされたジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、動作中ジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、キャンセルされたジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、失敗したジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、完了したジョブが表示されます。





10. メディアの検索

10.1. 概要

XFile3ウィンドウの異なるタブ内に、Elementsグリッドが表示されます。

これは、Mediaグリッド(Archiveタブ、Restoreタブ、Media Managerタブ)または、Jobsグリッド(Monitoringタブ)です。

ほとんどの場合には、グリッドはユーザニーズに従いカスタマイズでき、素材検索を容易にするツールを提供します。

Media ManagerタブとMonitoringタブから、Additional Filterツールが使用できます。



10.2. カラムのオーガナイズ

カラムのサイズ変更

カラムの交差点上にマウスカursorを置き、右または左にドラッグして、カラムのサイズ変更が可能です。



カラムの順番変更

カラムは、並べ替えできます。



注意

これは、Auto ArchiveタブとAuto RestoreタブのJobs枠上のRuleカラムには、適用できません。

カラムヘッダを選択して、右または左の目的位置にドラッグします。
太い青色ラインが、カラムをドロップする位置を示してくれます。



表示するカラムの選択

表示したいカラムを選択できます。



注意

これは、Auto ArchiveタブとAuto RestoreタブのJobs枠内で、ルールとジョブに対して、独立して行えます。

表示するカラムを選択するには、

1. カラムヘッダを右クリックします。
コンテキストメニューで、全ての使用可能カラムが表示されます。
リストは、グリッドにより、異なります。
2. 以下のいずれかで、カラムを選択します：
 - Show all columnsをクリックして、グリッド内に全てのカラムを表示します。
 - 必要なカラム横のチェックボックスをチェックします。



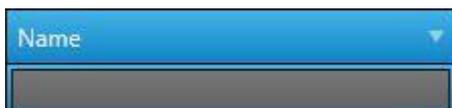
10.3. グリッド内の項目の検索

グリッド内の項目のソート

ほとんどのグリッドでは、ソートしたい基準項目のカラムヘッダをクリックして、グリッド内の素材のソート順番を変更できます。

小さい三角形が、ソート順番を示しています。

再度、カラムヘッダをクリックすると、ソート順番を、昇順→降順、または逆に変更します。



全てのメタデータ上の検索 - グローバルサーチ

Global Searchツールでは、グリッドの上部のQuick Searchフィールド内に文字列を入力して、全てのタイプのメタデータ内からの検索が可能です。



これは、Monitoringタブ、ArchiveタブとRestoreタブのSources枠から使用できます。

Media Managerタブからは、使用できません。

すると、Elementsグリッドは、メタデータが入力した文字列を含むクリップをリスト表示します。

また、Quick Searchフィールド内に、間にスペースを持つ複数の文字列を入力して、複数検索の組み合わせが可能です。

例: EVS 123

すると、Elementsグリッドは、両方の文字列を含むメタデータを持つクリップをリスト表示します。

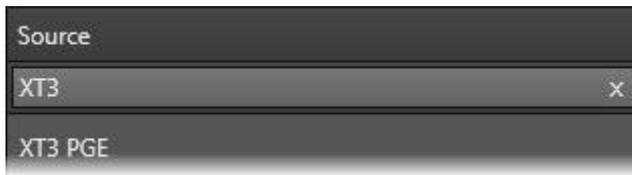
検索フィルタをクリアするには、Quick Searchフィールド横の  をクリックします:





シングルメタデータタイプでの検索 - アドバンスドサーチ

Advanced searchは、Elementsグリッドのカラムの一番上のSearchフィールド内に文字列を入力して、一度に、シングルメタデータタイプ上でのみ実行可能です。



検索フィルタをクリアするには、Searchフィールド横の  をクリックします。





11. テンプレートの管理

11.1. 序文

テンプレートについて

ジョブテンプレートは、Xsquareで実行されるジョブプロセスを指定します。

異なる種類のテンプレートがあります：

- デフォルトXsquareテンプレート：

- Wrapper templates
- Codec templates

これらは、デフォルトで、Xsquare内にあります。

これらは、XFile3から削除できませんが、編集可能でユーザテンプレート作成の元になります。

- User templates (ユーザテンプレート)：

XFile3上で、ユーザが、デフォルトXsquareテンプレートを元に作成したもの。

いくつかのユーザテンプレートは、プレイリストに関連するジョブ専用です。

これらは、アーカイブ目的でのみ使用できます。

- Playlist - EDL + Clipsテンプレート： EDLとプレイリスト素材のアーカイブに使用します。
- Playlist - EVS EDL Onlyテンプレート： ビデオとオーディオ素材は無く、プレイリストエディットデシジョンリスト(EDL)のみのアーカイブに使用します。

以下のオペレーションが、テンプレート上で可能です：

- ユーザテンプレートの作成、編集、削除、インポート、エクスポート
- ユーザテンプレート作成の基として、デフォルトXsquareテンプレートの編集とインポート



Template Manager ツール

概要

Template Managerツールは、Auto Archiveタブ、Archiveタブ、Streamingタブ、Media Managerタブから使用できます。

これは、各タブ内でユーザが使用可能なテンプレートの選択に使用します。

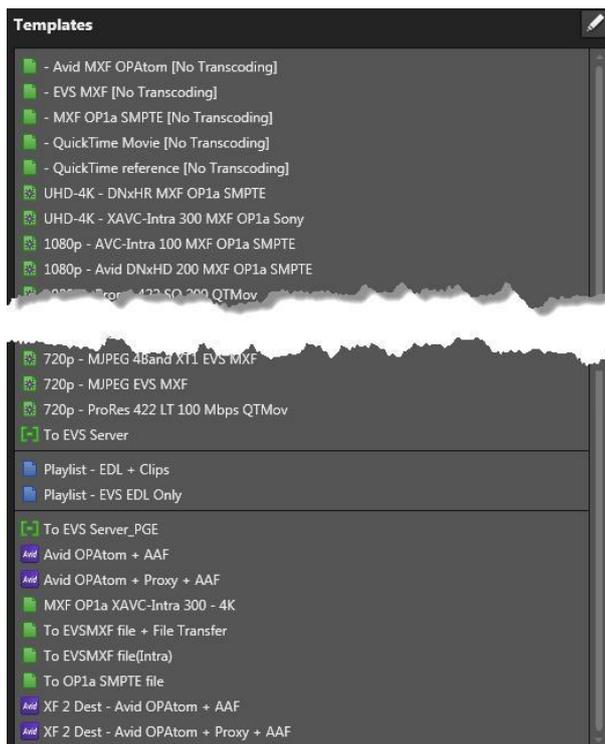
そのため、タブは、便利なテンプレートのみを提案しています。

Template Managerツール内に表示されるテンプレートのリストは、どのタブから呼び出してもユニークですが、各タブ内に異なるルールが適用され、全ての選択テンプレートが、各タブから使用可能ではありません。

Template Managerツールで選択したテンプレートの表示

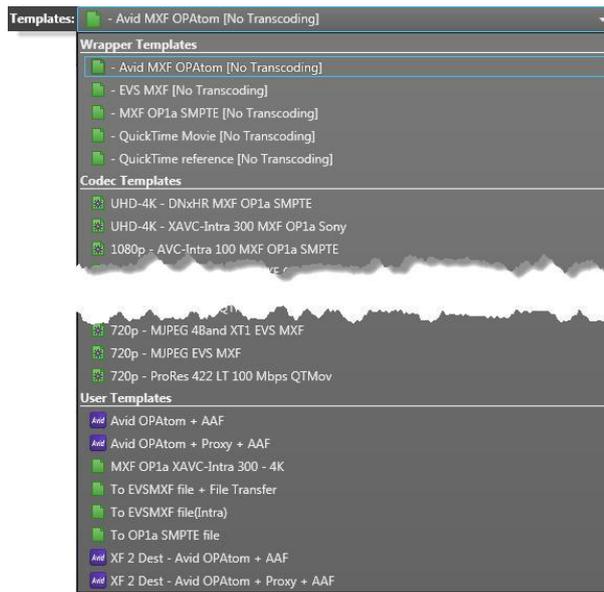
開いているタブに依存し、Template Managerツールから選択したテンプレートのリストは、2つの以下の方法のいずれかで表示されます：

- Templates枠内、Auto Archiveタブ、Archiveタブから：





- **Templates**フィールドを開いて、StreamingタブとMedia Managerタブから：



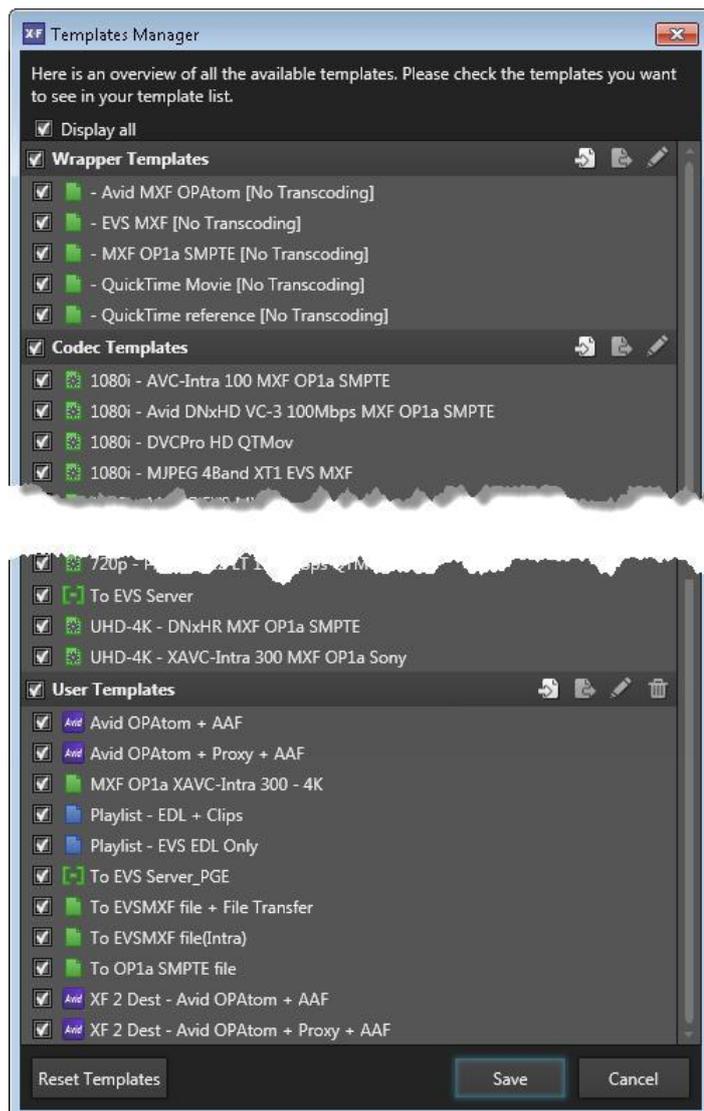


11.2. Template Managerツールからテンプレートの選択

Template Managerへのアクセス方法

Template Managerにアクセスするには、

- タブの上右のTemplate Managerボタン **Template Manager** をクリックします。
Template Managerウィンドウが開きます：



ここでは、3カテゴリのテンプレートをリスト表示します： Wrapper Templates、Codec Templates、User Templates。



表示するテンプレートの選択方法

- 全てのカテゴリから全てのテンプレートを選択するには、リスト上部の**Display all**チェックボックスをチェックします。
- カテゴリから全てのテンプレートを選択(選択解除)するには、各リスト: **Wrapper templates**、**Codec templates**、**User templates** の上部の対応するチェックボックスをチェック(チェック解除)します。
- テンプレートのみを選択するには、個々のテンプレート横のチェックボックスをチェックします。



11.3. テンプレートの作成/編集

概要

ユーザテンプレートは、デフォルトXsquareテンプレートまたは既存のユーザテンプレートを基に作成できます。

ユーザテンプレートのみが変更可能です。

もし、デフォルトXsquareテンプレートを選択し編集したら、新しいユーザテンプレートとして保存することしか許可されません。

Template Managerツールからユーザテンプレートを作成/編集する方法

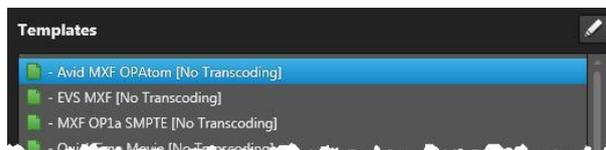
Template Managerツールからユーザテンプレートを作成/編集するには、

1. テンプレートのラインを選択すると、ラインがハイライト表示されます。
2. このカテゴリのヘッダ横の  ボタンをクリックします。
Xsquareウィンドウが開き、選択テンプレートのコンフィグパラメータを表示します。
3. パラメータを編集します。
4. 以下のいずれかの動作を行います
 - 新しい名前で作成するには、**Save As**をクリックします。
そして、新しいテンプレート名を入力し、**OK**をクリックします。
 - 更新したユーザテンプレートを作成するには、**Save**をクリックします。

Auto Archiveタブ/ArchiveタブのTemplates枠からユーザテンプレートを作成/編集する方法

Auto Archiveタブ/Archiveタブから、ユーザテンプレートを作成/編集するには、

1. 1つのテンプレートを選択します。



2. 右側の  をクリックします。
Xsquareウィンドウが開き、選択テンプレートのコンフィグパラメータを表示します。
3. パラメータを編集します。



4. 以下のいずれかの動作を行います

- 新しい名前でテンプレートを保存するには、**Save As**をクリックします。
そして、新しいテンプレートの名前を入力し、**OK**をクリックします。
- 更新したユーザテンプレートを保存するには、**Save**をクリックします。

Streamingタブ/Media ManagerタブのEditボタンからユーザテンプレートを作成/編集する方法

Streamingタブ/Media ManagerタブのEditボタンから、ユーザテンプレートを作成/編集するには、

1. **Templates**フィールドから、編集したいテンプレートを選択します。
2. **Templates**フィールド横のEditボタンをクリックします。
Xsquareウィンドウが開き、選択テンプレートのコンフィグパラメータを表示します。
3. パラメータを編集します。
4. 以下のいずれかの動作を行います
 - 新しい名前でテンプレートを保存するには、**Save As**をクリックします。
そして、新しいテンプレートの名前を入力し、**OK**をクリックします。
 - 更新したユーザテンプレートを保存するには、**Save**をクリックします。

このテンプレートは、自動的に、選択され、**Templates**フィールド内に表示されます。



11.4. テンプレートのリストをデフォルトにリセットする

Template Managerツール内に表示されるテンプレートのリストを、XFile3固有のデフォルトにリセットするには、

1. Template Managerツールを開きます。
2. Template Managerウィンドウの底の **Reset Templates**ボタンをクリックします。
メッセージで、XFile3が再起動され、全ての Xsquareテンプレートが初期XFile3インストール状態にリセットされることを知らせます。
3. **Yes** をクリックして続けます。

ユーザが作成した全てのテンプレートは、リストから削除されます。

11.5. ユーザテンプレートの削除

Template Managerツールからのユーザテンプレートの削除方法

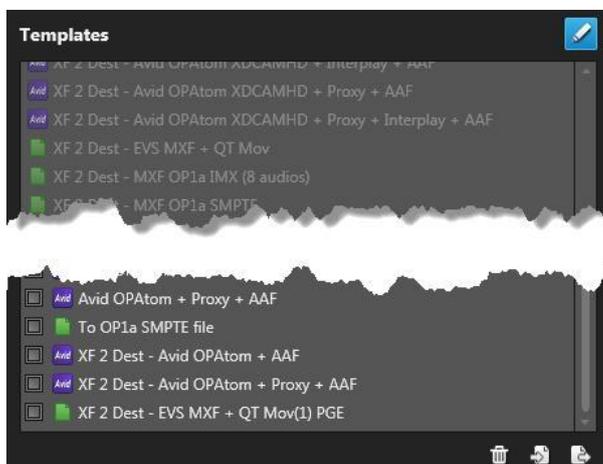
Template Managerツールから、ユーザテンプレートを削除するには、

1. テンプレートを選択します、すると、ラインがハイライト表示されます。
2. このカテゴリのヘッダ横の  ボタンをクリックします。

Templates枠からのユーザテンプレートの削除方法

Auto Archiveタブ/Archiveタブから、ユーザテンプレートを削除するには、

1. Templates枠の上右端の  をクリックして、Editモードをオンにします。
Templates枠は、ユーザテンプレートのみへのアクセスに制限します。



2. チェックボックスをチェックして、削除するユーザテンプレートを選択します。
3. Templates枠下の  をクリックします。

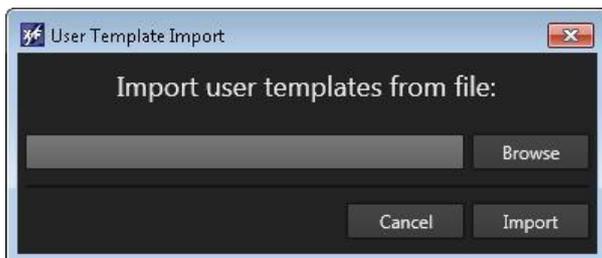
11.6. ユーザテンプレートのインポート

Template Managerツールからのユーザテンプレートのインポート方法

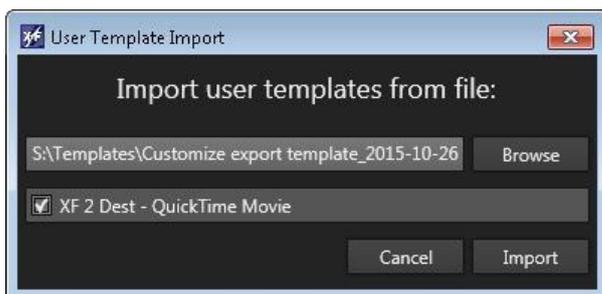
Template Managerツールから、ユーザテンプレートをインポートするには、

1.  ボタンをクリックします。

User Template Importウィンドウが開きます：



2. **Browse**ボタンをクリックします。
3. エクスプローラウィンドウから、インポートするテンプレートを選択し、**Open**をクリックします。
4. User Template Importウィンドウから、テンプレート横のチェックボックスをチェックします：



5. **Import**をクリックします。



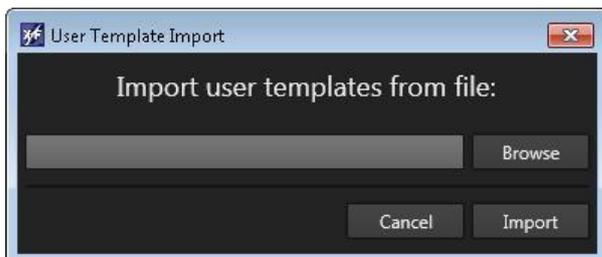
Templates枠からのユーザテンプレートのインポート方法

Auto Archiveタブ/ArchiveタブのTemplates枠からユーザテンプレートをインポートするには、

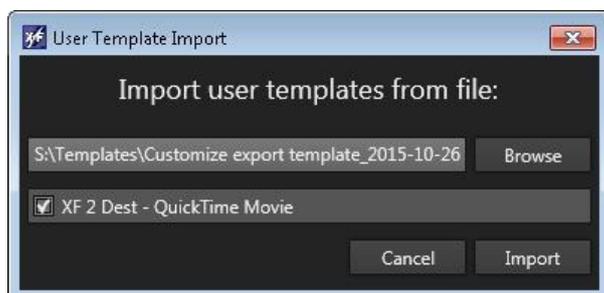
1. Templates枠の上右端の  をクリックして、Editモードをオンにします。
Templates枠は、ユーザテンプレートのみへのアクセスに制限します。

2.  をクリックします。

User Template Importウィンドウが開きます：



3. **Browse**ボタンをクリックします。
4. エクスプローラウィンドウから、インポートするテンプレートを選択して、**Open**をクリックします。
5. User Template Importウィンドウから、テンプレート横のチェックボックスをチェックします。



6. **Import**をクリックします。

メッセージボックスで、インポートが成功したことを表示します。

全てのインポートされたユーザテンプレートは、Templates枠の下部に表示されます。

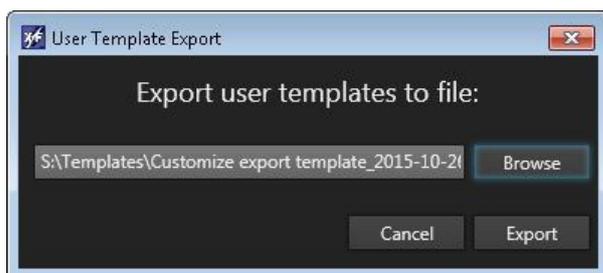


11.7. ユーザテンプレートのエクスポート

Template Managerツールからのユーザテンプレートのエクスポート方法

Template Managerツールから、ユーザテンプレートをエクスポートするには、

1. テンプレートを選択します、するとラインがハイライト表示します。
複数テンプレートの選択が可能です。
2. このカテゴリ横の  ボタンをクリックします。
User Template Exportウィンドウが開きます：



3. **Browse**ボタンをクリックし、テンプレートの宛先を選択します。
4. User Template Exportウィンドウから、**Export**をクリックします。

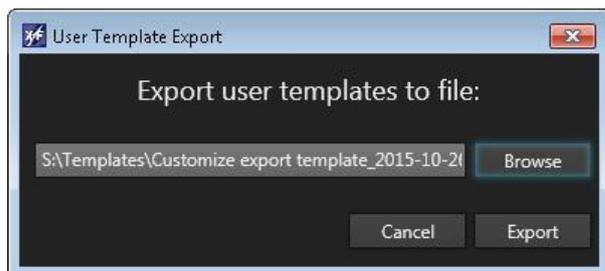


Templates枠からのユーザテンプレートのエクスポート方法

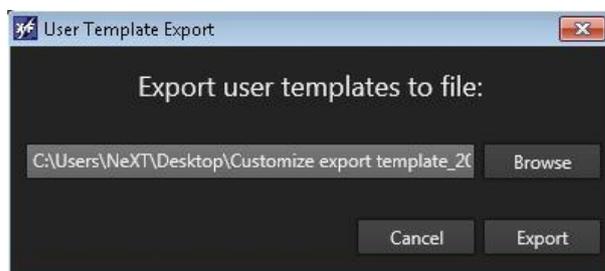
Auto Archiveタブ/ArchiveタブのTemplates枠から、ユーザテンプレートをエクスポートするには、

1. Templates枠の上右端の  をクリックして、Editモードをオンにします。
Templates枠は、ユーザテンプレートのみへのアクセスに制限します。
2. チェックボックスをチェックして、エクスポートするユーザテンプレートを選択します。
3.  をクリックします。

User Template Exportウィンドウが開きます：



4. **Browse**ボタンをクリックします。
5. エクスプローラウィンドウから、テンプレートの宛先を選択し、OKをクリックします。
6. User Template Exportウィンドウから、Exportをクリックします。



メッセージボックスで、エクスポートが成功したことを表示します。

全てのカスタムテンプレートは、一度に、ただ1つのxmlファイルにエクスポートされ、ファイルはフォーマットに従い名前を付けられます：

Customize export template_date hour minute second.xml

例： Customize export template_2013-11-20 15.00.19.xml





12. ジョブのモニタリング

12.1. 序文

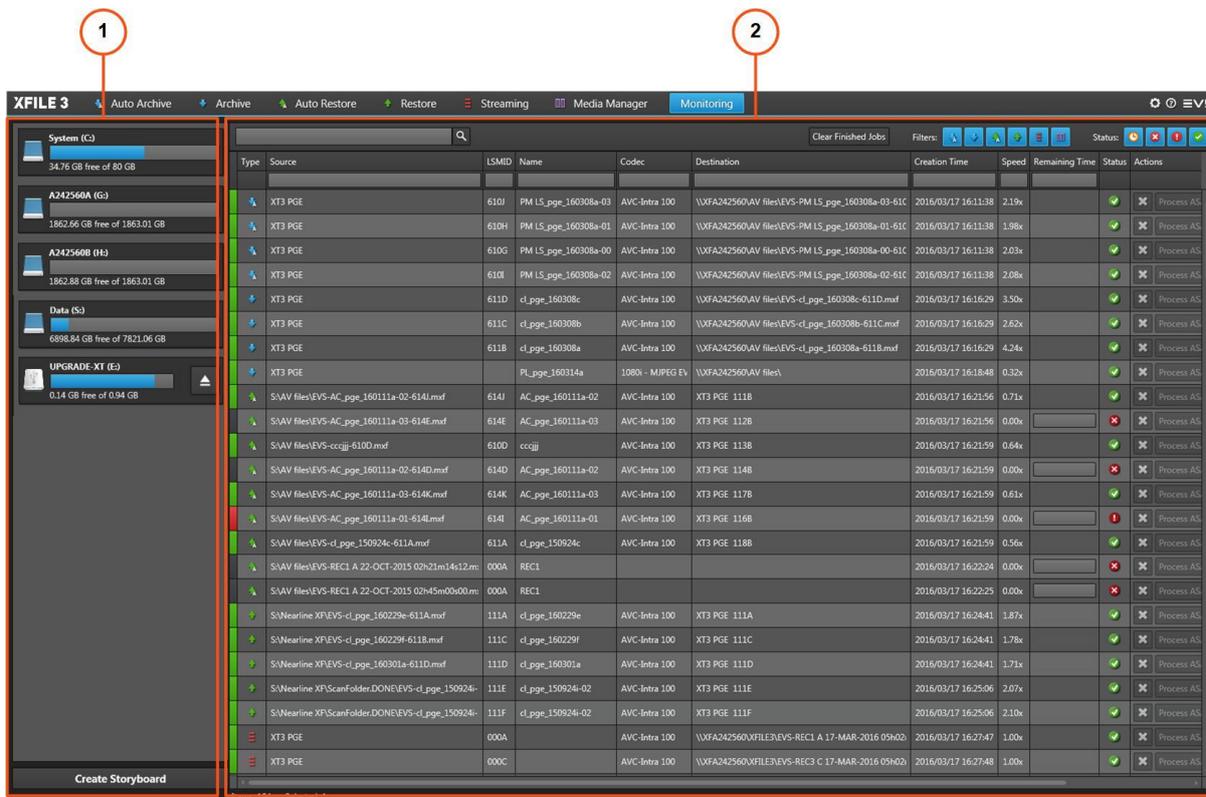
XFile3から開始されたジョブは、異なる場所から、モニタリングできます。

- ほとんどのタブは、現在のタブに関連するジョブをモニター/管理するJobs枠を持っています。
これは、Auto Archiveタブ/Archiveタブ/Auto Restoreタブ/Restoreタブ/Media Managerの場合です。
- MonitoringタブからのJobs枠は、XFile3と使用可能な全ての他のタブ(Streamingタブ含む)で管理される全てのジョブを集めます。



12.2. Monitoringタブ

Monitoringタブの概要



Hard Drives 枠 (1)

Monitoringタブの左のHard Drives枠には、XFile3により検出された全てのハードドライブが表示され、ストーリーボード作成に使用します。

Jobs 枠 (2)

Monitoringタブの左のJobs枠は、ジョブモニタリングに使用します。

ここには、Auto Archive/Archive/Auto Restore/Restore/Streaming/Media Managerタブから開始された全てのジョブの概要が表示されます。

Jobsグリッドの上部に各タイプのフィルタボタンがあります。ジョブタイプ/ジョブステータスに基づき、グリッドへのフィルタに使用されます。



ジョブステータスカラーコード

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、各ジョブの正確なステータスを示しています。

ステータス	ジョブステータスカラーコード	ジョブステータスアイコン	意味
Waiting			ジョブが作成され、XFile3データベースに保存されています。
Scheduled			ジョブは、XsquareIに送信され、処理をスケジュールされています。
Running			ジョブは実行中です。
Cancelled			ジョブはキャンセルされました。
Failed			ジョブは失敗しました。
Completed			ジョブは、正しく、完了しました。



ジョブカラム説明

カラム	説明
Type	<p>アイコンは、ジョブのタイプを表します：</p> <ul style="list-style-type: none">  - Auto Archiveジョブ  - Manual Archiveジョブ  - Auto Restoreジョブ  - Manual Restoreジョブ  - Streamingジョブ  - Media Managerタブから開始されたジョブ
Source	対応するタブ内のソース情報を表示します。
LSM_ID	クリップに割り当てられたLSM IDを表示します。
Name	クリップ/ファイルの名前を表示します。
Codec	アーカイブ/リストアされたクリップのビデオコーデック。
HDR Profile	ファイルのHigh Dynamic Rangeプロファイル。
WCG	ファイルのWide Color Gamutプロファイル。
Destination	クリップがアーカイブ/リストア/ストリーム/コピーされる宛先を表示します。
Creation Time	ジョブの作成日付と時間を表示します。
Speed	ジョブの現在のアーカイブ/リストア速度を、xの倍数で表示します。
Remaining Time	ジョブの残時間を表示します。
Status	現在のジョブステータスを表すアイコン。
Actions	ジョブの管理用のボタン。
Comments	XsquareとXFile3からの情報を表示します。



12.3. ジョブの管理

以下のオペレーションは、ジョブが表示されているどのタブからでも実行できます。

ジョブの選択方法

選択した全てのジョブは、青色でハイライト表示されます。

ジョブの選択には、いくつかの方法があります：

- 1つのジョブラインをクリックします。
- 連続したジョブのリストを選択するには、**SHIFT**を押したままで、リストの最初と最後の項目を選択します。
- 非連続のジョブのリストを選択するには、**CTRL**を押したままで、項目を選択します。
- 全てのジョブを選択するには、**Ctrl + A**を押します。

ジョブのソート方法

要素をソートしたいパラメータのカラムヘッダをクリックして、グリッド内の要素のソート順番を変更可能です。

カラムヘッダを再クリックすると、ソート順番を降順から昇順に、またはその逆に変更します。



注意

DestinationとActionカラムは、ソートできません。

ジョブのキャンセル方法

Waiting/Scheduled/Runningジョブは、キャンセル可能です。

ジョブをキャンセルするには、

1. キャンセルするジョブを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 選択ジョブを右クリックし、コンテキストメニューから**Cancel**を選択します。
これは、1つのジョブ/複数のジョブの選択時に適用できます。
 - Actionsカラムから  をクリックして、ジョブをキャンセルします。



ジョブのリトライ方法

Cancelled/ Failedジョブを、リトライ可能です。

ジョブをリトライするには、

1. 目的のジョブを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 選択ジョブを右クリックし、コンテキストメニューから**Retry**を選択します。
これは、複数のジョブの選択時に適用できます。
 - Actionsカラム内で、 をクリックします。

ジョブの優先順位の変更方法

Scheduledジョブの優先順位は、変更可能です。

ジョブの優先順位を変更すると、選択ジョブはスケジュールジョブキューの先頭に移動され、最優先で処理されます。

ジョブの優先順位を変更するには、

1. 目的のジョブを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 選択ジョブを右クリックし、コンテキストメニューから**Process ASAP**を選択します。
これは、ジョブの複数選択時に適用可能です。
 - Actionsカラムから  をクリックします。

失敗した/キャンセルしたジョブを隠す方法

Cancelled / Failed ジョブを、リストから隠すことができます。
これは、Monitoringタブからは使用できません。

ジョブを隠すには、

1. 目的のジョブを選択します。
2. 選択ジョブ上で、右クリックします。
3. コンテキストメニューから、**Hide** を選択します。

これは、複数選択のジョブに適用できます。



12.4. ジョブのフィルタリング

Monitoringタブから、Jobsグリッドの上部の複数のタイプのフィルタボタンを使用できます。
以下に従い、ジョブにフィルタできます、

- ジョブタイプ



- ジョブステータス



複数のフィルタを組み合わせることができます。

フィルタがオンの時には、ボタンがハイライト表示されます。
デフォルトでは、全てのフィルタが選択されています。

タイプのフィルタ

フィルタボタン	動作
	Jobs枠内に、オートアーカイブジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、手動アーカイブジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、オートリストアジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、手動リストアジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、ストリーミングジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、Media Managerタブから開始された転送ジョブが表示されます。



ステータスのフィルタ

フィルタボタン	動作
	Jobs枠内に、スケジュールされたジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、キャンセルされたジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、失敗したジョブが表示されます。
	Jobs枠内に、完了したジョブが表示されます。



13. アーカイブされたクリップのストーリーボードの作成

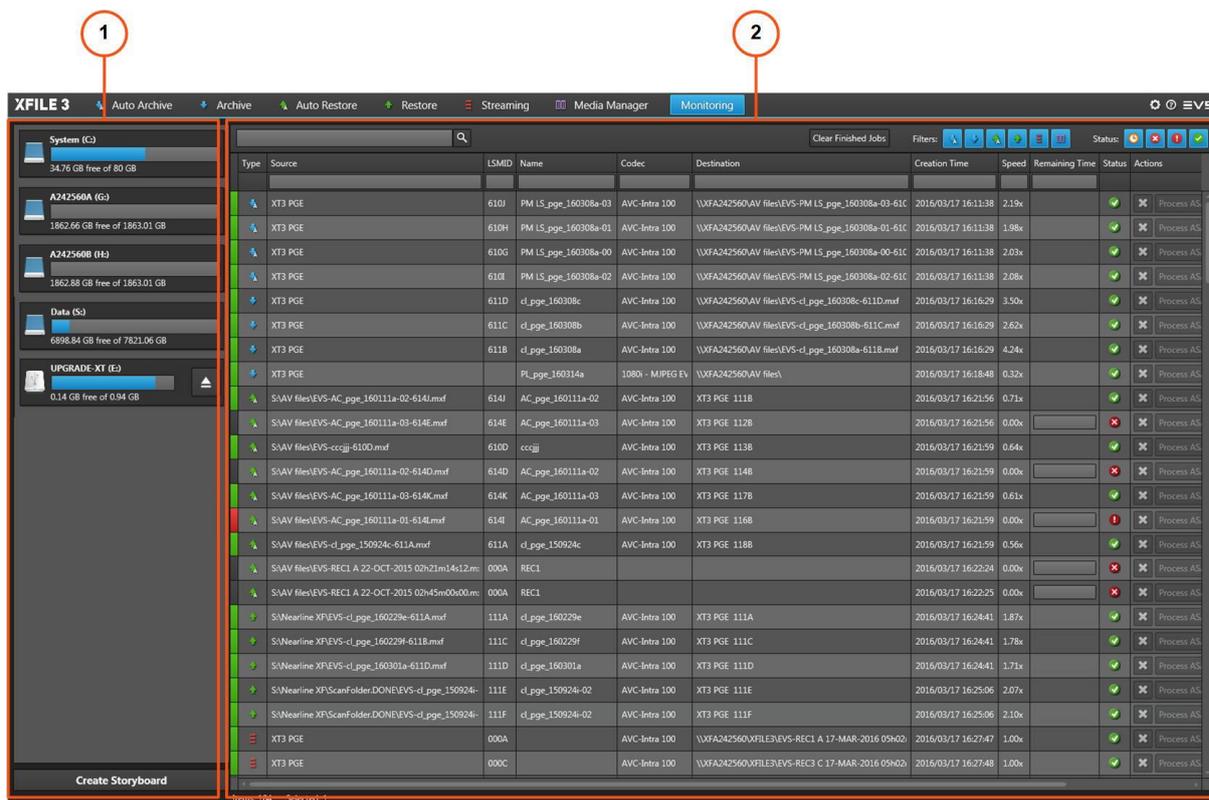
13.1. 概要

ストーリーボードとは

ストーリーボードは、目標フォルダにアーカイブされた一連のクリップで作られたHTMLファイルです。

これは、Monitoringタブの左枠で作成できます。

Monitoringタブの概要





Hard Drives 枠 (1)

Monitoringタブの左のHard Drives枠には、XFile3により検出された全てのハードドライブが表示され、ストーリーボード作成に使用します。

マッピングされたドライブとモバイルハードドライブも、検出されます。

モバイルハードドライブは、 をクリックして、手動でイジェクトできます。

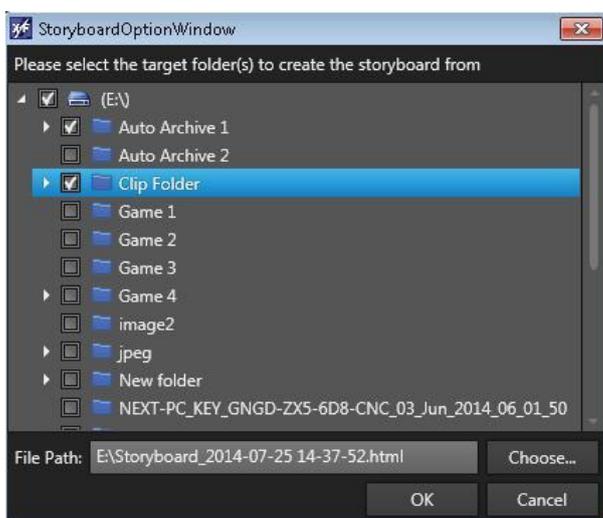
Create Storyboardボタンを使用して、選択ドライブ上にアーカイブされたクリップでのファイルを作成します



13.2. ストーリーボードの作成方法

ストーリーボードを作成するには、

1. MonitoringタブのHard Drives 枠から、クリップがアーカイブされたハードドライブを選択します。
2. **Create Storyboard**ボタンをクリックします。
Storyboard Optionウィンドウが開きます。
これには、選択したハードドライブ内に含まれているフォルダが表示されます。
3. クリップがアーカイブされた目標フォルダを選択します。



4. **Choose**をクリックして、ストーリーボードを保存するフォルダを選択します。
File Pathフィールド内に、全体パスが表示されます。
5. **OK**をクリックします。

ストーリーボードは、目標フォルダ内に保存されたクリップと一緒に作成されます。
これは、指定したファイルパスに格納されています。

名前は以下の形式を持っています：

Storyboard_creation date creation time.html (例： Storyboard_2014-01-27 15-30-44.html).



13.3. ストーリーボードフィールド説明

Storyboard EVS XFile3

XFile3 version 03.04.15
File creation time: 2014/01/27 - 15:41:56

Clip ID	Clip Name	TC IN	Duration	Keyword 1	Keyword 2	Keyword 3	Keyword 4	Keyword 5	Creation Date Time	Backup Date Time	Metadata Filename	File Size
113A *	pyrtest	00:01:54.19	00:01:14.28						2014/01/06 10:14:19	2014/01/13 12:00:51	E:\Game 2\EVS-pyrtest-113A.evs.xml	252MB
211A *	8F4v.2	09:55:09.21	00:00:24.00	K1	K2				2013/12/24 11:44:19	2014/01/02 14:29:51	E:\EVS-8F4v.2-211A.evs.xml	402MB
211C	8F4v.2	09:56:12.12	00:00:24.00	KY999999	KY00	KY08	KY1	KY1	2013/12/24 11:44:20	2014/01/02 14:29:49	E:\EVS-8F4v.2-211C.evs.xml	402MB
311A *	8F4v.2	09:55:09.21	00:00:24.00	K1	K2				2013/12/24 11:44:28	2014/01/10 17:53:32	E:\Game 2\EVS-8F4v.2-311A (2).evs.xml	402MB
311A *	8F4v.2	09:55:09.21	00:00:24.00	K1	K2				2013/12/24 11:44:28	2014/01/10 17:53:28	E:\Game 2\EVS-8F4v.2-311A (1).evs.xml	402MB
311A *	8F4v.2	09:55:09.21	00:00:24.00	K1	K2				2013/12/24 11:44:28	2014/01/10 17:53:27	E:\Game 2\EVS-8F4v.2-311A.evs.xml	402MB
311B =	8F4v.2	09:56:09.12	00:00:24.00	KY1	KY1	KY1	KY1	KY1	2013/12/24 11:44:29	2014/01/13 10:08:37	E:\Game 2\EVS-8F4v.2-311B.evs.xml	402MB
411A *	8F4v.2	09:55:09.21	00:00:24.00	K1	K2				2013/12/24 11:44:44	2014/01/02 14:29:47	E:\EVS-8F4v.2-411A.evs.xml	402MB
411B =	8F4v.2	09:56:09.12	00:00:24.00	KY1	KY1	KY1	KY1	KY1	2013/12/24 11:44:44	2014/01/02 14:29:45	E:\EVS-8F4v.2-411B.evs.xml	402MB
29-932A *	cccc	12:52:45.22	00:00:40.00						2014/01/16 12:52:55	2014/01/17 14:34:52	E:\Game 2\EVS-cccc-932A.evs.xml	602.01MB
29-932B =	cccc	12:52:02.22	00:00:40.00						2014/01/16 12:52:02	2014/01/20 10:48:24	E:\Game 2\EVS-125202,22-932B.evs.xml	
29-051A *	cccc	12:53:39.24	00:00:40.00						2014/01/16 12:53:49	2014/01/17 10:50:30	E:\Game 2\EVS-cccc-051A.evs.xml	
29-050A *	12:53:43,24	12:53:33,24	00:00:40.00						2014/01/16 12:53:43	2014/01/17 10:50:36	E:\Game 2\EVS-125343,24-050A.evs.xml	
29-050B *	12:53:44,24	12:53:34,24	00:00:40.00						2014/01/16 12:53:44	2014/01/17 10:50:34	E:\Game 2\EVS-125344,24-050B.evs.xml	
29-050C =	12:53:45,24	12:53:35,24	00:00:40.00						2014/01/16 12:53:45	2014/01/17 10:50:32	E:\Game 2\EVS-125345,24-050C.evs.xml	

Total: 15 clips

ストーリーボードは、各クリップに対して以下の要素を表示します：

クリップ情報	説明
Clip ID	クリップに割り当てられたIDが表示されます。
Clip Name	クリップに割り当てられた名前が表示されます。
TC IN	クリップに割り当てられているクリップのIN点を表示します。
Duration	クリップに割り当てられているクリップのINからOUTまでのデュレーションを表示します。
Keyword1	クリップに割り当てられた最初のキーワードを表示します。
Keyword2	クリップに割り当てられた2番目のキーワードを表示します。
Keyword3	クリップに割り当てられた3番目のキーワードを表示します。
Keyword4	クリップに割り当てられた4番目のキーワードを表示します。
Keyword5	クリップに割り当てられた5番目のキーワードを表示します。
Creation Date Time	クリップが作成された日付を表示します。
Backup Date Time	クリップがアーカイブされた日付を表示します。
Metadata Filename	クリップに割り当てられているEVS XMLファイルを表示します。
File Size	クリップに割り当てられたファイルのサイズを表示します。



14. Auto Archive and Manual Restoreモード

14.1. 製品説明

序文

Auto ArchiveとManual RestoreのみでXFile3を使用する、専用のXSecureライセンスキーがあります。この場合には、Auto ArchiveタブとRestoreタブのみが表示されます。

XFile3 Full Package内にあるAuto ArchiveタブとRestoreタブのいくつかの機能は、AutoArchive and Manual Restore onlyモード内にはありません。

Auto Archiveタブは、指定サーバーから選択宛先へのクリップ/プレイリストの自動アーカイブ用ルールの作成に使用します。

Restoreタブは、ハードドライブからネットワーク上のEVSサーバーへのクリップ/プレイリストの手動リストアに使用します。

ライセンス管理

AutoArchive and Manual Restore onlyモードで作業するには、ライセンスキー 10 - 30があり、有効でなければなりません。



注意

もし、30と20 (Streaming only) 両方のキーがあり、有効なら、どちらのモードで作業するか、聞かれます。



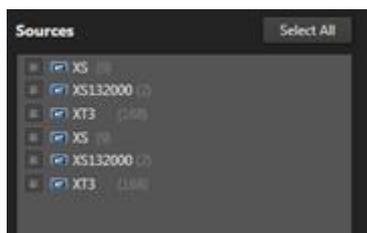
Full PackageモードとAuto Archive and Manual Restore Onlyモードの違い

AutoArchive and Manual Restore onlyモードでは、

- Auto ArchiveタブとRestoreタブのみ、が表示されます。
- ステータスバーは、表示されません。

Auto Archiveタブ内：

- (前回のセッションで作成したとしても)起動時に、自動アーカイブルールはロードされません。
もし、2番目のルールを作成しようとする、1番目のルールのパラメータは、2番目のパラメータでリセットされます。
- サーバーリストは、サーバー構造(ページ/バンク)なしで表示され、サーバーレベルでのみの選択しかできません：



- Template Managerツールはありません。
- 使用可能テンプレート： wrapperテンプレートのみ
(codecsテンプレート、プレイリスト関連ジョブ専用テンプレート、はありません)
- テンプレートの編集は、できません。
- Destinations枠は、宛先パスの選択のみに制限されます：
(Supermotion Clipsパラメータ、metadata割り当て/更新、アーカイブオプション、はありません)
- Filters枠は、Archiveフィルタのみに制限されます：
(デフォルトで、Marked for archiveオプションが選択され、クリアできません)：



- 最大で1つのルールのみ作成できます：
(import/export機能はありません)

Restoreタブ内:

- (通常使用するフォルダへのショートカットを設定する)Shortcutフォルダはありません。
- Source Clipコンテキストメニューはありません。
- Destinations枠内で、サーバー構造(ページ/バンク)は表示されません:
(クリップ位置の選択はできません)



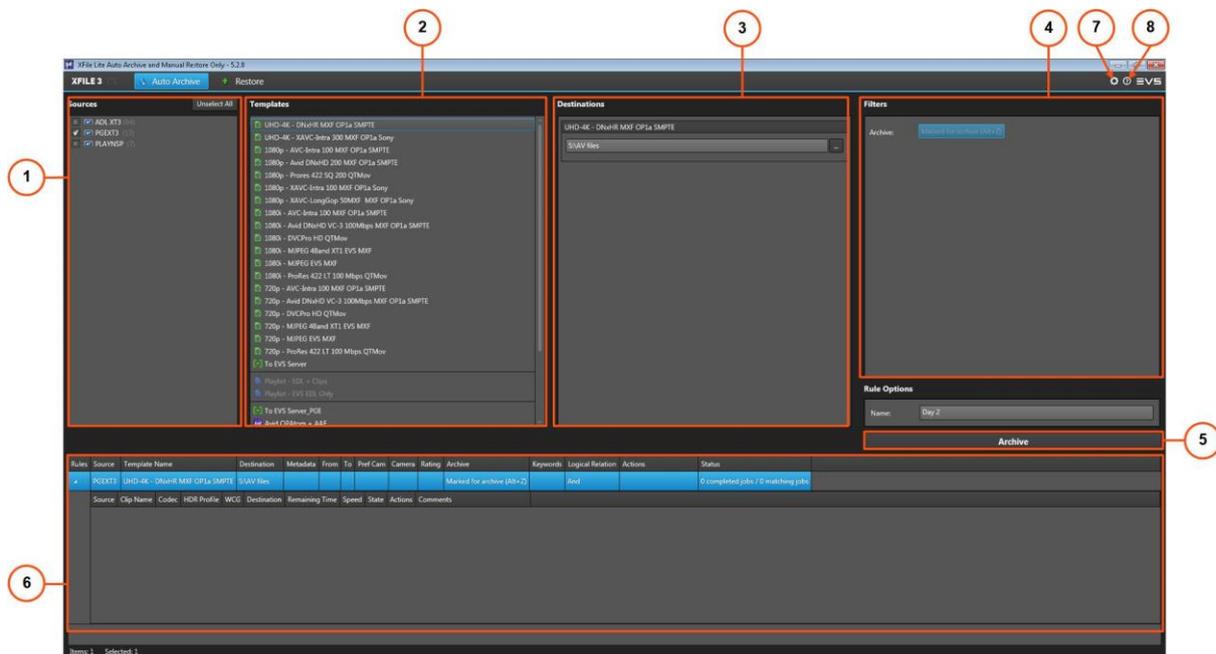
- リストアオプションは、ありません:
(copy type、camera、keep original IDs、Limit to shortin/out、assign keywords to flattened playlist、なし)



14.2. Auto Archiveタブの概要



AutoArchive and Manual Restore onlyモードでは、Auto Archiveタブは、以下のスクリーンショット上でハイライトされているエリアを含んでいます：





エリア説明

Sources 枠 (1)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブ内で選択された全てのサーバーを表示します。

Templates 枠 (2)

このエリアには、バックグラウンドで動作しているXsquareサービスマネージャーから利用可能なテンプレートが表示されます。

Destinations 枠 (3)

このエリアから、クリップ/プレイリストがアーカイブされる宛先を選択します。

Filters 枠 (4)

このエリアには、自動アーカイブルールに追加できる全てのフィルタオプションが表示されます。AutoArchive and Manual Restore onlyモードでは、Archiveフィルタのみが表示されます。デフォルトで、Marked for archiveオプションが選択され、クリアできません。

Rule Options (5)

ルールにカスタマイズ名を付けるために、Nameフィールドを使用します。

Create Autoarchive Ruleボタン (6)

このボタンは、自動アーカイブルールの作成に使用します。

Jobs 枠 (7)

このエリアには、作成した自動アーカイブルールと関連するジョブの全てが表示されます。

Settingsボタン (8)

Settingsボタン  は、Settingsウィンドウへのアクセスを提供し、そこで、各一般パラメータを設定します：
(Xsquare settings、jobs maintenance、logs file creation、manual server discovery、streaming setting)

Helpボタン (9)

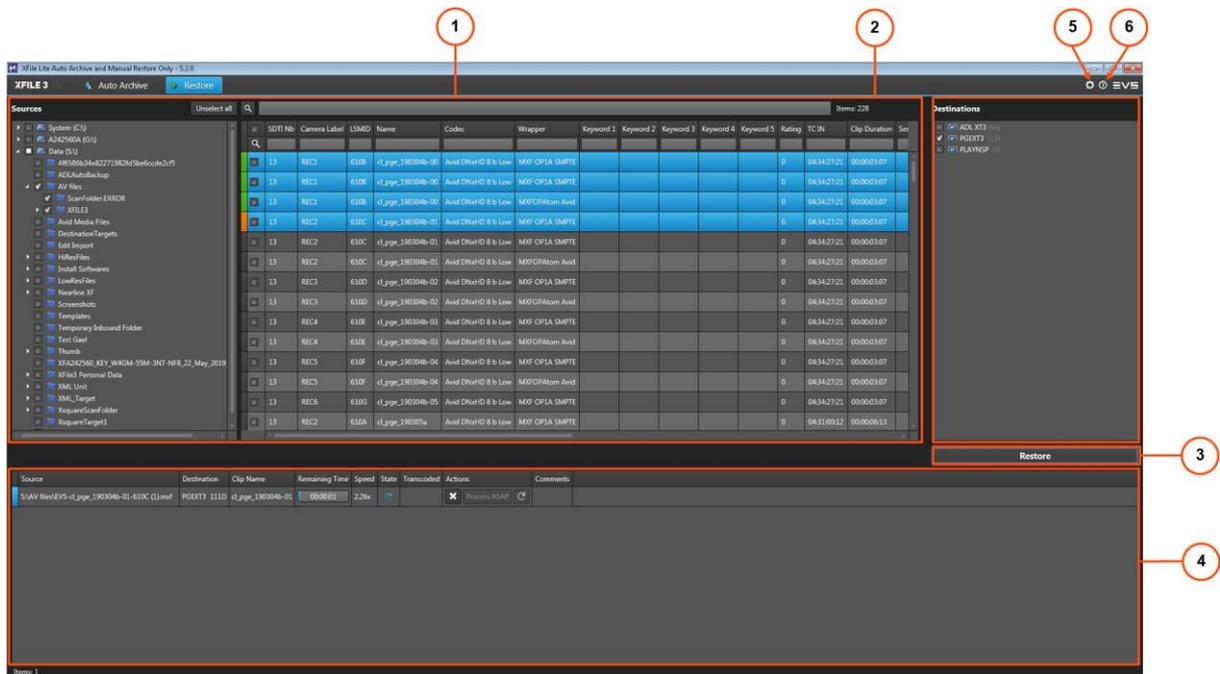
Helpボタン  は、XFile3バージョン番号、サポート電話番号、XFile3ユーザマニュアルへのリンク、利用規約へのリンクのウィンドウへのアクセスを提供します。



14.3. Restoreタブの概要



AutoArchive and Manual Restore onlyモードでは、Restoreタブは、以下のスクリーンショット上にハイライト表示されているエリアを含んでいます：





エリア説明

Sources 枠 (1)

このエリアは、リストアされるクリップの全ての位置を表示します：

検出されたハードドライブ（ローカルパス、フォルダ、サブフォルダ、含む）と選択位置内にあるクリップ

Destinations 枠 (2)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブで選択した全てのサーバーを表示します。

ここから、クリップがリストアされる先を選択します。

Restoreボタン (3)

このボタンは、リストアジョブ作成に使用します。

Jobs枠 (4)

このエリアには、作成したすべてのジョブとステータスを表示します。

Settingsボタン (5)

Settingsボタン  は、Settingsウィンドウへのアクセスを提供し、そこで、各一般パラメータを設定します：
(Xsquare settings、jobs maintenance、logs file creation、manual server discovery、streaming setting)

Helpボタン (6)

Helpボタン  は、XFile3バージョン番号、サポート電話番号、XFile3ユーザマニュアルへのリンク、利用規約へのリンクのウィンドウへのアクセスを提供します。



14.4. Auto Archive Rules(自動アーカイブルール) 作成のステップ

自動アーカイブルール作成方法

自動アーカイブルールを作成するには:

1. Sources枠から、アーカイブするクリップ/プレイリストが保存されているソースEVSサーバーを選択します。
2. Templates枠から、Xsquareで実行するジョブプロセスを指定するテンプレートを選択します。
3. Destinations枠から、クリップがアーカイブされる場所を指定する宛先を選択します。
4. **Create autoarchive rule**をクリックします。

新しいルールが作成され、ジョブ枠内に表示されます。

ルールは、即座に考慮され、以前に設定したルールは無効になります。

設定フィルタに一致するソース宛先からの全てのクリップは、ルールが開始されるとすぐに、自動的に設定された宛先にアーカイブされます。

1台のサーバーから別のサーバーへ、クリップ/プレイリストをアーカイブする AutoArchive Ruleの作成方法

1台のサーバーから別のサーバーへクリップ/プレイリストをアーカイブするには、以下を行います:

1. Sources枠から、アーカイブするクリップ/プレイリストが保存されているEVSサーバーを選択します。
2. Templates枠から、**To EVS Server**テンプレートを選択します。
3. Select Destinationウィンドウから、クリップ/プレイリストのアーカイブ先のEVSサーバーを選択します。
4. (オプション) EVSサーバー内の宛先の位置を選択します。
5. **Create autoarchive rule**をクリックします。

新しいルールが作成され、ジョブ枠内に表示されます。



14.5. クリップのリストアのステップ

クリップをリストアするには、

1. Sources枠から、
 - a. パス、またはリストアするクリップが保存されているドライブを選択します。
 - b. Mediaグリッドから、リストアするクリップを選択します。

2. Destinations枠から、クリップをリストアするサーバーを選択します。
選択サーバーの対応位置は、表示されません。
そのため、リストアの開始位置を選択できません。

全ての選択クリップは、全ての選択サーバーに、(各サーバーの最初に使用可能位置から)リストアされます。

3. **Restore**をクリックします。

全てのジョブが作成され、ジョブ枠内に表示されます。





15. Streamingモード

15.1. 製品説明

序文

StreamingのみでXFile3を使用する、専用のXSecureライセンスキーがあります。

この場合には、Streamingタブのみが表示されます。

XFile3 Full Package内にあるStreaming タブのいくつかの機能は、XFile Lite Streaming onlyモード内にはありません

Streaming タブは、EVSビデオサーバーの選択レコードトレインを、設定済宛先に、指定形式(job template)でのバックアップに使用します。

これは、ライブインジェストプロセスと同時に実行されます。

ライセンス管理

Streaming onlyモードで作業するには、ライセンスキー 10 - 20があり、有効でなければなりません。



注意

もし、以前使用していたXFlyStreamer用のコード (170-10)をPermanentでインポートしていたら、有効です



注意

もし、20と30 (AutoArchive and Manual Restore only) 両方のキーがあり、有効なら、どちらのモードで作業するか、聞かれます。

Full PackageモードとStreaming onlyモードの違い

Streaming onlyモードでは、

- Streamingタブのみが表示されます
- ステータスバーは、表示されません
- Template Managerツールは、ありません
- テンプレート編集はできません



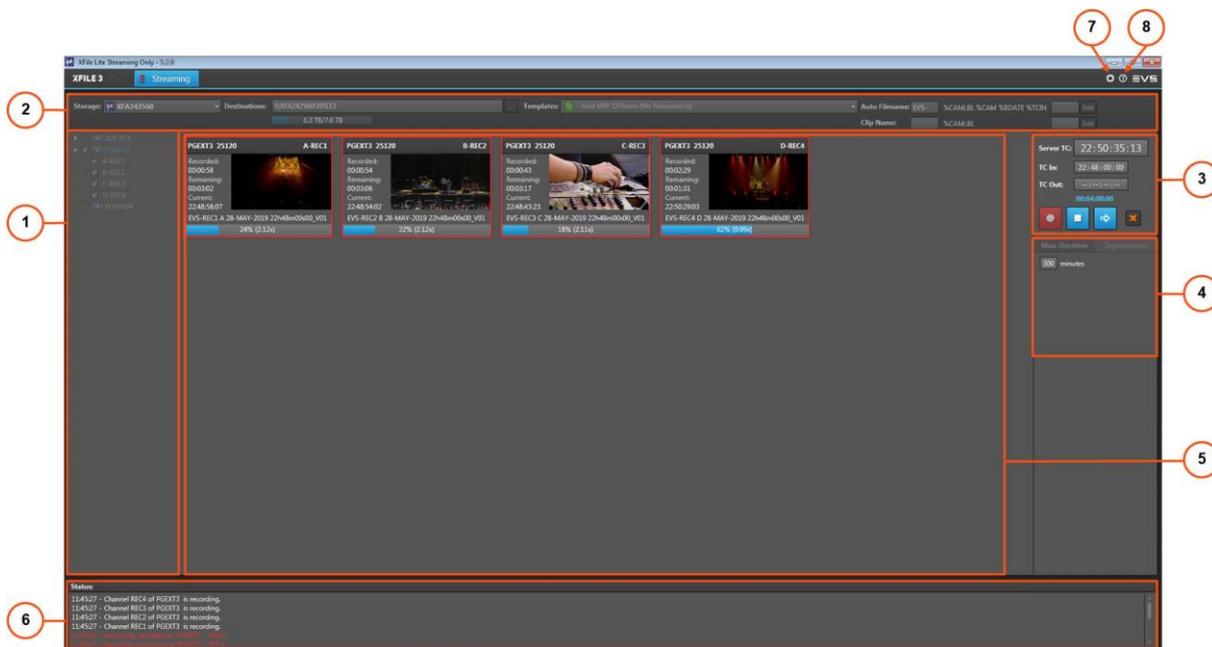
- 複数宛先へのバックアップはできません
- 1グループのストリームのみが収録可能です
(独立したストリームグループは、使用できません)



15.2. Streamingタブの概要



XFile Lite Streaming onlyモードでは、Streamingタブは、以下のスクリーンショット上にハイライト表示されているエリアを含んでいます：



エリア説明

サーバーリスト (1)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブで選択した全てのサーバーを表示します。ここで、ストリーミングするサーバーとカメラアングルを選択します。

ストレージデバイスと設定 (2)

このエリアは、A / Vファイルを保存するデバイス(例: XFile3)の選択、ファイルを保存する宛先フォルダの設定、A / Vファイルフォーマットと自動名前付けパターンの設定で、使用します。

ストリーム収録コマンド (3)

このエリアは、タイムコードリファレンスと収録の設定/スケジュール/開始と停止コマンドを表示します。

収録設定 (4)

各ストリームを、1つのファイルに最大デュレーションで、または、複数ファイルに分割して(オーバーラップあり/なし)、を選択して収録できます。



最大デュレーション (4a)

このエリアは、Max. Durationタブ選択時に表示されます。

Max Duration内に直接数値入力して、ストリームの最大デュレーションを設定可能です。

収録中に、値を変更可能です。

可能値: 1~300分

セグメント収録 (4b)

このエリアは、Segmentationタブ選択時に表示されます。

ストリームのセグメントデュレーション/オーバーラップパラメータ/開始と停止時間を設定可能です。

チャンネルエリア (5)

このエリアは、サーバーリスト内で選択したサーバーレコーダーチャンネルのストリーミング情報を表示します。

ステータスエリア (6)

このエリアは、システム上で実行されたアクションと潜在的な問題の情報を提供します。

Settingsボタン (7)

Settingsボタン  は、Settingsウィンドウへのアクセスを提供し、そこで、各一般パラメータを設定します:
(Xsquare settings、jobs maintenance、logs file creation、manual server discovery、streaming setting)

XFile3 Full Package内では、Contribution with C-Nextの設定に、Contributionタブを使用します。

Helpボタン (8)

Helpボタン  は、XFile3バージョン番号、サポート電話番号、XFile3ユーザマニュアルへのリンク、利用規約へのリンクのウィンドウへのアクセスを提供します。



15.3. ストリーム収録のステップ

ストリーミングジョブを作成するには、以下を行います：

1. Storage Device and Settings枠内の**Storage**フィールドから、ストリームをバックアップするデバイスを選択します。
2. Storage Device and Settings枠内の**Destination**フィールドから、宛先を選択し、ストリームをバックアップする場所を指定します。
3. Storage Device and Settings枠内の**Templates** フィールドから、Xsquareで実行されるジョブ処理を指定するジョブテンプレートを選択します。
4. Auto FilenameエリアとClip Nameエリアから、収録ストリームファイルの名前用のフォーマット文字列を設定します(クリップ名に使用)。
5. サーバーリストから、ストリームを収録するソースEVSサーバーおよび/またはレコーダーチャンネルを選択します。
対応するメディア用のサムネイルが、Channelsエリア内に表示されます。
6. 収録ストリーム用の最大デュレーションを設定します。
7. (オプション) 収録ストリームを複数ファイルにセグメント化するには、セグメント用のパラメータを設定します。
8. **Record**ボタンをクリックします。



16. C-Next Contributionモード

16.1. C-Next Contributionワークフロー

概要

C-Next ContributionのC-Next Connected Agentを経由したXFile3とのワークフローの使用は、XFile3からのファイルアーカイブとリストア用の遠隔位置の使用が可能になります。

C-Nextと使用する時、XFile3の全ての機能が使用可能ではありません。
これは、次のセクションで説明されます。

前提条件

- 遠隔位置は、C-Next Connected Agent側で設定しなければなりません。
- Connected Agentへ到達可能でなければなりません。

XFile3をC-Nextに接続する方法

XFile3からC-Nextへの接続は、SettingsウィンドウのContributionタブから行います。
すると、C-Next Connected Agent上で設定した遠隔位置が、XFile3内で使用できます。

16.2. EVSサーバーから遠隔位置へのメディアのアーカイブ

16.2.1. C-Nextモードの区別される特徴

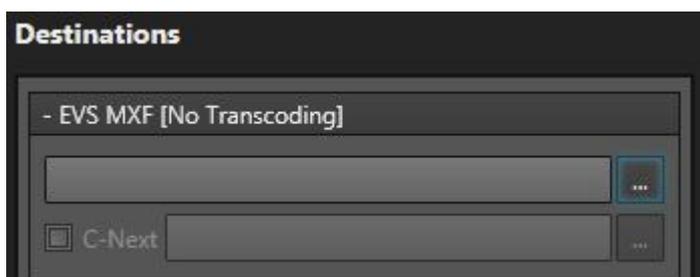
処理

自動アーカイブと手動アーカイブ処理は、CNext無しの場合とほとんど同じです。違いと制限は、以下に記載しています。

C-Next Contributionあり/なしでのモード間の違い

アーカイブ用の遠隔位置の選択

Destinationフィールド下に、メディアを送れる遠隔位置の選択用に追加フィールドが表示されます。



最初にローカル宛先を選択しなければなりません、ファイルは、遠隔位置に送られる前に、ローカルにアーカイブされます。

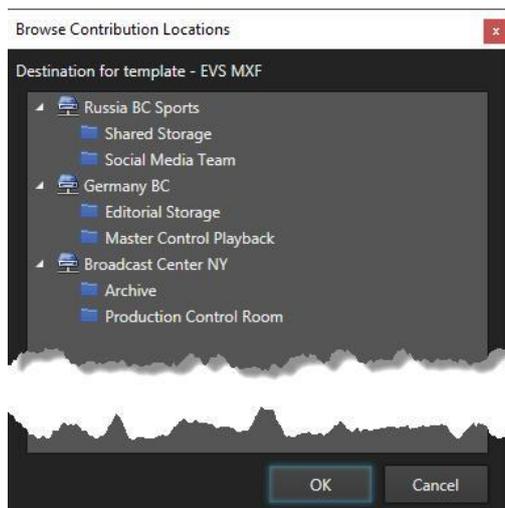
そして、遠隔位置を選択します、

1. C-Nextチェックボックスをチェックします。



2. C-Nextフィールド横のBrowseボタン  をクリックします。

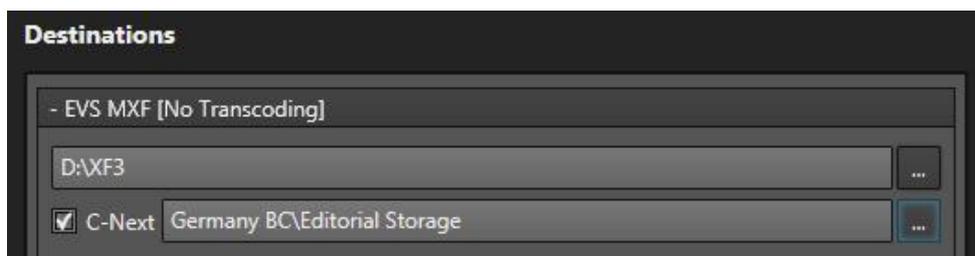
Contribution Locationsウィンドウが開き、Connected Agent内で設定された全ての位置がリスト表示されます。



3. 遠隔位置の1つを選択します。

4. OKをクリックします。

選択した遠隔位置が表示されます。



ジョブモニタリング

アーカイブジョブは、2つのステップで行われます

- 最初: **ステップ1/2**: EVSサーバーからXFile3へのファイルの転送。
XFile3上に保存されたファイルは、ジョブが完了しても、自動的に削除されません。
- 次: **ステップ2/2**: XFile3から遠隔位置へのファイルのアーカイブ。

2つのステップは、Jobs枠内に1つずつ表示され、個別にモニターできます。

メタデータ更新の保留

アーカイブジョブがリクエストされた後に、EVSサーバー上でクリップメタデータが更新された時、遠隔位置上で自動的に更新されます。

ステータスバー上のアイコン横の数字  0 は、まだ処理されていない保留メタデータ更新の数を示しています

制限

- 削除/編集するには、自動アーカイブルールを停止しなければなりません。



16.2.2. Auto Archiveタブの概要

目的

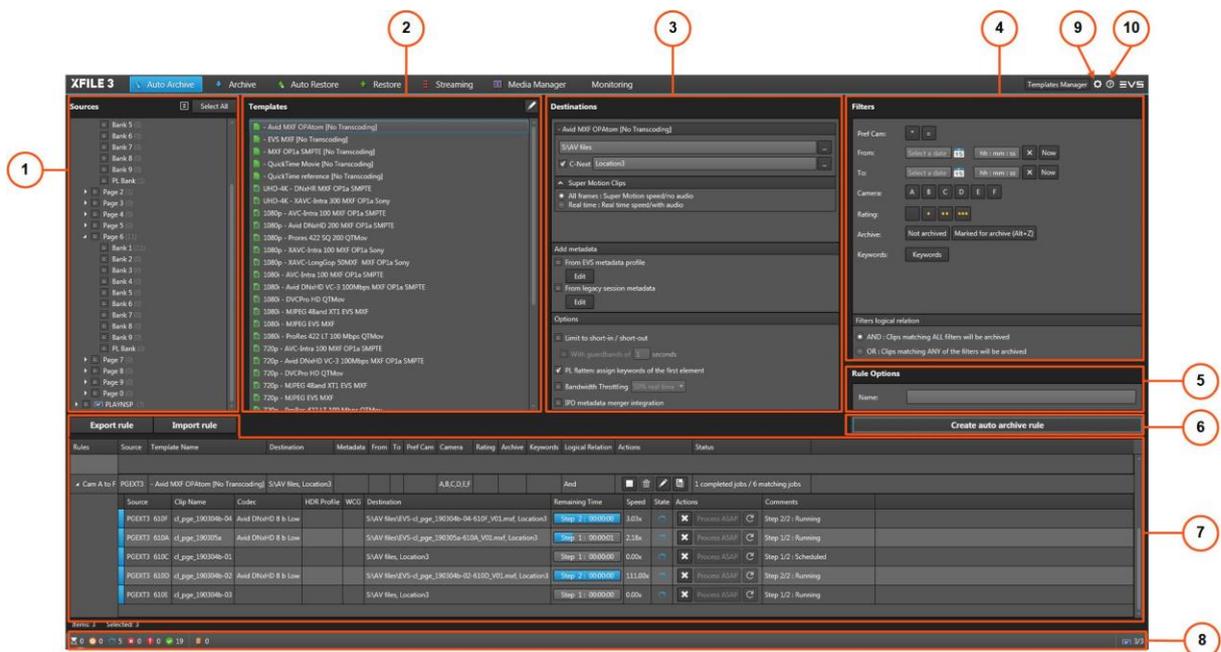
Auto Archiveタブは、起動時にデフォルトで選択されます。

これは、指定サーバーから選択ローカル/遠隔宛先へ、クリップ/プレイリストの自動アーカイブ用の自動アーカイブルールを作成に使用します。

特定のフィルタをルール内に設定して、アーカイブするクリップのリストを絞り込みます。



C-Next Contributionモードがオンの時、Auto Archiveタブは、以下のスクリーンショット上でハイライトされたエリアを含んでいます：





エリア説明

Sources 枠 (1)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブ内で選択された全てのサーバーを表示します。サーバー構造 (ページ/バンク/全てのクリップのメタデータを含む)も表示されます。このエリアから、アーカイブするクリップ/プレイリストのソースを選択します。

Templates 枠 (2)

このエリアには、バックグラウンドで動作しているXsquareサービスマネージャーから利用可能なテンプレートが表示されます。

タブ内で使用可能なテンプレートのリストの管理に、Template Managerツールが使用できます。

Destinations 枠 (3)

このエリアから、クリップ/プレイリストがアーカイブされる宛先を選択します。

C-Next Contributionモードがオンの時、遠隔宛先が使用可能です。

このエリアから、Supermotion Clipsパラメータ、メタデータとオプションを設定できます。

Filters 枠 (4)

このエリアは、自動アーカイブルールに追加できる全てのフィルタオプションが表示します。

Rule Options (5)

Nameフィールドを使用して、ルールにカスタマイズ名を付加します。

Create Autoarchive Ruleボタン (6)

このボタンは、自動アーカイブルールの作成に使用します。

ジョブ 枠 (7)

このエリアには、作成した自動アーカイブルールと関連するジョブの全てが表示されます。

ジョブ 枠の上に、ルールのインポート/エクスポート用の2つのボタンがあります。



ステータスバー (8)

ジョブステータス

ステータスバーは、転送タイプに関わらず、各ジョブステータス(Waiting、Scheduled、Running、Canceled、Failed、Completed)のジョブの全体数を表示します(タブ)。

C-Next Contributionモードがオンの時、追加のアイコンで、保留C-Nextメタデータ更新の数を提供します



Number of Connected EVS Servers

ステータスバーの右に、読み取り専用情報が表示されます。

- Settingsから選択されたXFile3で作業するEVSサーバーの数
- 発見されたEVSサーバーの全数



設定ボタン (9)

Settingsボタン  は、Settingsウィンドウへのアクセスを提供します。

ここで、各パラメータを設定します:

Xsquare設定、ジョブメンテナンス、ログファイル作成、手動サーバー検索、ストリーミング設定、Contribution with C-Next

ヘルプボタン (10)

Helpボタン  は、XFile3バージョン番号、サポート電話番号、XFile3ユーザマニュアルへのリンク、利用規約へのリンクのウィンドウへのアクセスを提供します。



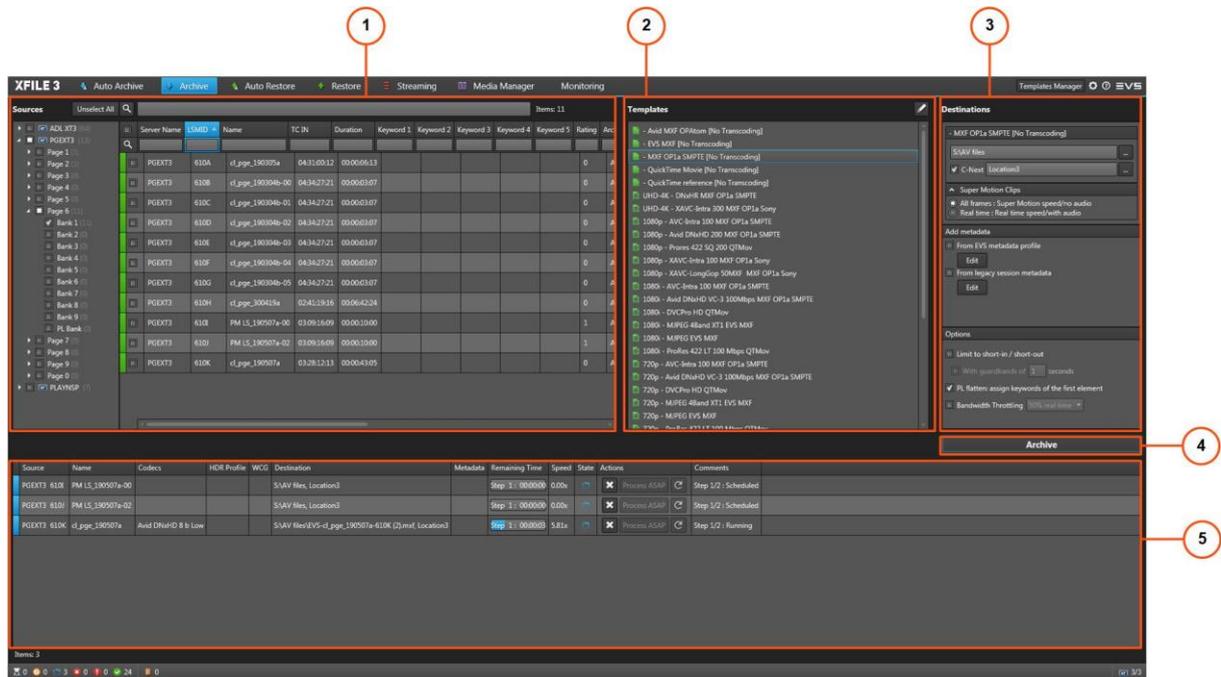
16.2.3. Archiveタブの概要

目的

Archiveタブは、指定EVSビデオサーバーから、事前設定した宛先に指定フォーマットで、手動でのクリップやプレイリストのアーカイブに使用します。



Archiveタブには、以下のスクリーンショットにハイライト表示されているエリアがあります：





エリアの説明

Sources 枠 (1)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブ内で選択された全てのサーバーを表示します。サーバー構造 (ページ/バンク/PLバンクを含む)も表示されます。

Templates 枠 (2)

このエリアは、Xsquareから利用可能なテンプレートが表示されます。

Destinations 枠 (3)

このエリアでは、クリップ/プレイリストがアーカイブされる宛先を選択します。

C-Next Contributionモードがオンの時、遠隔宛先が使用可能です。

ここで、Supermotion Clips/パラメータの設定、メタデータ設定、setオプションの設定を行います。

Archiveボタン (4)

このボタンは、アーカイブジョブの作成に使用します。

ジョブ枠 (5)

このエリアには、作成した全てのジョブが表示されます。



16.3. 遠隔位置からEVSサーバーへのメディアのリストア

16.3.1. C-Nextモードの区別される特徴

処理

自動リストアと手動リストア処理は、CNext無しの場合とほとんど同じです。違いと制限は、以下に記載しています。

C-Next Contributionあり/なしでのモード間の違い

リストア用のソースとして遠隔位置の選択

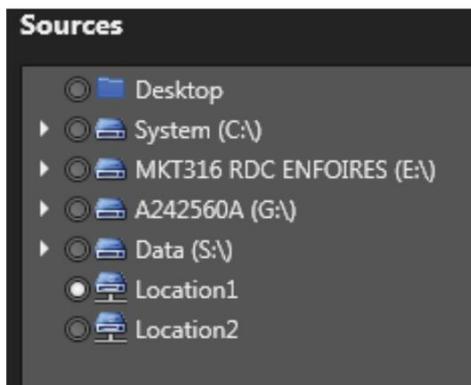
C-Next Connected Agentから設定された遠隔位置は、Sources枠内に表示され、リストア用のソースとして選択できます。

ローカル位置は、 で表されます。

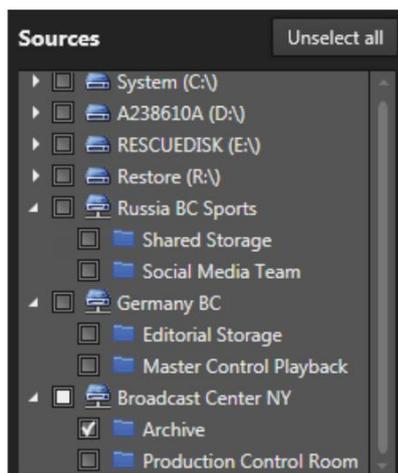
遠隔位置は、 で表されます。

1. 位置の横のチェックボックスをチェックします。

Auto Restore



Restore



2. (リストア操作に対して) メディアグリッドから、ラインの頭のチェックボックスをチェックして、対応するクリップを選択します。



リストアされるファイルのメタデータの制限

Restoreタブ内で、メディアグリッド情報は、遠隔位置上に保存されたファイルの名前に制限されています。

<input type="checkbox"/>	SDTI Nb	Camera Label	LSMID	Name	Codec	Wrapper	Keyword
<input checked="" type="checkbox"/>				EVS--111A			
<input type="checkbox"/>				EVS-cl_pge_150924c-611A_V01 (1)			
<input type="checkbox"/>				EVS-cl_pge_150924e-611C_V01 (2)			
<input type="checkbox"/>				EVS-cl_pge_160107d-613H_V01			
<input type="checkbox"/>				EVS-cl_pge_160405a-00-614G			
<input type="checkbox"/>				EVS-IPLink-613C			

リストアオプション - コピータイプ

Restoreタブ内で、Options枠からのコピータイプは、Continuous に強制されます。

ジョブモニタリング

リストアジョブは、2つのステップで行われます

- 最初: **ステップ1/2**: 遠隔位置からXFile3へのファイルの転送。
ファイルは、Settingsウィンドウから設定された一時保存フォルダ内に、保存されます。
- 次: **ステップ2/2**: XFile3からEVSサーバーへのファイルの転送。

2つのステップは、Jobs枠内に1つずつ表示され、個別にモニターできます。

制限

- 削除/編集するには、自動リストアルールを停止しなければなりません。
- Restore/AutoRestore内では、複数ファイルタイプはサポートされず、メディア+xmlファイルのみです。



16.3.2. Auto Restoreタブの概要

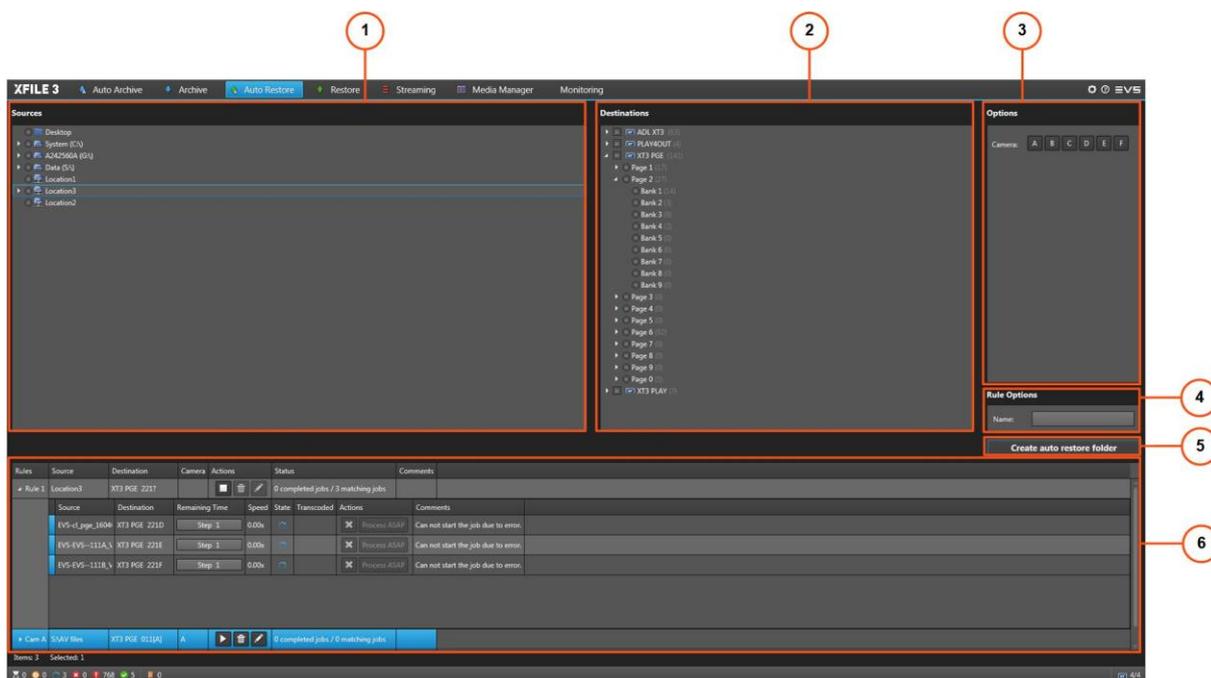
目的

Auto Restoreタブは、ローカルハードドライブ/フォルダ、遠隔位置からEVSビデオサーバーへの、アーカイブクリップの自動リストア用のルール作成に使用します。

ルール内に特定のフィルタを設定して、リストアするクリップのリストを絞り込みます。



Auto Restoreタブは、以下のスクリーンショット上にハイライト表示されているエリアを含んでいます：





エリア説明

Sources 枠 (1)

このエリアは、クリップがリストア可能な全ての位置を表示します:

- 検出されたハードドライブ(ローカルパス、フォルダとサブフォルダを含む)
ローカル位置は、 で表されます。
- 遠隔位置、C-Next Contributionモードがオン
遠隔位置は、 で表されます。

Destinations 枠 (2)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブで選択した全てのサーバーを表示します。
(クリップ構造、ページとバンクを含む)

このエリアで、クリップがリストアされる先を選択します。

Options 枠 (3)

このエリアは、カメラまたは、(ネットワークドライブを選択しているなら)ネットワークドライブの資格情報を表示します。

Rule Options (4)

ルールへのカスタマイズ名の付加に、Nameフィールドを使用します。

Create Auto Restore Folder ボタン (5)

このボタンは、自動リストアルール作成に使用します。

ジョブ枠 (6)

このエリアは、全ての作成したジョブとそのステータスを表示します。



16.3.3. Restoreタブの概要

目的

Restoreタブは、選択したハードドライブ/ローカルフォルダ、遠隔位置から、ネットワーク上のEVSビデオサーバーの選択位置へ、クリップ/プレイリストを、手動でのリストアに使用します。



The screenshot shows the XFILE 3 interface with the 'Restore' tab selected. The interface includes a top menu bar with options like 'Auto Archive', 'Archive', 'Auto Restore', 'Restore', 'Streaming', 'Media Manager', and 'Monitoring'. Below the menu are three main panels: 'Sources', 'Destinations', and 'Options'. The 'Sources' panel contains a table with columns for 'ROTI No.', 'Camera Label', 'LSMD', 'Name', 'Codec', 'Wrapper', 'Keyword 1', and 'Keyword 2'. The 'Destinations' panel contains a similar table with 'LSMD' and 'Name' columns. The 'Options' panel has settings for 'Copy type' (Continuous, Game location), 'Camera' (G, H, I, J, K, L), and checkboxes for 'Keep Original IDs', 'Limit to short-in / short-out', 'With guardbands of [] seconds', and 'Keep same CODEC as the Video source'. At the bottom, there is a table with columns for 'Source', 'Destination', 'Clip Name', 'Remaining Time', 'Speed', 'State', 'Transcoded', 'Actions', and 'Comments'. A 'Restore' button is located at the bottom right of the interface.

Source	Destination	Clip Name	Remaining Time	Speed	State	Transcoded	Actions	Comments
Location1\ScanFolder\DON\EV5-111A.mxf	XTI PGE 231D	EV5-111A	Step 2 / 000000	4.38x	Running		Process ADAP	Step 2/2 : Running
Location1\ScanFolder\DON\EV5-cl_page_1601074-613H_V01.mxf	XTI PGE 232B	EV5-cl_page_1601074-613H_V01	Step 2 / 000000	4.27x	Running		Process ADAP	Step 2/2 : Running



エリア説明

Sources 枠 (1)

Drives / Locationsリスト (1a)

このエリアは、クリップがリストアップ可能なすべての位置を表示します：

- 検出されたハードドライブ(ローカルパス、フォルダとサブフォルダを含む)
ローカル位置は、 で表されます。
- 遠隔位置、C-Next Contributionモードがオン
遠隔位置は、 で表されます。

Shortcut Folderエリア (1b)

Sources枠の下左枠は、頻繁に使用するショートカットのソースフォルダへの設定に使用します。

メディアグリッド (1c)

C-Next Contributionモードがオンで遠隔位置が選択されていると、メディアグリッド情報は、遠隔位置上に保存されたファイルの名前に制限されます。

Destinations 枠 (2)

このエリアは、Settings > Server Discoveryタブで選択した全てのサーバーを表示します。

このエリアから、クリップのリストアップ先を選択します。

Full Packageモードでは、サーバー構造 (ページ、バンク含む)と全てのクリップのメタデータも表示されません。

Options 枠 (3)

このエリアは、いくつかのオプションを提供します：

copy type、camera、keep original IDs、Limit to shortin/ out、assign keywords to flattened playlist

Restoreボタン (4)

このボタンは、リストアップジョブの作成に使用します。

Jobs枠 (5)

このエリアは、全ての作成したジョブとステータスを表示します。



16.4. メディアの転送

16.4.1. C-Nextモードの区別される特徴

処理

C-Next Contributionモードがオンの時、遠隔位置からXFile3ローカルフォルダ(または逆)へのファイル転送用に遠隔位置を選択できます。

Media Managerタブ用に記載された全ての機能は使用可能のままですが、遠隔位置を選択していない場合です。

遠隔位置を選択すると、すぐに、Media Managerタブ内の提供機能は、制限されます。

C-Nextなしと比較した制限は、以下に記載されます。

制限

ファイルの転送

転送は、遠隔地とXFile3ローカルフォルダ間(逆も)でのみ、可能です。

- 遠隔位置とサーバー間の転送はできません。
遠隔位置を選択すると、すぐに、他の枠からのServerボタンは使用不可になります。



- 2つの遠隔位置間の転送は、できません。
- トランスコード、再ラッピングは、不可です。
テンプレートは選択できません。



- 遠隔位置からXFile3ローカルフォルダへコピー中には、残時間はJobs枠内に表示されません。



メディア項目のプレビュー、編集、エクスポート

Player枠は、使用できません。

そのため、遠隔素材の、プレビュー、編集、エクスポートはできません。

遠隔位置を選択すると、すぐに、他の枠からのPlayerボタンは使用不可になります。



リストにフィルタを適用

メディアリストにフィルタを適用できません。

2つのメディアリストの比較

2つのメディアリストを比較できません。

遠隔位置を選択すると、Show Differencesボタンは使用不可になります。



Location Folder上のコンテキストメニュー

Locationsリストからの遠隔位置上で、コンテキストメニューはありません。

遠隔素材上のコンテキストメニュー

メディアグリッド遠隔素材上で、コンテキストメニューオプションはありません。

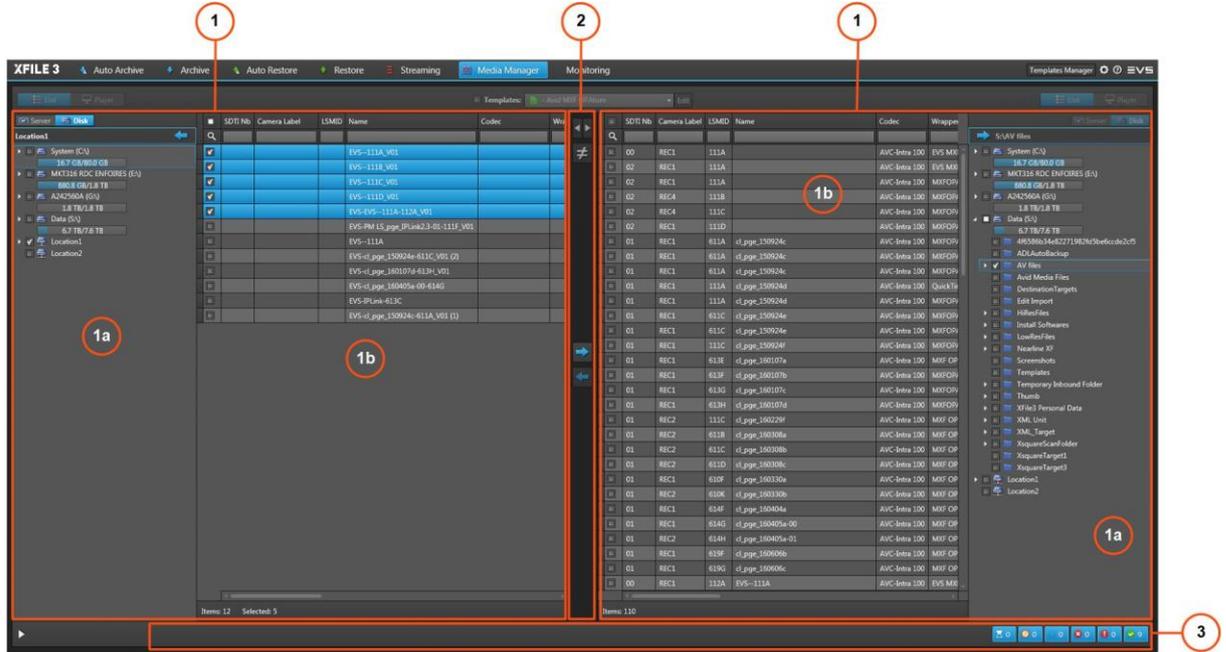


16.4.2. Media Managerタブの概要



このセクションは、遠隔位置選択時のMedia Managerタブを示しています。

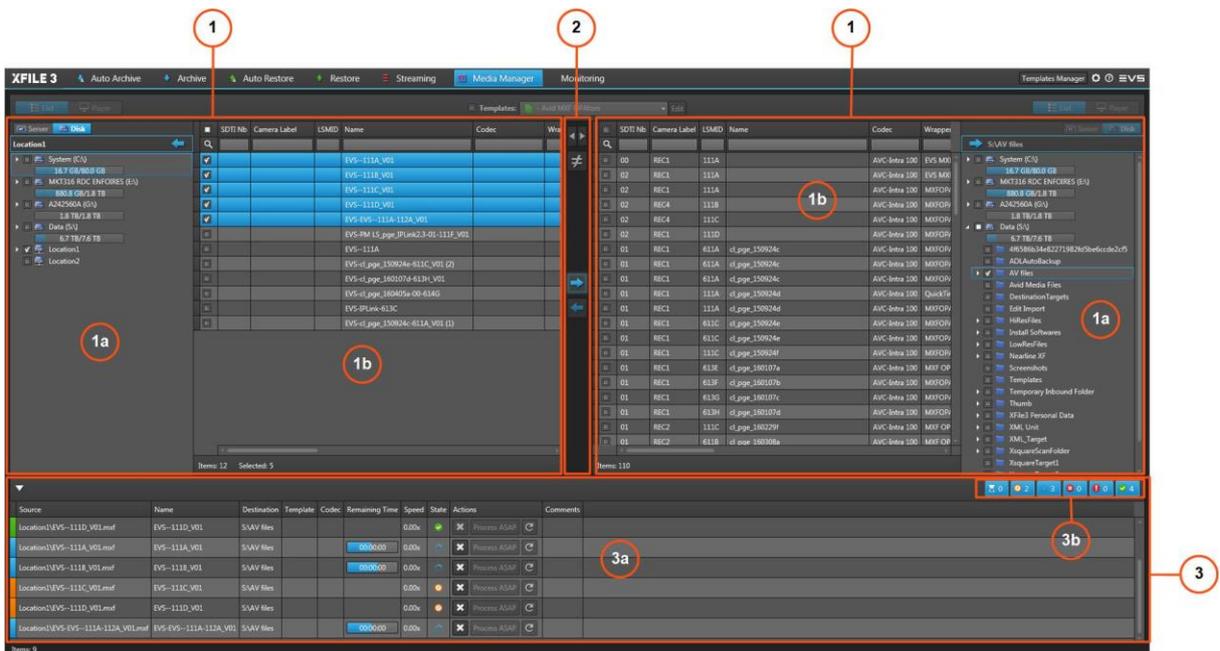
2つのリストのレイアウト



Jobs Monitoring枠を持つレイアウト

Jobs Monitoring 枠は、▶ ボタンをクリックすると、Media Manager タブの底に表示されます。

▼ ボタンをクリックすると、隠せます。





エリア説明

List 枠 (1)

Local Hard Drives / Locations リスト (1a)

このエリアは、XFile3が検出した全てのハードドライブとサブフォルダを表示します。
ここでは、各ディスクの残容量 / 全容量の情報を表示します。
マッピングドライブとモバイルハードドライブも、検出されます。

Local位置は、 で表されます。

Local Hard Drivesリスト内の素材を右クリックすると、コンテキストメニューで、いくつかのオプションが提供されます。

C-Next Connected Agent上で設定されたDistant位置も、同様に、表示されます。

Distant位置は、 で表されます。

メディアグリッド (1b)

このエリアは、Local Hard Drives / Location リストから選択したストレージ上にある全てのファイル/クリップを表示します。

メディアグリッド内のローカル素材を右クリックしたら、コンテキストメニューで、オプションが提供されます。

リストマネージメントボタン (2)

このエリアは、1つのリストから他方へ、メディア素材のコピーボタン  を提供します。

Jobs Monitoring 枠 (3)

このエリアは、Media Managerタブ下の  ボタンをクリックすると、表示されます。

Jobs グリッド (3a) は、全てのジョブと、それぞれのステータスを表示します。

Filter ボタン (3b) では、ジョブステータス(Waiting、Scheduled、Running、Canceled、Failed、Completed)による、ジョブグリッドへのフィルタが可能で、各ジョブステータス用のジョブの数を表示します。



16.5. C-Nextで管理されるジョブのモニタリング

16.5.1. C-Nextモードの区別される特徴

処理

ジョブモニタリング処理は、C-Nextなしの場合と、ほとんど同じです。
違いは、以下に記載されています。

C-Next Contributionあり/なしでのモード間の違い

C-Next Job Typeでのフィルタ

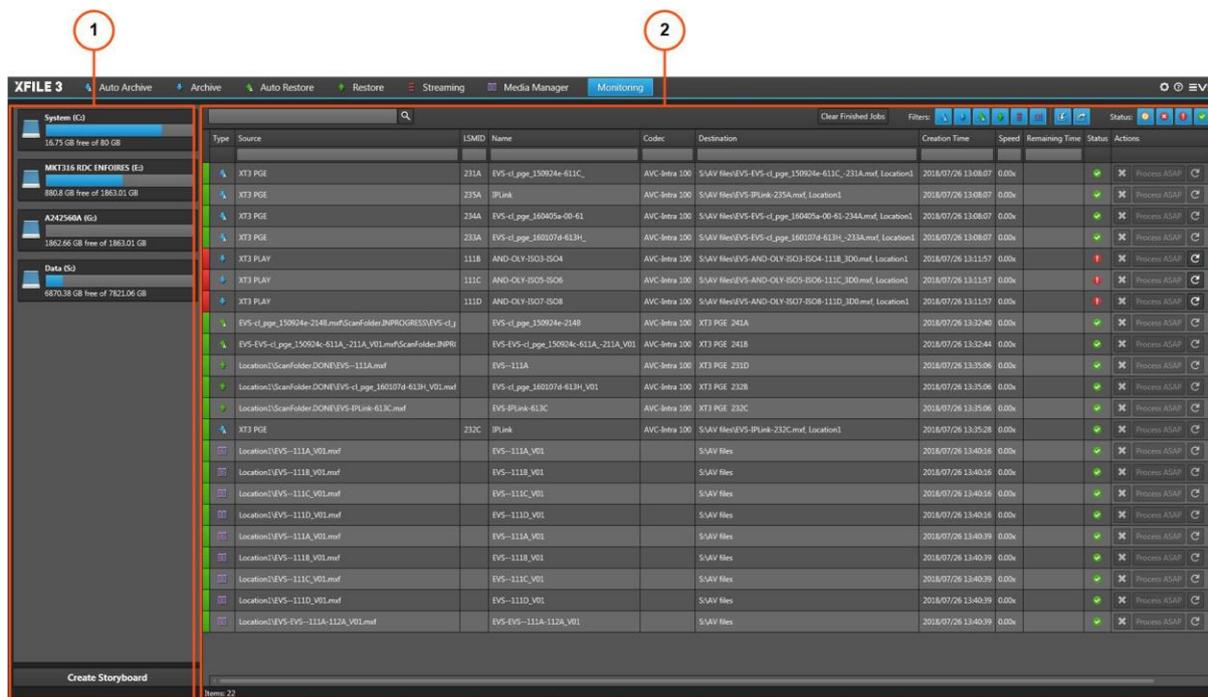
遠隔位置へのアーカイブと遠隔位置からのリストア用に、C-Nextで管理されるジョブのフィルタに、2つの追加フィルタを使用できます。



フィルタボタン	動作
	遠隔位置からのリストアジョブ（C-Nextで管理されています）が、Jobs枠内表示されます。
	遠隔位置へアーカイブジョブ（C-Nextで管理されています）が、Jobs枠内表示されます。



16.5.2. Monitoringタブの概要



Hard Drives 枠 (1)

Monitoringタブの左のHard Drives枠には、XFile3により検出された全てのハードドライブが表示され、ストーリーボード作成に使用します。

Jobs 枠 (2)

Monitoringタブの右のJobs枠は、ジョブモニタリングに使用します。

ここには、Auto Archive/Archive/Auto Restore/Restore/Streaming/Media Managerタブから開始された全てのジョブの概要とステータスが表示されます。

Jobsグリッドの上部に各タイプのフィルタボタンがあります。

ジョブタイプ/ジョブステータス、C-Nextジョブタイプ：遠隔リストア、遠隔アーカイブ、に基づき、グリッドへのフィルタに使用されます。



ジョブステータスカラーコード

各ジョブラインの頭にあるカラーコードと、Statusカラム内の色アイコンは、各ジョブの正確なステータスを示しています。

ステータス	ジョブステータスカラーコード	ジョブステータスアイコン	意味
Waiting			ジョブが作成され、XFile3データベースに保存されています。
Scheduled			ジョブは、XsquareIに送信され、処理をスケジュールされています。
Running			ジョブは実行中です。
Cancelled			ジョブはキャンセルされました。
Failed			ジョブは失敗しました。
Completed			ジョブは、正しく、完了しました。



ジョブカラム説明

カラム	説明
Type	<p>アイコンは、ジョブのタイプを表します：</p> <ul style="list-style-type: none">  - Auto Archiveジョブ  - Manual Archiveジョブ  - Auto Restoreジョブ  - Manual Restoreジョブ  - Streamingジョブ  - Media Managerタブから開始されたジョブ
Source	対応するタブ内のソース情報を表示します。
LSM_ID	クリップに割り当てられたLSM IDを表示します。
Name	クリップ/ファイルの名前を表示します。
Codec	アーカイブ/リストアされたクリップのビデオコーデック。
Destination	クリップがアーカイブ/リストア/ストリーム/コピーされる宛先を表示します。
Creation Time	ジョブの作成日付と時間を表示します。
Speed	ジョブの現在のアーカイブ/リストア速度を、xの倍数で表示します。
Remaining Time	ジョブの残時間を表示します。
Status	現在のジョブステータスを表すアイコン。
Actions	ジョブの管理用のボタン。
Comments	XsquareとXFile3からの情報を表示します。



XFile3
バージョン 5.4 - February 2020

ユーザーズ マニュアル

発行年月 2020年 6月 発行

株式会社フोटロン

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング21階

©2020.PHOTRON LIMITED,All rights reserved. Printed in Japan.